

# **平成 29 年度中部地方 ESD 活動支援センター運営等業務**

---

## **報告書**

平成 30 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人ボランタリーネイバーズ

## 目次

|                                                |    |
|------------------------------------------------|----|
| 1. 業務の目的.....                                  | 2  |
| 2. 業務の内容.....                                  | 2  |
| (1) 地方 ESD 活動支援センターの設置・運営 .....                | 4  |
| (2) ESD 活動を支援するための情報共有等 .....                  | 5  |
| ア ESD 活動に関する相談対応及び支援.....                      | 5  |
| イ ESD 活動に関する国内外の情報等の収集及び一元的な発信等.....           | 8  |
| (3) ESD 活動の支援等 .....                           | 12 |
| ア 中部地方 ESD 活動支援企画運営会議の運営等.....                 | 12 |
| イ 地域と連携した地域 ESD 拠点の形成支援業務 .....                | 15 |
| (4) ESD 活動のネットワーク形成・学びあいの場の促進に係る支援等 .....      | 22 |
| ア 全国センター開催業務への出席及び対応.....                      | 22 |
| イ ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催 .....                 | 26 |
| (5) ESD を推進する人材育成支援業務 .....                    | 30 |
| (6) 全国センター等との連携 .....                          | 39 |
| (7) 中部地方環境事務所との連携 .....                        | 39 |
| (8) 報告書の作成.....                                | 39 |
| 3. 業務の成果と課題 .....                              | 40 |
| 4. 全体総括 .....                                  | 41 |
| 【添付資料】                                         |    |
| ＜添付資料＞ 平成 29 年度中部地方 ESD 活動支援センター運営等業務活動報告..... | 42 |

## 1. 業務の目的

平成 26 年 11 月に岡山市・名古屋市において開催された「ESD に関するユネスコ世界会議」等において「ESD に関するグローバル・アクション・プログラム」がスタートし、「あいち・なごや宣言」の採択がされ、政府や市民社会団体、民間企業等の関係するステークホルダーによる活動支援や経験共有のためのプラットフォームを構築することが求められている。また、省庁連絡会議において「我が国における『ESD に関する GAP』実施計画」が策定され、本実施計画の下で ESD の取組を実施することが決定された。

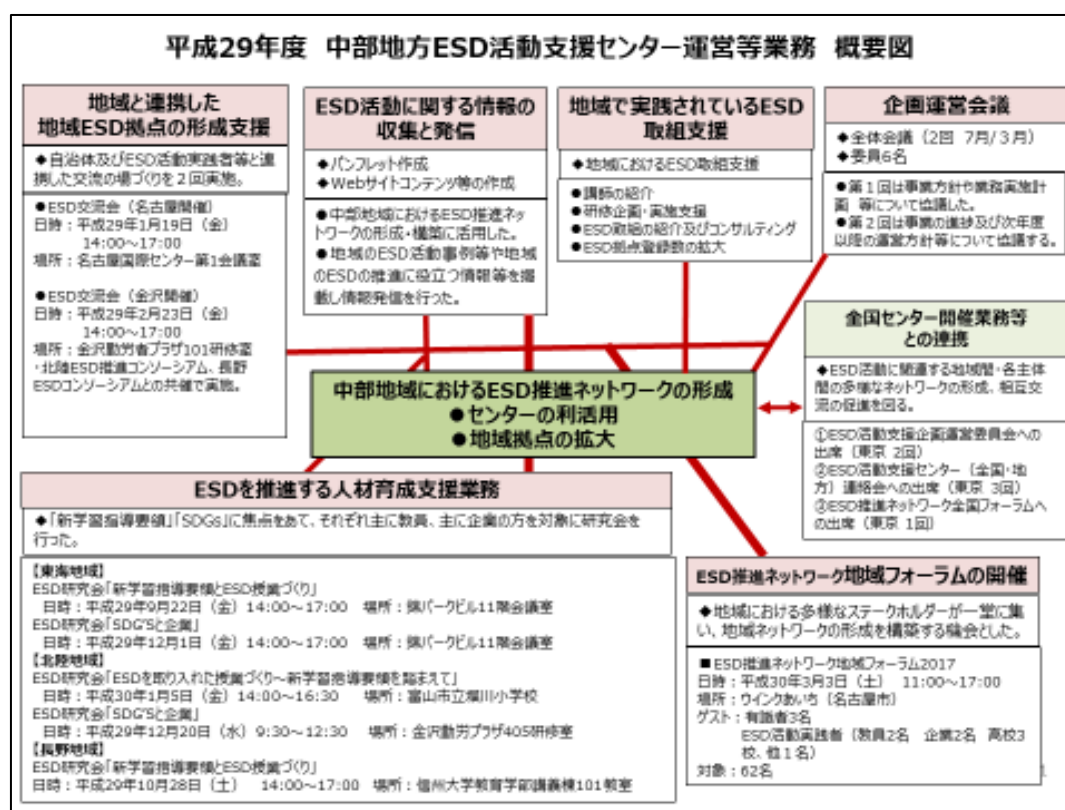
しかし、ESD の推進を図る上での課題として、未だ ESD の取組が一部の地域や主体に限られていることや優れた実践事例が各主体のネットワークの範囲に留まっており、分野を超えた交流が進んでいない等が指摘されている。

こうした動きを踏まえ、各地域で根付いてきた取組を全国各地に広げるために、文部科学省と環境省の共同提案により、ESD を推進するための全国的なハブとなるべき ESD 活動支援センターを平成 28 年 4 月に開設した。

本業務は、全国レベルで ESD 活動の支援を行う組織を設置したことを受けて、広域ブロックにおける地域ネットワークのハブ機能を担う体制を整備し、ESD 活動に関連する多様な主体の地域ネットワークの構築を図り、もって国内における ESD の一層の推進を目的とする。

## 2. 業務の内容

ESD 推進ネットワークを効果的・効率的に推進・構築していくため、以下の業務を実施した。具体的な事業実施内容については、中部地方環境事務所と協議して決定し実施した。



# <業務実施スケジュール>

平成 29 年 4 月 10 日（月）から平成 30 年 3 月 31 日（土）

●中部地方 ESD 活動支援センター業務    ○関係団体事業

| 日程   | 業務内容                                                                                                        |                                               |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 4 月  | ●10 日（月）中部地方環境事務所と契約<br>●26 日（水）第 1 回 ESD 活動支援センター連絡会（東京）                                                   |                                               |
| 5 月  | ・事業計画及び予算書作成<br>・Web 準備（固定 IP 取得・コンテンツ企画）<br>・活動支援企画運営会議設置準備<br>・活動支援企画運営会議準備<br>・パンフレット作成準備                |                                               |
| 6 月  | ・パンフレット案作成<br>●13 日（水）第 1 回 ESD 活動支援企画運営委員会（東京）                                                             |                                               |
| 7 月  | ●3 日（月）中部地方 ESD 活動支援センター開設<br>●3 日（月）第 1 回中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議<br>・パンフレット完成<br>・Web 完成<br>・地域 ESD 拠点登録開始 | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計                  |
| 8 月  | ○4 日（金）愛知県コンソーシアム交流会<br>○6 日（日）北信越ユネスコスクール交流会                                                               | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計                  |
| 9 月  | ●22 日（金）ESD 研究会（学校教育/東海）                                                                                    | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計<br>ESD 拠点登録広報開始  |
| 10 月 | ●10 日（水）第 2 回 ESD 活動支援センター連絡会（東京）<br>●28 日（土）ESD 研究会（学校教育/長野）<br>○29 日（日）愛知県ユネスコスクール交流会                     | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計<br>ESD 拠点登録広報    |
| 11 月 | ●24 日（金）25 日（土）ESD 推進ネットワーク全国大会<br>○25 日（土）平成 29 年度ユネスコスクール豊橋大会（分科会担当）                                      | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計<br>ESD 拠点登録広報    |
| 12 月 | ●1 日（金）ESD 研究会（企業/東海）<br>●20 日（水）ESD 研究会（企業/北陸）                                                             | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計<br>ESD 拠点登録広報    |
| 1 月  | ●5 日（金）ESD 研究会（学校教育/北陸）<br>●17 日（水）第 3 回 ESD 活動支援センター連絡会（東京）<br>●19 日（金）ESD 交流会（東海）                         | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計<br>ESD 拠点登録広報・作業 |
| 2 月  | ○13 日（火）国連地域開発センターシンポジウムの参画（パネリスト参加）<br>●20 日（火）第 2 回 ESD 活動支援企画運営委員会（東京）<br>●23 日（金）ESD 交流会（長野/北陸）         | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計<br>ESD 拠点登録広報・作業 |
| 3 月  | ●3 日（土）ESD 推進ネットワーク地域フォーラム開催<br>●7 日（水）第 2 回中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議<br>■31 日（土）報告書提出                        | HP 更新随時<br>コンサルティング<br>日報・会計<br>ESD 拠点登録広報・作業 |

## （１）地方 ESD 活動支援センターの設置・運営

多様な主体が参画・連携し、ESD 活動に取り組む地域 ESD 活動推進拠点（以下、「地域 ESD 拠点」という。）の形成を推進・支援するとともに、情報の一元的な発信、ネットワークの構築、地域の活動支援、国際的な情報の発信や交流支援等を担う「中部地方 ESD 活動支援センター」（以下、「センター」という。）を設置・運営した。センターの開設時期は平成 29 年 7 月とし、それまでの期間を開設に向けた準備期間とした。

準備期間においては、業務を実施するに当たっての準備、検討、情報発信、相談対応及び会議への出席等を必要な範囲で行った。

### ア 開館日・開館時間

- ・センターの開館日を月曜日から木曜日までとし、金曜日は情報収集・整理日として閉館日とした。
- ・土・日曜日、祝日、夏季（8 月 10 日～8 月 16 日）及び年末（12 月 29 日～12 月 31 日）・年始（1 月 1 日～1 月 3 日）は休館とした。
- ・7 月 3 日（火）より、178 日業務を担った。午前 10 時から午後 7 時までを原則、開館時間とし業務を遂行した。

### イ 施設の維持・管理

- ・オフィスの防火・防災管理及び開錠・施錠管理、その他施設・設備の維持管理について、中部環境パートナーシップオフィスの請負者と連携して実施した。
  - ・センターの運営に必要な経費の支払い及び機材等の維持管理を行った。
- ただし、次に掲げる事項（オフィス借料及び管理料、電話機及び FAX の借料及び基本料、事務所開設に必要な最小限の備品（OA 機器類、机、椅子、キャビネット等）の準備、電話及び通信設備構築に係る工事（電話機設置を含む）並びに電源工事）以外について行った。

### ウ スタッフの配置等

業務に対応できるよう必要な人員をオフィスに配置し、オフィスへの来館者、電話・メール等について適切に対応した。スタッフ不在時は、ホームページへの掲載による周知やメール・留守番電話対応を図った。

## <成果>

7 月 3 日（火）よりセンター運営を担い、午前 10 時から午後 7 時までを原則、開館時間とし業務を行った。業務に対応できるよう必要な人員をオフィスに配置し、オフィスへの来館者、電話・メール等について適切に対応した。スタッフ不在時は、ホームページへの掲載による周知やメール・留守番電話対応を図った。

## <課題>

・センターに来所しての情報収集、相談対応はまだ少ない。情報提供や相談対応については Web を強化することにより対応するかどうか、いかに施設機能を向上するかを検討する必要がある。中部 7 県を対象地域としているため、東海地域の方の来所は可能であるが、北陸、長野地域の方にはセンターに来所しての相談や情報収集は難しい。センターを訪問するからこそそのサービス、Web 上で十分対応できるサービスの使い分けの検討も要する。利用者は主に自治体、事業者である。

・センタースタッフ 1.5 名でセンターを運営しているが、中部 7 県での事業展開を考えると非常に厳しく、各地域の拠点登録団体等といかに連携するかが課題である。

## （２）ESD 活動を支援するための情報共有等

ESD 活動に関する中部地域の情報共有窓口として、以下の業務を実施した。

（参考資料 2）

### ア ESD 活動に関する相談対応及び支援

地域の ESD 活動実践者・実践団体（学校や社会教育施設、NPO/NGO、企業等）等（以下、「ESD 活動実践者等」という。）からの ESD 活動を実践するに当たっての相談や支援の要請に適切に対応した。相談件数は 41 主体から 46 件。受け付けた相談・支援要請等については、相談内容・対応結果等を記録、整理をした。

#### <相談内容>

| 内容 | 講師紹介・依頼 | 広報 | 後援名義 | 事業内容 | 情報提供 | 拠点登録 | 学校教育・教員研修 | 文科省 | SDGs | 計  |
|----|---------|----|------|------|------|------|-----------|-----|------|----|
| 件数 | 12      | 8  | 2    | 6    | 5    | 1    | 8         | 3   | 1    | 46 |

#### <相談主体>

| 主体 | 学校関係 | 企業 | 大学 | 行政 | ユネスコ協会 | NPO | コンソーシアム | センター | その他 | 計  |
|----|------|----|----|----|--------|-----|---------|------|-----|----|
| 件数 | 8    | 4  | 10 | 3  | 1      | 3   | 4       | 3    | 5   | 41 |

#### <講師紹介・依頼> 12 件

- 志賀高原ガイド対象の ESD 研修会を行いたい。講師を紹介してほしい
- 大学の ESD、SDGs に関する講義講師の依頼
- 中部の企業に SDGs を広めることによる ESD 推進活用及び中部地方 ESD 活動支援センターと連携した中部の産業界・企業のネットワーキングについてお話いただける講師を依頼したい
- パネルディスカッションでは、センタースタッフに市民団体の立場で登壇いただき、SDGs 達成に向けた取組を紹介いただき、参加者に SDGs を具体的に、身近に感じられるお話をいただきたい
- 大学で「冬のエコフェア 2017」（高校生が環境活動を発表する活動発表会を行う）を開催する。参加校・団体の募集に苦戦しているため、紹介してほしい
- 平成 30 年度に登録パークボランティア対象に広報講座を行いたいので講師を紹介してほしい
- ESD 特別シンポジウムに、文部科学省の渋谷一典氏に登壇いただきたいため、紹介いただきたい
- 次年度実施する ESD に関する講座についてのアドバイス及び講師紹介
- ニュースレターで、SDGs に取り組む企業という特集を組みたいため、SDGs に取り組んでいる企業の情報提供及び紹介してほしい
- 企業対象の研究会に参加し、井村屋株式会社の取組事例を聞いて、名古屋商工会議所名商 eco クラブの事業として井村屋株式会社を講師に講演会を行いたい。紹介してほしい
- 国立教育政策研究所の研究指定校を受けていた、もしくは現在受けている学校のカリキュラム、特に中国地方の ESD カレンダーを入手したいため、中国地方 ESD 活動支援センターを紹介してほしい。また、愛知県豊田東高校の ESD カレンダーを入手したいため、紹介してほしい
- 3 月に開催予定の「ESD 振り返り会」で、本校の高校生（1、2 年生）を対象に「ESD とは何か」といった内容の講演、高校の活動報告について総評をいただきたい。

#### <広報> 8 件

- 主催する「ESD スペシャリスト育成講座」の周知広報への協力
- ESD に向けた参加体験・学習スキル授業研究型研修プログラムをテーマに教員対象に実施する研修会の講師を務める。研修会の広報に協力してほしい

- 「北信越ユネスコスクール交流会 2017」の広報及び東海の教員の参加を呼びかけたい
- 「ESD 活動についての動画」を募集についての周知広報してほしい
- 大学で開催する「冬のエコフェア 2017」の広報に協力してほしい
- 「ESD 推進の手引」を活用した研修会開催を 12 月 26 日に開催する。広報に協力してほしい
- 12 月 24 日に教員向けの体験会を開催するので、HP で広報してほしい
- 環境省・UNU-IAS 共催のシンポジウム「金沢から発信する SDGs ビジネス」が 2018 年 1 月 22 日（月）に開催される。広報に協力してほしい

#### <後援名義> 2 件

- 「ユネスコ ESD ボランティアパスポート報告会」に中部地方 ESD 活動支援センターの後援名義を使用したい
- 「信州 ESD コンソーシアム成果発表 & 交流会」の開催にあたり、後援名義を使用したい

#### <事業内容> 6 件

- 広報課の戦略づくりに向け、情報収集及び聴き取り調査をしている。中部地方 ESD 活動支援センターの活動及び、財団等における ESD 活動についてヒアリングをしたい
- 森のがっこうに参画する 50 事業団体が SDGs を理解し実行するための研修
- 研修の後、実行する企画計画策定、特に“活動資金の確保方法”等の指導
- 設楽町内の 50 団体ほどで事業体を起こす。その協働体制の指導
- 今年度市の委託事業で実施する「ESD の現状調査と推進策の研究」について報告する。外部のステークホルダーに、報告について意見を聞き、最終報告に反映させたい。中部 ESD 活動支援センターに参加いただき、意見をいただきたい
- 新聞に EPO 中部、中部地方 ESD 活動支援センターの紹介や有益な情報等を掲載する記事を載せたい

#### <情報提供> 5 件

- 学校の子どもや教員向けに出前講座をしているのだが、学校と繋がる機会が少ない。紹介してもらえるような仕組みや機会はないか
- 環境教育に関するイベントがあれば教えてほしい
- 環境のことだけでなく、人権や国際理解について学びたいがどこに行けば関連情報や、実際にワークショップのできる人材などいるのか。関連する資料がほしい
- CSR 的な取り組みを模索しており、ESG 投資、SDGs などをトリガーに推進したい。関係するイベントに関する情報を提供してほしい
- 愛知県豊田東高校の ESD カレンダーを入手したい

#### <拠点登録> 1 件

- ESD 推進拠点への登録に関して、①拠点の義務、②拠点のメリット、③申請にかかる「行動規範」、④拠点登録解除の手続きについて聞きたい

#### <学校教育・教員研修> 8 件

- 教員対象の ESD 研修会を行いたいので講師を紹介してほしい
- 中学校の教員から学校で 1 年間 ESD プログラムを実践したが、物足りなさを感じている、また ESD 実践への教員の温度差からか「つながっている感」が希薄であるため、来年度に向けて効果的なプログラム実践及び教員のモチベーションを向上するためのアドバイスをいただきたい
- ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」で紹介された名張市立薦原小学校での「エネルギーに関する授業」を実践したい。薦原小学校の担当教員、プログラムを開発した愛知教育大学の大鹿教授に方法等をヒアリングしたいため、連絡をとりたい

- 今年度、EPO 東北と連携した「東北大震災の語り部プロジェクト」として、全生徒を対象に防災訓練でのお話、インターアクトクラブを対象にお話及び交流を行った。来年度も実施したい
- 次年度夏休みの教員研修で ESD をテーマに行いたい。以前当教育委員会で同様の研修を実施し、小学校からの推薦があった講師に依頼をしたい。8 月を予定している
- 来年の 9 月頃に実践を学びあう交流会を開催したいと考えている。その際に、実践に取り組む意味・意義について子どもたちに分かりやすく話し、励ましてくれるような講演をしていただける講師の紹介
- 2020 年秋に ESD をテーマに現職教育研究会を行う。研究の進め方や授業への助言及び研究会当日に講演をしていただける大学の先生を紹介いただきたい
- 中学校で ESD をベースにし、今注目されている SDGs の初級編、または次期学習指導要領について理解を深めるための研修会を 5 月頃に講師を招いて実施したい

#### <文科省事業>3 件

- 平成 30 年度文科省「ESD の深化による地域の SDGs 推進事業」を申請する。事業が採択された際には、事業への連携協力を依頼したい
- 平成 30 年度文科省「ESD の深化による地域の SDGs 推進事業」の申請を検討している。申請する事業内容についてアドバイスいただきたい。また、事業が採択された際には、事業の助言及び評価を依頼したい
- 平成 30 年度文科省「ESD の深化による地域の SDGs 推進事業」の申請を検討している。ESD コンソーシアム愛知でのこれまでの事業を元に、さらに深化した事業にするために、事業内容及び中部 ESD 活動支援センターとの連携の仕方についても相談したい

#### <SDGs> 1 件

- 発行する情報誌に、SDGs を特集した記事を掲載したい。内容を確認いただき、また国連広報局のホームページから引用する部分についての手続き等が必要であれば教えてほしい



## イ ESD 活動に関する国内外の情報等の収集及び一元的な発信等

ESD 活動実践者等に対し、国内外の ESD 活動に関する情報・資料等を収集し発信・提供した。

### ①ESD 活動支援に係るパンフレット作成

地域における ESD 推進ネットワークの形成・構築に活用するためのパンフレットを作成し配布した。

### ・中部地方 ESD 活動支援センターパンフレット作成（参考資料 5-1）

A4 三つ折り両面カラー 1000 部印刷、追加 500 部印刷。



### ・事業案内チラシ作成（参考資料 5-2）

A3 2 つ折り両面カラー 1000 部印刷



### ・ESD 推進ネットワーク地域フォーラムチラシ作成

（参考資料 5-3）

A4 カラー両面 500 部印刷



他、事業に応じてチラシ等作成し、ESD 活動支援センター及び事業について情報提供を行った。

②Web サイトのコンテンツ等の作成、運用等

平成 29 年度に全国センターが構築する Web サイトにおいて、全国センターが用意するセンターのページに、地域の ESD 活動事例等や地域の ESD の推進に役立つ情報等を掲載し情報発信を行った。Web サイトのコンテンツは、1) 中部地方 ESD 活動支援センターのイベント紹介・報告、2) 主に中部地方の ESD 取組、イベント紹介、取材報告、を構成し、適宜発信をした。

<Web アクセス数> ※3 月 23 日時点 月平均 514 件

|      | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月   | 3 月 |
|------|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-------|-----|
| アクセス | 684 | 298 | 295 | 366  | 325  | 287  | 362 | 1,343 | 673 |

<情報提供数> ※3 月 23 日時点 ※詳細は別紙参照

●中部地方 ESD 活動支援センターのイベント紹介、報告 25 件  
・イベント紹介 発信数：14

|    | 掲載日       | 内 容                             | 開催日               |
|----|-----------|---------------------------------|-------------------|
| 1  | H29.07.03 | 中部地方活動支援センターオープン                |                   |
| 2  | H29.08.09 | 夏期休暇のため下記の期間中閉館                 |                   |
| 3  | H29.08.22 | ESD 動画募集のお知らせ                   |                   |
| 4  | H29.09.12 | ESD 研究会(東海) 開催                  | 9 月 22 日          |
| 5  | H29.10.17 | ESD 研究会(長野) 開催                  | 10 月 28 日         |
| 6  | H29.10.24 | 2017 年度 活動紹介チラシ完成！              |                   |
| 7  | H29.11.07 | ESD 研究会「SDGs と企業」(東海) 開催        | 12 月 1 日          |
| 8  | H29.11.10 | 長者町新聞に中部地方 ESD 活動支援センターの記事が掲載   |                   |
| 9  | H29.12.04 | ESD 研究会「SDGs と企業」(金沢開催) 開催      | 12 月 20 日         |
| 10 | H29.12.04 | ESD 研究会「ESD を取り入れた授業づくり」(富山) 開催 | 1 月 5 日           |
| 11 | H29.12.25 | 日本体験学習研究所が地域 ESD 活動推進拠点に登録      |                   |
| 12 | H29.12.28 | ESD 交流会～持続可能な社会形成に向けてつながる」開催    | 1 月 19 日、2 月 23 日 |
| 13 | H29.12.28 | 年末年始休業のため閉館                     |                   |
| 14 | H30.02.15 | ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 2017 開催     | 3 月 3 日           |

・事業報告 発信数：8

|   | 掲載日        | 内 容                                | 開催日       |
|---|------------|------------------------------------|-----------|
| 1 | 2017.07.03 | 中部地方 ESD 活動支援企画運営会議（第 1 回）開催       | 7 月 3 日   |
| 2 | 2017.07.04 | これがセンターのお仕事だ！                      |           |
| 3 | 2017.10.02 | ESD 研究会 in 東海～新学習指導要領と ESD 授業づくり実施 | 9 月 22 日  |
| 4 | 2017.11.09 | ESD 研究会 in 長野～新学習指導要領と ESD 授業づくり実施 | 10 月 28 日 |
| 5 | 2017.12.21 | ESD 研究会 in 東海「ESD 研究会～SDGs と企業」実施  | 12 月 1 日  |
| 6 | 2018.01.17 | ESD 研究会 in 北陸「ESD 研究会～SDGs と企業」実施  | 12 月 20 日 |
| 7 | 2018.01.30 | ESD 研究会 in 富山「ESD を取り入れた授業づくり」実施   | 1 月 5 日   |
| 8 | 2018.01.30 | ESD 交流会 in 東海 報告                   | 1 月 19 日  |

・その他 発信数：3

|   | 掲載日       | 内 容         |
|---|-----------|-------------|
| 1 | H29.07.03 | 企画運営会議・委員紹介 |
| 2 | H29.07.03 | スタッフ紹介      |
| 3 | H29.07.03 | 利用案内        |

●中部地方 ESD 活動支援センター以外のイベント紹介、取材報告 26 件

・イベント情報 発信数：9

|   | 掲載日       | 内 容                                               | 開催日       | 主催者                      |
|---|-----------|---------------------------------------------------|-----------|--------------------------|
| 1 | H29.07.13 | ESD スペシャリスト育成プロジェクトの紹介                            | 7 月 22 日  | JIEL 主催                  |
| 2 | H29.08.09 | ESD 研修会のお知らせ                                      | 8 月 25 日  | 国際理解教育同好会                |
| 3 | H29.10.17 | 平成 29 年度愛知県ユネスコスクール交流会のお知らせ                       | 10 月 29 日 | 愛知県教育委員会                 |
| 4 | H29.10.30 | 高校生活動発表会のお知らせ                                     | 12 月 16 日 | 冬のエコフェア実行委員会             |
| 5 | H29.11.02 | ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2017 のお知らせ                    | 11 月 24 日 | ESD 活動支援センター             |
| 6 | H29.11.15 | 日本／ユネスコパートナーシップ事業「持続可能な開発のための教育について考える」研修会開催のお知らせ | 12 月 26 日 | 公益財団法人<br>ユネスコ・アジア文化センター |
| 7 | H29.11.17 | 教員のための「子どもの森の健康診断」体験会のお知らせ                        | 12 月 24 日 | 森の健康診断出前隊                |
| 8 | H29.12.14 | シンポジウム「石川・金沢から発信する SDGs ビジネス」開催のお知らせ              | 1 月 22 日  | 環境省・UNU-IAS 共催           |
| 9 | H30.2.15  | あいちの未来を考えた！高校生が伝えたいこと～環境学習プログラム交流会～のお知らせ          | 3 月 10 日  | 環境省中部環境パートナーシップオフィス      |

・取材レポート 発信数：14

|    | 掲載日       | 内 容                           | 開催日            | 主催者                    |
|----|-----------|-------------------------------|----------------|------------------------|
| 1  | H29.07.03 | ユネスコエコパーク・ESD 研修会             | 6 月 22 日       | 山之内町立西小学校              |
| 2  | H29.07.03 | 教員対象の ESD 研修                  | 6 月 26 日       | あま市立碓目寺小学校             |
| 3  | H29.07.11 | 「富岡町(とみおかまち)3.11 を語る会」口演会     | 6 月 29 日       | 愛知県立千種高等学校             |
| 4  | H29.08.28 | 教職員研修 環境教育 1 ESD 講座           | 7 月 27 日、28 日  | 四日市公害と環境未来館            |
| 5  | H29.09.13 | 参加体験・学習スキル授業研究型の ESD 研修       | 8 月 25 日       | 名古屋市国際理解教育同好会          |
| 6  | H29.09.28 | 北信越ユネスコスクール交流会 2017in 金沢      | 8 月 6 日        | 金沢大学国際基幹教育院            |
| 7  | H29.10.10 | ESD コンソーシアム愛知 交流会             | 8 月 4 日        | ESD コンソーシアム愛知          |
| 8  | H29.10.18 | 「アフリカの動物たち～いのちのつながり」講演会       | 10 月 5 日       | 津市立南が丘小学校 PTA          |
| 9  | H29.11.13 | ESD スペシャリスト育成プロジェクト第 5 回研修    | 10 月 21 日、22 日 | JIEL                   |
| 10 | H29.11.29 | ユネスコスクール豊橋大会                  | 11 月 24 日、25 日 | 豊橋市教育委員会               |
| 11 | H29.11.29 | ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2017      | 11 月 24 日、25 日 | 文部科学省、環境省              |
| 12 | H30.01.30 | シンポジウム「石川・金沢から発信する SDGs ビジネス」 | 1 月 22 日       | 環境省 国連大学サステイナビリティ高等研究所 |
| 13 | H30.02.13 | 信州 ESD コンソーシアム成果発表&交流会        | 2 月 3 日        | 信州 ESD コンソーシアム         |
| 14 | H30.02.14 | さかきばらわかもの未来フォーラム              | 2 月 11 日       | 榊原未来会議                 |

・資料紹介 発信数：3

|   | 掲載日       | 内 容                     | 発行者              |
|---|-----------|-------------------------|------------------|
| 1 | H29.07.06 | 教員のための ESD ガイドブック～      | 北陸 ESD 推進コンソーシアム |
| 2 | H29.07.06 | 信州 ESD 通信               | 信州 ESD コンソーシアム   |
| 3 | H29.07.21 | 中部 ESD 拠点平成 28 年度事業レポート | 中部 ESD 拠点        |

**<成果> ESD 活動を支援するための情報共有等について**

ESD 活動に関するこの地域の情報共有窓口として、ESD 活動に関する相談対応及び支援を行った。ESD 活動実践者等からの ESD 活動を実践するに当たっての相談や支援の要請に適切に対応した。相談件数は 46 件（受け付けた相談・支援要請等については、相談内容・対応結果等を記録、整理をした）。相談者には地域 ESD 拠点の登録依頼を行った。

センター及びセンター事業の広報媒体として、パンフレットと事業案内を作成し配布、発信をした。全国・地方センターと連携をして Web を作成、センター事業案内と報告、関係団体の活動紹介レポート、提供いただいた情報などを掲載した。

ESD 活動実践者等に対し、主に国内の ESD 活動に関する情報・資料等を収集し発信・提供した。

**<課題>**

・相談業務は月平均 4 件程度であるが、相談業務の成果を可視化し、地域における情報を蓄積し、相談者の拡大、相談内容の多様化、ニーズ対応内容の質の向上を図りたい。

・課題は Web のアクセス数が少ないことである。しかしながら、2 月は 1,000 件を超え、今後事業及び ESD 登録拠点の拡大と並行してアクセス数の増加を目指す。

**<業務実施状況>**

| 項 目                  | 実施状況 |
|----------------------|------|
| パンフレットを作成し、配布し、発信したか | ○    |
| Web を作成し、情報を発信したか    | ○    |

### (3) ESD 活動の支援等

現場のニーズを反映した ESD 活動の支援及び地域 ESD 拠点の形成促進等のため、以下の業務を実施した。

#### ア 中部地方 ESD 活動支援企画運営会議の運営等

この地域において ESD 推進ネットワークを効果的・効率的に推進・構築していくため、ESD 活動実践者等の支援方策や地域における ESD の普及・啓発等の方策等について議論・検討を行い、センターの活動方針や効果的な運営について提案・助言を得た。

今年度は 2 回開催し、第 1 回については、今年度の事業方針や事業内容について、たたき案をもとに協議を行い、各委員の専門性、地域性を取り入れた具体的な計画内容をつくることができた。

第 2 回については、今年の業務実施についての報告及び成果、課題のとりまとめ、次期に向けての提案等について議論した。

##### ①第 1 回企画運営会議（参考資料 3-1）

日 時：平成 29 年 7 月 3 日(月) 10:00～12:00

場 所：中部地方環境事務所第 2 会議室

出席者：11 名（他傍聴者 2 名）※以下敬称略

＜委員/5 名＞

座長代理 戸成 司朗（住友理工株式会社 CSR 部長）

彦坂永利子（愛知県教育委員会生涯学習課 課長補佐）

古澤 礼太（中部 ESD 拠点協議会 事務局長）

松本 謙一（北陸 ESD 推進コンソーシアム ESD コーディネーター）

渡辺 隆一（信州 ESD コンソーシアム コーディネーター）

欠席者：伊藤 恭彦（名古屋市立大学 副学長）

＜中部地方環境事務所/3 名＞

＜事務局/3 名＞

##### ●主な内容

・委員自己紹介

・座長選任について

・平成 29 年度中部地方 ESD 活動支援センター運営等業務計画（案）について

##### ②第 2 回企画運営会議（参考資料 3-2）

日時：平成 30 年 3 月 7 日(水) 14:00～16:30

場所：中部地方環境事務所第 1 会議室

出席者：11 名 ※以下敬称略

＜委員/5 名＞

座長 伊藤 恭彦（名古屋市立大学 副学長）

戸成 司朗（住友理工株式会社 CSR 部長）

彦坂永利子（愛知県教育委員会生涯学習課 課長補佐）

松本 謙一（北陸 ESD 推進コンソーシアム ESD コーディネーター）

渡辺 隆一（信州 ESD コンソーシアム コーディネーター）

欠席者：古澤 礼太（中部 ESD 拠点協議会 事務局長）

＜中部地方環境事務所/3 名＞

＜事務局/3 名＞

##### ●主な内容

・委員の近況報告自己紹介

・平成 29 年度中部地方 ESD 活動支援センター運営等業務報告について

・次年度への提案について

### <成果>

ESD 推進ネットワークを効果的・効率的に推進・構築していくため、ESD 活動実践者等の支援方策や地域における ESD の普及・啓発等の方策等について議論・検討し、センターの活動方針や効果的な運営について提案・助言を得た。

第 1 回の会議では、地域ニーズ、主体ニーズを抽出し、特に信州、北陸での事業実施、学校教員や企業を対象にした企画及び今年度事業について意見交換をした。運営会議委員の意見・提案により、「学校教育をターゲットにした研究会」「企業と SDGs をテーマにした研究会」「学校教育と中部 7 県環境施策の連携による交流会」を実施することができた。また、広報、当日の企画・運営等への参加、アドバイスを得ることができた。運営会議で協議した内容を事業に反映させ実施することができた。

また、地域 ESD 拠点登録に関して各地域、各主体にいかに関わりアプローチするか等についても相談し、助言を得た。

第 2 回の会議では、今年度事業の報告が主な内容となり、事務局の報告と重ねて、各委員の協力を得た企画についての報告をしていただいた。学校教育、企業、それぞれの専門性や地域性を十分に活用した企画であったこと、文科省と各県環境部局の施策を重ねた議論の有効性について高く評価され、「異種交流」をベースにした企画はセンターしかできないといった企画に対しての意見を多くいただいた。今年度は教員、教育委員会、行政環境部局、企業、NPO/NGO、大学、市民等異なる主体の交流を主に企画を実施したが、次年度以降はさらに異なる分野とのコラボレーション、社会教育とのコラボレーションの強化について提案がなされた。また、企業を対象に SDGs をテーマにした研究会を実施したが、さらに企業の参加を促すとともに、SDGs をテーマに企業以外の地域の多様な主体とのコラボレーション、異分野との連携の可能性を追求することも提案された。

### <課題>

今年度の成果を活かし、異分野、異なる主体の掛け合わせによる企画を展開するためにも、環境に加えて新たな分野の NPO や NGO、行政部局との関係性の育みが求められる。また、高校生や次世代と多世代とのつながりを意識した企画の実施の検討を要する。

各地域、各主体のみではできない、センターだからこそできる企画を、センターが担うべき業務について意見、提案、地域ニーズ・シーズを把握し、今年度を含め 3 年間の具体的な目標を明確に示すことが必要である。

<業務実施状況>

| 項 目                         | 実施状況 |
|-----------------------------|------|
| 年 2 回開催したか                  | ○    |
| 第 1 回の企画運営会議の協議内容は事業に有効だったか | ○    |
| 第 2 回の企画運営会議の協議内容は事業に有効だったか | ○    |
| 必要に応じて企画運営会議委員の助言を得たか       | ○    |

<第 1 回企画運営会議>



<第 2 回企画運営会議>





## イ 地域と連携した地域 ESD 拠点の形成支援業務

企画運営会議での協議により、文科省と環境省の牽引で設置されたセンターであることから、今年度は文科省と環境省の情報の交流の場をつくり、今後地域において学校教育と地域がどのように連携をし、ESD 取組を推進できるかについて意見交換をした。地域 ESD 拠点の形成支援及びセンターに関する情報発信した。

### ①-1 ESD 交流会 in 東海～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～（添付資料）

日時：平成 30 年 1 月 19 日(金) 14:00～17:00

場所：名古屋国際センター第 1 会議室 参加者：44 名

#### <主な内容>

#### ○講演「学校教育における ESD 実践～新学習指導要領改訂を踏まえて」

講師：渋谷 一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官/併任：国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官）

#### ○セッション「中部 7 県の環境学習/ESD 施策の現状と今後の展開・可能性」

ゲスト：福井県安全環境部環境政策課

長野県環境部環境政策課

岐阜県環境生活部環境企画課

愛知県環境部環境活動推進課

三重県環境学習情報センター/三重県生活環境部地球温暖化対策課

名古屋市環境局環境活動推進課

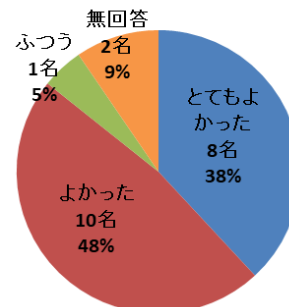
#### ○フロアセッション

### <アンケート> 一部抜粋

#### ① ESD 交流会 in 東海～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～（36 名参加）

##### ○参加されていたいかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 8 名  |
| よかった      | 10 名 |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 2 名  |
| 計         | 21 名 |



##### 【とてもよかった】

- ・色々な人がいるが、共通の目標をもって取り組んでいることがわかった。
- ・渋谷先生のお話から刺激をもらった。
- ・色々な意見を聞けて良かった。
- ・総合学習の話が詳しくよかった。

##### 【よかった】

- ・色々な県市の情報を得ることができた。
- ・自分がやらなくてはいけないことが見えてきた。
- ・行政や現場で行われていることを知ることができた。

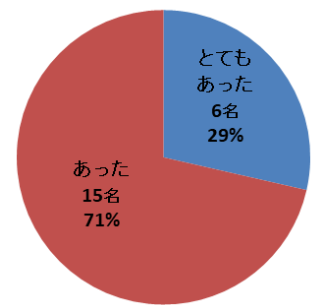
##### 【ふつう】

- ・何度も顔を合わせていくというのも大事だと思います。



○気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 6 名  |
| あった     | 15 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 21 名 |



【とてもあった】

- ・主体性の育成は生徒会活動できると気付いた。
- ・あらためて自分のこれまでやってきたことを再検討するきっかけとなった。
- ・ESD の課題が様々に分かったこと。

【あった】

- ・ESD カレンダーの意義について知ることができた。
- ・関わり、連携が大切であること。
- ・子どもの気づきの大切さが分かった。
- ・関心のある人は多くいて、そのきっかけを見つけようと努力している人もいるということは、私にとって刺激になりました。「自ら動く」は大切ですね。
- ・色々な機関を知りました。



## ①-2 ESD 交流会 in 北陸長野～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～（添付資料）

日時：平成 30 年 2 月 23 日(金) 14:00～17:00

場所：金沢勤労者プラザ 101 研修室 参加者：49 名

＜主な内容＞

### ○講演「学校教育における ESD 実践～新学習指導要領改訂を踏まえて」

講師：渋谷 一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官/併任：国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官）

### ○セッション「中部 7 県の環境学習/ESD 施策の現状と今後の展開・可能性」

ゲスト：石川県生活環境部環境政策課

福井県安全環境部環境政策課

長野県環境部環境政策課

岐阜県環境生活部環境企画課

愛知県環境部環境活動推進課

三重県環境学習情報センター/三重県生活環境部地球温暖化対策課

名古屋市環境局環境活動推進課

金沢市環境局環境政策課

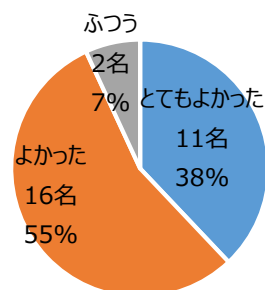
○フロアセッション

## ＜アンケート＞ 一部抜粋

② ESD 交流会 in 金沢～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～(45 名参加)

○参加されていかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 11 名 |
| よかった      | 16 名 |
| ふつう       | 2 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 29 名 |



### 【とてもよかった】

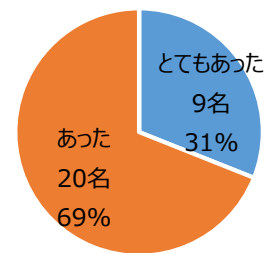
- ・どこかで人脈がつながるんだな、と思った。
- ・様々な取組が知れ、今後のカリキュラム編集に向けて大きな力になりました。
- ・ESD をよりぐっと深く学べたから。
- ・いろんな立場の方の話が聞けたので、考えるきっかけをもらいました。
- ・ESD と言う事を知らなかった。多様な方と交流できて良かった。
- ・先生がたくさん参加され、意見を聞くことができました。
- ・たのしかったです！いろんな方々の話を聴けて、また話し合えて。

### 【よかった】

- ・私達は出前講座等を実行する団体ですが、その進め方で大いに参考になった。
- ・行政、学校現場、NPO と交流
- ・いろいろな分野の方、地方の方の話がきけたから。
- ・渋谷さんのお話をお聞きできたこと。
- ・刺激を受けた。情報や悩みを共有できた。
- ・中部地方のいろいろな取り組みを聞いて楽しかったです。自分の県での取り組みも現場で盛り上げられたらと思いました。
- ・学校の先生方、支援する立場の方の声がきけて良かったです。
- ・様々な立場の人と話しができてよかった。
- ・各県の政策、横断的に聞け、比較出来たこと。
- ・ボリュームは多かったが、興味のある内容があった。フロアセッション？では面白い人もいて、意外な情報もたくさん知ることができた。

○気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 9 名  |
| あった     | 20 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 計       | 29 名 |



【とてもあった】

- ・各セッションの方々の努力や工夫を改めて知れました！
- ・プログラムに各県の意見、思いを聞けた。
- ・いろんな業種の方との交流ってすごく大切！！これからもあるとよいと思います。
- ・それぞれの立場の人が本気なんだと思った（参加者です）。でも、ちょっとしたすれちがいがあることも分かりました。

【あった】

- ・教育委員会の担当者に「学校は忙しいから ESD を現場におろすにはムリ」と言われるという発言があったが、もはや教育は ESD そのものになっているのにそのことを理解できていないということに問題があることに気づいた。
- ・協働、連携、そして「探究」についての手法/ESD カレンダー
- ・学校の状況、大変であること。
- ・行政としてすべきことを今一度考える機会になった。
- ・それぞれの分野の ESD への前向きな姿勢を感じた。
- ・未来ある子ども達のために努力。
- ・行政や NPO の考え方や視点を知り、その方たちの思いや願いも子どもたちにとってよい学習材になるなと思いました。
- ・子どもたちを中心に協力していかなばと思った。
- ・身近な近所同士の交流に多くのヒントがあるように思う。
- ・タテ社会、行政に気づいた。
- ・学校は環境教育をやりたい（先生によってだが）ということが聞けた。
- ・現場では、教委よりも行政からの依頼が重視されている！！（というケースもあるという事）

■取り上げてほしいテーマがありましたらお書きください。（金沢開催のみ）

- ・SDG と ESD との関わり
- ・SDGOAL を軸にした別葉（ESD カレンダーみたいなもの）の作り方。
- ・もう少し持続可能な連携になるように、狭い範囲の交流会を！
- ・具体的な実践（外部との関わりのあるもの等）
- ・学校現場で効果的に ESD を推進するためにみなさんどんなことをされておられるのか?!もっと知りたいです。
- ・結びつき。情報の見せ方、提供の方法。
- ・具体的な学習プログラムの紹介

■学校教育と県の環境政策を重ねた今回のような議論の場は必要だと思いますか。（金沢開催のみ）

- ・相互理解を進めるために必要。コーディネート（連携を進める）できる人材が増えるように。
- ・これからの学校には必要です。ありがとうございました。
- ・必要です！教委関係者を入れる必要もあります。頑張っ！
- ・議論の場は必要だと思います。しかし、何度も情報を交換し、子どもたちへどんな力をつけたいか明確にした上で、しないと深まっていけないのではと思いました。
- ・意見交換が必要。実情の把握。
- ・必要とは思いますが、今の段階では両者に乖離があるので。場のもち方については工夫が必要。
- ・思います。それぞれの立場にちょっとしたすれちがいがあると分かりました。すれちがいをなくせたら、もっと子どものためになることができそうだと可能性を感じたので。
- ・大切だと思います。ワンウェイではなく、ツーウェイであることが、より ESD を推進できると思うので！！
- ・楽しく連携できたらいいなと思います。

- ・互いの立場の思いを知ることはとても大切。学校現場の実状（授業時数や学習内容など）と政策をうまくすり合わせたらより教育効果が高まると思う。
- ・必要だと思います。学校の先生は、もっと先生以外の人々と交流、議論する必要があると思っているからです!!（ちなみに自分も教員）
- ・とても新鮮だった。また学校と交流したい。
- ・専門家と学校のマッチングを考えてほしい。
- ・情報交換は有意義だ。
- ・必要だと思う。ただ、相当回数を重ねないと成果は出ないかもしれませんね。有意義でした。
- ・もっと学校現場の教員の参加が増えて欲しい。議論やこのような交流会に参加して知ること、考えることができる。
- ・新しい発見があるのでよいと思います。



### <成果>

地域 ESD 拠点の形成支援及びセンターに関する情報発信の場として ESD 交流会を名古屋と金沢の 2 ヶ所で開催した。第 1 回の企画運営会議で、中部 7 県の環境学習政策と学校教育を結ぶことの必要性が出されたこともあり、企画内容を「学校教育と中部 7 県の環境学習施策の連携」を軸に組み立てた。

学校教育に関しては、文部科学省教科調査官に「新学習指導要領と ESD のつながり」「学校教育と地域のつながり」を主なテーマに講演いただき、中部 7 県の環境学習施策については各県環境部局に依頼をし、ほぼ全県に出席いただいた。金沢開催の際には金沢市環境部にも参加いただき、学校教育及び各県の環境学習施策の情報提供、共有、いかにつながることができるか、についてのセッションを行った。東海、北陸で開催し、どちらも学校関係者（教育委員会、教員）、地域の活動団体等（ユネスコ協会、ESD コンソーシアム、地域の環境学習を担っている団体等）、大学、事業者等の参加を得られ、地域で ESD をいかに展開するかについて学びあう場をもつことができた。アンケートにもほぼ「満足」という回答を得ている。

### <課題>

・今年度は環境分野を中心に開催したが、他分野（行政部局、NPO/NGO、関係機関、環境分野以外の ESD 授業づくりをしている学校等）との連携、参加を仕掛けていくことが次年度は必要である。

## ②地域 ESD 拠点登録

今年度は主に、ユネスコ協会、ESD コンソーシアム等に周知・依頼をした。10 月 28 日・29 日に日本ユネスコ協会連盟中部西ブロック研究会開催時に、センター資料及び登録案内を配布、その後中部 7 県 29 のユネスコ協会に登録依頼文書等資料を郵送した。(参考資料 4)

| 拠点登録進捗状況 |        |        | 【3月23日時点】                                          |
|----------|--------|--------|----------------------------------------------------|
|          | 資料送付   | 承認日    | 団体名                                                |
| 富山       | 2月8日   | 検討中    | 環境教育ネットワーク とやまエコひろば                                |
|          | 12月22日 | 検討中    | 富山ユネスコ協会                                           |
| 石川       | 12月21日 | 検討中    | 公益社団法人 大学コンソーシアム石川                                 |
|          | 12月21日 | 検討中    | 北陸ESD推進コンソーシアム                                     |
|          | 12月22日 | 申請書提出  | 石川ユネスコ協会                                           |
| 福井       | 12月22日 | 検討中    | 特定非営利活動法人エコプランふくい                                  |
|          | 12月22日 | 検討中    | ふくいユネスコ協会                                          |
| 長野       | 12月21日 | 2月26日  | 一般社団法人 長野県環境保全協会                                   |
|          | 12月21日 | 申請書提出  | 信州ESDコンソーシアム                                       |
|          | 12月21日 | 検討中    | 長野ユネスコ協会                                           |
|          | 2月8日   | 検討中    | NPO法人やまぼうし自然学校                                     |
|          | 2月15日  | 検討中    | NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター                             |
| 岐阜       | 12月21日 | 検討中    | 岐阜ユネスコ協会                                           |
| 愛知       | 12月21日 | 検討中    | ESDコンソーシアム愛知                                       |
|          | 12月21日 | 検討中    | 中部ESD拠点                                            |
|          | 12月21日 | 2月26日  | 名古屋ユネスコ協会                                          |
|          | 12月22日 | 検討中    | 豊橋ユネスコ協会                                           |
|          | 11月14日 | 12月13日 | 一般社団法人日本体験学習研究所                                    |
|          | 1月23日  | 3月6日   | なごや環境大学実行委員会                                       |
| 三重       | 12月22日 | 1月12日  | 環境教育ネクストステップ研究会                                    |
|          | 12月21日 | 検討中    | 松阪ユネスコ協会                                           |
|          | 12月21日 | 検討中    | 三重ブランドのユネスコスクールコンソーシアム<br>(国立大学法人三重大学国際環境教育研究センター) |
|          | 10月31日 | 検討中    | 四日市大学                                              |

### <成果>

現在、登録団体は、5 団体、申請書類提出団体 2 団体、検討中の団体が 16 団体である。登録団体は、主に NPO である。

<課題> 拠点登録に関しての促しが十分にできなかったことである。ESD 拠点に登録することでのメリットや ESD 推進ネットワークがある事で地域の変容を具体的に説明、可視化することを要する。

### <業務実施状況>

| 項 目               | 実施状況 |
|-------------------|------|
| 年 2 回開催したか        | ○    |
| 参加者の満足度（アンケート参照）  | ○    |
| 連携したことの成果と効果      | ○    |
| 多様な分野の参加者を得たか     | ○    |
| ESD 拠点への登録が促進されたか | ○    |

#### （４）ESD 活動のネットワーク形成・学びあいの場の促進に係る支援等

ESD 活動に関連する地域間・各主体間の多様なネットワークの形成、相互交流の促進を図るため、以下の業務を実施した。

##### ア 全国センター開催業務への出席及び対応

ESD 活動に関連する地域間・各主体間の多様なネットワークの形成、相互交流の促進を図る。会議やイベント等に出席した。また、センターWeb サイトを活用し情報発信も行った。

#### ①ESD 活動支援企画運営委員会への出席

##### ●第 1 回 ESD 活動支援企画運営委員会

日時：平成 29 年 6 月 13 日(火) 15:00～17:00

場所：スタンダード会議室

出席：1 名（原）

＜主な内容＞

- 平成 28 年度 ESD 活動支援センター事業報告について（報告に対するコメント）
- 平成 29 年度 ESD 活動支援センター主要事業企画案について  
全国フォーラム企画について/地域 ESD 活動推進拠点形成について
- ESD 推進ネットワークの達成目標について

##### ●第 2 回 ESD 活動支援企画運営委員会

日時：平成 30 年 2 月 20 日(火) 10:00～12:00

場所：青山ブックセンター本店 会議室

出席：1 名（新海）

＜主な内容＞

- 平成 29 年度 ESD 活動支援センター活動状況概要について（報告）
- 平成 30 年度 ESD 活動支援センター事業計画概要案について
- ESD 推進ネットワークの方向性について  
ESD 推進ネットワークの達成目標等について/地域 ESD 拠点年次アンケート/地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）形成

#### ②ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会への出席

##### ●第 1 回 ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会

日時：平成 29 年 4 月 26 日(水) 14:00～17:00

場所：GEOC セミナースペース

出席：1 名（新海）

＜主な内容＞

- 経過報告事項  
平成 28 年度確定文書/地方センター設置準備状況等/平成 29 年度全国センター一年間スケジュール/ESD 活動支援センター（全国・地方）連携マニュアルについて/地方センターのウェブサイト、ロゴマーク等の情報基盤/ 環境省、全国センター等による関係者への説明資料
- 協議事項
  - ・広域ブロックにおけるネットワーク形成方策について
  - ・関係者への説明用資料について
  - ・ESD 推進ネットワークの成果目標と指標、成果の可視化との関係についての考え方について
  - ・地域 ESD 拠点の登録に向けた考え方について
  - ・情報発信基盤について

### ●第2回 ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会

日時：平成 29 年 10 月 10 日(水) 10:00～17:45

場所：日能研ビル 6 階 セミナースペース

出席：1 名（新海）

<主な内容>

#### ○報告事項

- ・地方 ESD 活動支援センター活動状況・事業計画共有

#### ○協議事項

- ・ESD 推進ネットワークの達成目標と指標・データの枠組みについて
- ・ネットワーク戦略について
- 全国フォーラムについて/後援名義・ロゴマークについて/地方センターウェブサイトについて/全国センターからの情報発信等について

#### ○地域 ESD 拠点関係について

- ・登録事務について
- ・年次アンケートについて

#### ○達成目標、指標、データについて

### ●第3回 ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会

日時：平成 30 年 1 月 17 日(水) 10:00～17:00

場所：GEOC セミナースペース

出席：2 名（新海 高橋）

<主な内容>

#### ○報告事項

- ・ESD 活動支援センター活動状況（全国・地方）全国フォーラム報告を含む
- ・地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録状況について
- ・後援名義使用承認等の状況

#### ○協議事項

- ・ESD ネットワーク戦略について
- 文部科学省「グローバル人材の育成に向けた ESD の推進事業」について
- ESD 推進ネットワークの達成目標等について
- ESD 拠点年次アンケートについて
- ESD 推進ネットワーク可視化について（地方）

#### ○今後の地域 ESD 拠点の登録について（課題の共有と対応策）

#### ○ESD 活動支援センター平成 30 年度事業の概要案について

#### ○ESD 活動支援センター（全国・地方）連携について

### ③ESD 推進ネットワーク全国フォーラムへの出席

日時：平成 29 年 11 月 24 日(金) 13:00～18:00/11 月 25 日(土) 9:30～13:00

場所：立教大学

出席：3 名（新海/1 日目のみ 原 鶴飼）

<主な内容>

1 日目

#### ○セッション I 地域における ESD のさらなる展開に向けて

- ・基調パネルディスカッション
- ・地方センターとの連携事例（NPO、企業、教育委員会）
- ・登壇者同士の振り返り・フロアとの質疑応答・意見交換



・総括

○セッション II ESD 推進ネットワークと多様な活動事例

ポスター発表・情報交流セッション

○セッション III ESD 関連省庁施策と ESD 推進ネットワークへの期待

2 日目

○セッション IV 分科会：地域 ESD 拠点の可能性

- ・分科会 1) 森川海と大人・子どもの学びをつなぐ ESD
- ・分科会 2) 公的施設との連携で展開する ESD
- ・分科会 3) 地域と学校をつなぐコーディネート機能を生かした ESD
- ・分科会 4) 学校における持続可能な ESD をめざして

○セッション V 総括

- ・分科会結果の発表
- ・質疑応答・意見交換、全体討議

**<成果>**

ESD 活動支援企画運営委員会（以下委員会）、ESD 活動支援センター（全国・地方）連絡会（以下連絡会）、ESD 推進ネットワーク全国フォーラム（以下フォーラム）とする。

委員会は全国の ESD の専門家の会議体であり、8 ケ所のセンターから 4 ケ所が担当として出席し、中部は担当である。第 1 回は、多角的な視点で ESD 活動支援センターの役割や事業内容について意見を交わした。全国センター、地方センターそれぞれの役割と連携するからこそその役割への期待を把握し、各委員が所属する団体との連携強化をすすめた。第 2 回では、動きた地方センターと全国センターの連携についての議論が主となり、各地方センターの地域性による展開をいかに情報共有しうまく活かしあい、ボトムアップしていくかが今後の全国センターの重要な役割になることを共有した。

連絡会では、全国センター、地方センターの役割について、可視化ツールの機能、事業目標と評価の議論、各地方センターの事業等の共有などを行った。全国センター事業、各地方センターの事業を把握し、その違いから得られるヒントを得て事業に反映させた（例、九州では地域 ESD 拠点登録件数 30 件を目標としている等）。また、パンフレットやチラシを配布し、事業紹介等をした。また、拠点登録に関しては各センターの状況を把握しながら進めた。

フォーラムは、全国センター主催の全国の ESD 活動の情報共有、ネットワーク形成を目的に行われた。各省庁の ESD に対する考え方を把握することができた。また、各地方センター等のブースを設け、情報発信をした。これらの会議等で得られた情報等については、センター Web サイトを活用し、地域 ESD 実践者等への情報発信も行った。

**<課題>**

- ・全国センターの持つネットワークや専門性を地域が使いきれていない。地域の持つポテンシャルやネットワークを全国が活かしてきれていない。いかに連携し、相乗効果を生み出す仕組みを効率的に作るか。
- ・これまで関係性のある団体との連携強化という点では、つなぎ直しができているが、新たな団体、分野へのアプローチが全国・地域の連携によってできていない。
- ・全国の ESD 専門家の知見とネットワークを全国、地域も活かす方法を考える必要がある。また全国センターと地方センターが相互参照をする機会を要する。特に地域 ESD 拠点登録に関しては、地域特性、地域事情によって登録対象団体が異なっている。そのプロセスを共有し、お互いのノウハウを活かしあい、拠点登録団体の増加や、拠点登録をすることの価値やメリットの検討をする必要がある。

<業務実施状況>

| 項 目                         | 実施状況 |
|-----------------------------|------|
| 会議に出席したか                    | ○    |
| 協議内容等を企画運営会議の協議に反映させたか      | ○    |
| 中部地方センターの状況を全国及び他地域と情報共有したか | ○    |



## イ ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催

中部 7 県の多様な ESD 取組を実践しているステークホルダーが一堂に集い、「新学習指導要領と ESD 授業づくり」「SDGs 達成のための企業の役割」「持続可能な地域をつくる公共人材」の 3 テーマのもと、専門家と実践者の対話の場をつくり、地域ネットワークを構築する機会をつくった。

### ●ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 2017～すべてをつなぎ、SDGs 達成、持続可能な地域をつくる (添付資料)

日時：平成 30 年 3 月 3 日(土) 11:00～16:45

場所：ウインクあいち 903・906

参加者：62 名

協力：中部 ESD 拠点、北陸 ESD 推進コンソーシアム、信州 ESD コンソーシアム、

後援：富山県、富山県教育委員会、石川県、石川県教育委員会、福井県、福井県教育委員会、長野県、長野県教育委員会、岐阜県、岐阜県教育委員会、愛知県、愛知県教育委員会、三重県、三重県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会

<主な内容>

#### ○リレートーク SDGs 達成、持続可能な地域をつくるために

「学校と地域の連携による ESD 授業づくり～総合的な学習の実践」

渋谷一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

「SDGs を達成する～2030 年までに企業は何をすべきか」

黒田かをり氏（一般財団法人 CSO ネットワーク事務局長・理事）

「持続可能な社会をつくる公共人材を育む」

伊藤恭彦氏（名古屋市立大学理事・副学長/中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議座長）

#### ○分科会

##### テーマ 1「学校教育で ESD を進めるために」

今年度実施した「学校教育」を対象とした「ESD 研究会」（東海・長野・北陸）の成果を共有し、学校と地域の連携による ESD 授業づくりが現場でより実践されるために、具体的な授業紹介、学校運営をベースに議論した。

<コメンテーター> 渋谷一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

<ファシリテーター> 大鹿聖公氏（愛知教育大学教授）

<授業紹介>

勝山市立荒土小学校（福井県） / 豊橋市立章南中学校（愛知県）

##### テーマ 2「SDGs と企業」

今年度実施した「企業の取組」を対象とした「ESD 研究会」（東海・北陸）の成果を共有し、企業が SDGs 目標を自社の羅針盤とし、経営理念、事業活動、バリューチェーンにおける SDGs 目標とのつながりの可視化、2030 年に向けて何をすべきか等について意見交換を行った。

<アドバイザー> 黒田かをり氏（一般財団法人 CSO ネットワーク）

<コメンテーター> 戸成司朗氏（住友理工株式会社 CSR 部長）

<事例紹介>

YKK 株式会社（富山県） / 有限会社山本屋（愛知県）

##### テーマ 3「公共人材／次世代の育みと地域づくり」

ESD は、社会の全ての構成員が、現世代、将来世代の「公正さ」に基づいた事業活動を創造する人材を育む。あらゆる社会の場面で、公正で公平な コミュニティ空間を形成する人材を育成するために、主にユースを対象にした取組を共有し、次の世代の ESD 活動のあり方について意見交換を行った。

<コメンテーター> 伊藤恭彦氏（名古屋市立大学理事・副学長/中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議座長）

＜コーディネーター＞ 堺 勇人氏（富山県立大学地域協働支援室 COC コーディネーター）

＜活動紹介＞

愛知県立佐屋高等学校（愛知県） / 名古屋市立名東高等学校（愛知県） / 学校法人梅村学園三重高等学校（三重県） / 中部サステナ政策塾（愛知県）

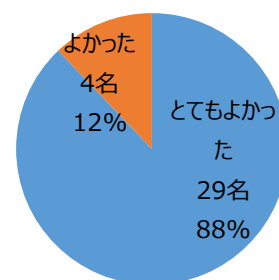
○ふりかえりセッション「ESD 推進ネットワークをどう使うか」

○コメンテーターメッセージ

＜アンケート＞ 一部抜粋

○参加されていたいかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 29 名 |
| よかった      | 4 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 33 名 |



【とてもよかった】

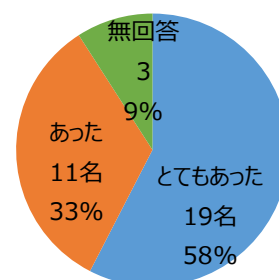
- ・行政、企業、NPO、教育など枠を超えて一堂に話を聞いて良かったです。
- ・色々な活動を聞いて自分の知識を深められた。
- ・一日でとても濃い学び、人脈の広がりがありました。
- ・まず、学校だけにいると世界が狭まるのでありがたいです。生徒に発表の機会を与えてくださりありがとうございました。
- ・知っている人はよく知っている、知らない人は全く知らない ESD。活動を各地でされている人との交流の機会が大切だと思う。
- ・高校生と大人の共有ができてよかった。同じ高校生でも自分とはまた異なる分野でご活躍されていて感心した。
- ・今まで関わることでできなかった分野の人と話すことができた。
- ・農業以外の活動が知れた。様々な方の話を聞くことで知識が増え、やりたいことが見つけられた。
- ・様々な世代や地域の方々と話すことができた。とても刺激になりました。
- ・ESD に関わっている様々な分野の方が集まっていた。また、ESD にくわしい方からこれから始める方など経験のレベルが違う人がかかわっているところがいいと思った。
- ・行政、教育、企業、NGO、NPO 様々な団体との人脈が得られた。
- ・学校での ESD 教育の進め方がわかりました。
- ・SDGs と ESD 相関が理解できた。
- ・みなさんの課題が聞けてとても良い機会でした。
- ・会社に持ち帰られる内容
- ・さまざまな立場の方と交流できた。
- ・各分科会の活動事例、多様な取り組みが聞けた。
- ・普段接したくても接することが困難な方々からよいご教示いただく機会となりました。
- ・異年齢での交流ができたこと。

【よかった】

- ・多様な方々と意見交換できた。
- ・トークセッションのゲストの方一人一人の話を長い時間聞いてみたいと思いました。SDGs は幅広い分野にわたる活動ですが、深まりも欲しい。
- ・学校教育の視点が聞けて良かった。

○気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 19 名 |
| あった     | 11 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 3 名  |
| 計       | 33 名 |



#### 【とてもあった】

- ・SDGs の普遍性・包摂性・統合性という特徴。
- ・これからの人生のかてになる話をきけた。
- ・自分が知らない世界を一つ知ることができました。
- ・SDGs 公共人材として活動する必要性の確認。揺らぎながら学び重ねたい。外への発信についても貢献したい。
- ・みんな考えてますね。是非この話し合いに出ないような人を取り込むようなことをしてほしいですね。
- ・若い人（高校生）の方が柔軟。知識が少ないからこそ感性で考えられる、動ける。
- ・大人と今の世代の若者の ESD に対する認知度が変わっていなかった。若者の意識から変えていくべきだと感じた。
- ・横のつながりの大切さ。
- ・ESD、SDGs の良さ、大切さ。
- ・ESD を通じ、SDGs を目指すことへの関連性、重要性を認識することができた。
- ・ESD、SDGs を通じて、多種多様な人と連携する力を育てる人材育成が重要だと感じた。
- ・私自身、明日からの仕事で何を目指していきたいのか、目指すのか、方向性が見出せました。
- ・学校以外の取り組みを知ることができた。

#### 【あった】

- ・他の分科会ものぞいてみたかった。
- ・この様な会に参加する高校生のレベルがとても高いこと、SDGs や ESD という言葉を知っていることにびっくりした。ネットワーク、人とのつながり、地域で考えることが大切なことが良く分かった。
- ・会社の方向性を考えるために
- ・未来に重きをおき、活動していた。

#### 【無回答】

- ・若者との交流はこれからあらゆる場面で必要だと感じました。

### <成果>

中部 7 県において ESD に取り組む関係者のネットワーク形成を目的に実施した。「新学習指導要領」「SDGs」「公共人材」をキーワードに専門家を迎え、各キーワードにそうコメンテーター、ゲストを依頼し実施をした。多様な分野、多様な主体、多様な世代が集まり、「ESD(SDGs)」をキーワードにそれぞれの取組を学びあい、相互参照する場となった。ふりかえりの時間では、高校生の「いかに自分達の活動の分野が狭かったかわかった。もっと広い視野、分野についても学びたい」といった発言や、企業の参加者からも、「企業の多様な SDGs の取組の可能性を得た」などコメントを得ることができ、センターとした多様な分野、多様な主体、多様な世代との連携、新たな組み合わせによる新たな企画の実施のニーズがあることを把握できた。そして、参加者各自が「ESD 推進」を考える要素を持ち帰ったと捉えられる。

フォーラムでは地域 ESD 拠点に関心を持ち資料請求を要望する団体が 10 団体あり、地域 ESD 拠点登録への促しにもつながった。地域における多様なステークホルダーが一堂に集い、地域ネットワークの形成を構築する機会をつくることができた。

### <課題>

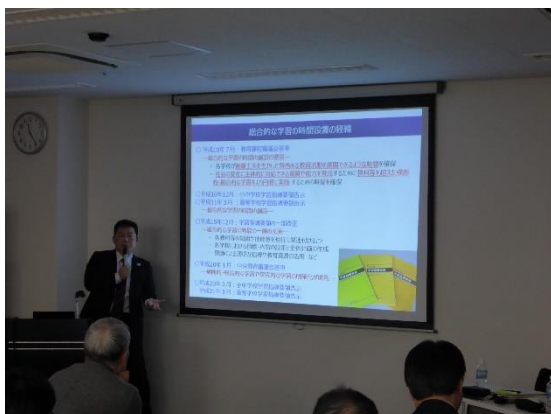
名古屋開催であると北陸、長野からの参加者を得にくい。また3月という年度末に開催したことも参加者を得にくくする要因であった。一方で、年度事業の総括であり次年度に実施する事業の要素を抽出する場でもあるため、今後どのような形での開催が良いのか十分に議論する必要がある。地域ESD拠点との実行委員会形式での開催や、次世代の参加を得るためにも次世代に企画内容を任せるなど、大胆な企画の検討も要する。

アンケートでは参加者の満足度も高く、今年度としてはよかったと思うが、3年間でどこまで何を達成するかデザインを要し、どのような主体とやかにデザインを具体化するかにについて検討を要する。

### <業務実施状況>

| 項 目                               | 実施状況 |
|-----------------------------------|------|
| 地域の多様なステークホルダーが集まり、ネットワーク形成を強化したか | ○    |
| 企画画運営会議の意見を反映した企画になったか            | ○    |
| 地域拠点の登録は促進したか                     | ○    |
| SDGs や次世代をテーマにした企画になったか           | ○    |
| ゲスト及び参加者を得ることができたか                | ○    |

### <当日の様子>





## （５）ESD を推進する人材育成支援業務

今年度は、平成 30 年度以降順次施行される新学習指導要領と、企業による取組が活性化している持続可能な開発目標（SDGs）に焦点を当て、東海、北陸、長野（１回）にて研究会を実施した。

新学習指導要領をテーマにした研究会では、文部科学省の教科調査官を講師に招き、主な対象を教員とした。SDGs をテーマにした研究会においては、すでに SDGs 目標と関連させて事業展開をしている企業とそうでない企業をゲストに迎え、主に企業を対象にして実施した。

当初は少人数での開催を予定していたが、ニーズがあることを把握したため、参加対象者数を増やし、参加者を多く得ることが出来た。２つのテーマから ESD を推進する人材育成を進めた。

### ①東海地域（添付資料）

#### ●ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」

日時：平成 29 年 9 月 22 日(金) 14:00～17:00

場所：錦パークビル 11 階会議室

参加者：32 名

＜主な内容＞

#### ・講義「新学習指導要領と ESD 授業」

講師：渋谷 一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官/併任：国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官）

意見交換

#### ・授業紹介「薦原小学校での ESD 授業」

ゲスト：瀬川 和之氏（名張市立薦原小学校教諭）

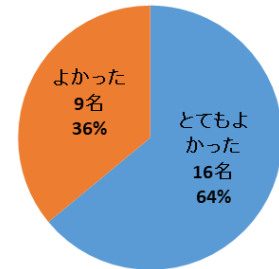
意見交換

#### ・セッション「今後授業づくりに大切なこと」

＜アンケート＞ 一部抜粋

○参加されていたかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 16 名 |
| よかった      | 9 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 25 名 |



【とてもよかった】

・本当に視野の広がる機会だったと思いました。自分も教員になる前にこのようなことを考える機会をいただけて本当に参加してよかったと思います。

・学習指導要領について、これまで以上に知識を得ることができて良かったです。2 校の活動実践を知ることができて有意義でした。

・授業づくりに困り感もありましたので、とてもいい機会になりました。

・教員以外にも大学生や教育委員会、NPO など多くの方の ESD に対する想いをこの場で視ることができた。良かったです。新学習指導要領について学ぶ機会は岐阜県でもあります。出席できる人は部会の長だけであって、その聞いた話は教員間で共有することがないので、今日は参加でき、学校で共有する時間をもちたいと思います。

・新学習指導要領での ESD の位置づけあう現場の現状を知ることができた。

・ESD の可能性を再確認できる場として、とても有意義な時間を過ごせました。

・新学習指導要領と ESD の理念の関連(授業づくり)について理解できました。授業づくりのヒントを得ることができました。

・現場全体の内容だったので理解しやすく、課題もわかりやすかった。

・これまで ESD と学習指導要領の問題を正面にとらえた研修会がなかった。

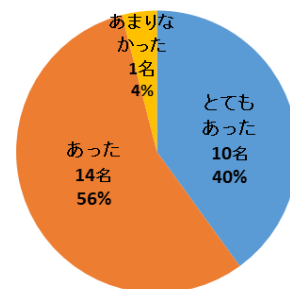
・各学校特に中学での実践の話が聞けて良かったです。生の声が聞けて良かったです。

【よかった】

- ・勤務校でやれることをぜひやっていこうと思った。
- ・ESD の名のもと、小学校・中学校の実践が知れてうれしく思いました。このように ESD の発表の場がありとてもよかったと思います。
- ・新たというよりも改めて確認できたことが自信になりました。
- ・いろんな立場の方の意見を聞くことができたので、学ぶことができた。
- ・勉強になりました。各セクターの特色・強みを活かした研究会になるともっと良いと思った。(参加者の対話要素を強めてもらえるとうれしい)
- ・新学習指導要領と ESD の関連について興味があったのでよかったです。小・中・高それぞれの取組事例があると良かったです。(書面のみでも)
- ・色々な事例に触れることができた。

○気付き、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 10 名 |
| あった     | 14 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 1 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 25 名 |



【とてもあった】

- ・自分が教員になった上で行いたい内容がたくさんありました。
- ・×ESD を学ぶ、○ESD の実践で～を育てる。
- ・かなりありました。多くのご意見の中でたくさん得るものがありました。
- ・三重県や北海道など他県の実践も知ることができ、やはり、地域に応じて工夫があると思い、おもしろいし、もっと知りたいと思いました。
- ・地域・保護者・企業／NPO との連携はやってきましたが、小中の連携について少し考えてみたいと思いました。
- ・ESD の理念は教育づくりにとってとても大切なことが理解できました。
- ・多方面の方が参加されており、大変参考になりました。
- ・カリキュラムマネジメントを意識した講座の展開がイメージできました。

【あった】

- ・同じ学校、地区に仲間を作ることが大切だと思った。
- ・教育課程の小中の連携。
- ・学習指導要領との関係がよくわかったこと。
- ・瀬川先生の授業の中にヒントがいっぱいあった。
- ・強みと励ましていただき前に進む気持ちが強くなりました。
- ・学習プランをスタッフのチームビルディング内で取り立ててきたが、本日の事例を共有し、要素を注入していきたい。多様な学びあいがおもしろかった。
- ・お話をきいて、ESD カレンダーを教員のもっと身近にしていこう、いかなきゃ・・・と思いました。
- ・気づきというよりは、勉強になったという印象でした。
- ・今後の活動においての key word に気付かされた。

【あまりなかった】

- ・国連の 10 年の時も学校が変わると思ったが、何も変化がなかった。いままでやっている内容を ESD でくくっても、一部の学校(研究校)以外ではいままで通りだろう。総合の研究校がどんどんなくなっている中、ESD の研究校があるのか？



## ●ESD 研究会「SDGs と企業」報告

日時：平成 29 年 12 月 1 日(金) 14:00～17:00

場所：錦パークビル 11 階会議室

参加者：29 名

<主な内容>

### ・講義「SDGs と企業」

講師：戸成 司朗氏（住友理工株式会社 CSR 部長）

質疑応答

### ・事例紹介「企業が取り組む SDGs」

ゲスト：百瀬 則子氏（ユニー株式会社 業務本部 CSR 部長）

堀川 勉良氏（井村屋株式会社 生産管理部長）

質疑応答

### ・セッション「SDGs が企業の羅針盤となるために」

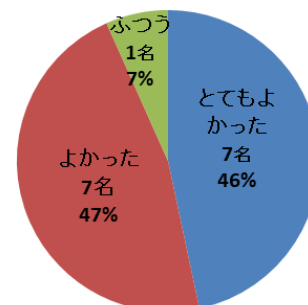
コーディネーター：戸成 司朗氏（住友理工株式会社 CSR 部長）

コメンテーター：加藤 義人氏（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社）

<アンケート> 一部抜粋

○参加されていたいかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 7 名  |
| よかった      | 7 名  |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 15 名 |



【とてもよかった】

- ・体系的に学ぶことが出来た。
- ・SDGs の現状がよくわかった。
- ・SDGs に取り組みたいと本気で考えていらっしゃる方とお会いできて、すごく刺激になりました。
- ・スピーカーの方がよかった。
- ・SDGs に対する理解が深まった。

【よかった】

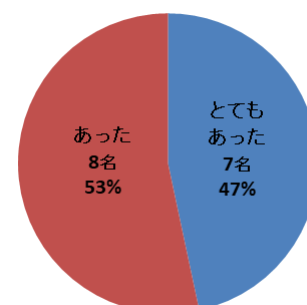
- ・色々な分野の方が集まっている。
- ・今回は急ぎの代理参加でして、私自身全く知識がない状態でした。聞くこと、見ることが、全てに新鮮な気持ちで望めました。
- ・色々な方と知り合えた。(企業団体、教育関係)
- ・企業がどのような取り組みをされているのか、取り組みができるのか理解できた。
- ・全く持ち場のちがう方々の意見がきけた。
- ・企業の方の話を直に聞いた。本音。

【ふつう】

- ・いろいろな話が聞けて良かったです。企業の取り組みの一端を知りました。

○気付き、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 7 名  |
| あった     | 8 名  |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 15 名 |



【とてもあった】

- ・2018 年の自分の行動目標を SDG s の 17 の目標にあわせてつくってみようと思った。
- ・社内での活動の復習になった。

【あった】

- ・まずは自分ができるところからはじめようと思います。
- ・じっくりと大きなショックは、大事なことだと感じた。
- ・中部が先行してがんばってほしい。
- ・若い世代の想いをいただいた。
- ・業種、規模と SDGs は関係ないことを確認した。
- ・やっぱり一人ひとりの意識を育てることが大事ですね。教育関係者なのでそう思うのかも。

## ②北陸地域（添付資料）

### OECD 研究会「ESD を取り入れた授業づくり～新学習指導要領を踏まえて」

日時：平成 30 年 1 月 5 日(金) 14:00～16:30

場所：富山市立堀川小学校

参加者：52 名（教員 47 名 他 5 名）

協力：日本生活科・総合的学習教育学会富山支部、富山 ESD 講座

後援：富山市教育委員会、北陸 ESD 推進コンソーシアム

＜主な内容＞

- ・授業研究「小学校の授業を教材にして」

ゲスト：田中 哲也先生（金沢市立兼六小学校）

意見交換

ゲスト：尾島 良幸先生（舟橋村立舟橋小学校）

意見交換

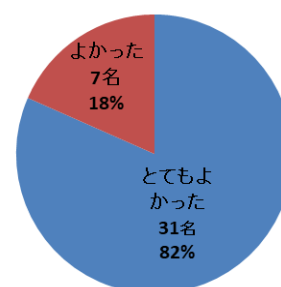
- ・講義「新学習指導要領と ESD」

講師：松本 謙一先生（金沢大学人間社会研究域学校教育系教職実践研究科教授）

＜アンケート＞ 一部抜粋

○参加されていたいかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 31 名 |
| よかった      | 7 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 38 名 |



【とてもよかった】

- ・色々な実践と、他の学校の先生方からたくさん学ばせていただきました。
- ・教員を対象としたプログラムとしてはタイプの違う事例発表が準備されていてよかった。
- ・人生を豊かに歩むための学習、楽しく学ぶことが本当の学びとして生きてくるのだと感じた。
- ・実践をたくさん知ることができた。それについてグループで討議できた。
- ・初めて ESD の授業実践の話聞いた。とても勉強になりました。
- ・先生方のすてきな授業をきけてよかった。
- ・具体的な実践を生声でできたので。
- ・実践をもとに、授業づくりについて議論できたから。
- ・実践をもとに、これからの単元や子どもへの支援を考えることができました。
- ・実践も具体的に分かりやすく、その後のグループ討議もとてもよかった。松本先生のお話もとてもよかった。
- ・実践をもとに様々な先生方と話すことができた。

- ・素晴らしい実践を聞き、学ぶことができた。
- ・お二人の先生の実践から、自分の授業づくり、単元構想について見直すきっかけになりました。
- ・二人の実践に修正を加えながら取り組んだすばらしい姿を学ぶことができて、ありがたかった。
- ・他校の先生方と交流できたこと。
- ・二人の実践から今後の学校の実践につなげていきたい。
- ・事例をふまえて、討議をするのは分かりやすかった。
- ・実際の授業を踏まえ、話が聞けて良かった。
- ・ESD について考える機会になってよかったです。自分でもしっかり勉強していきたいと思います。
- ・子どもの姿で語り合うことができ、他の先生方の考え方が分かったことがよかった。
- ・自分がまだまだ理解していない面もあり、勉強になった。

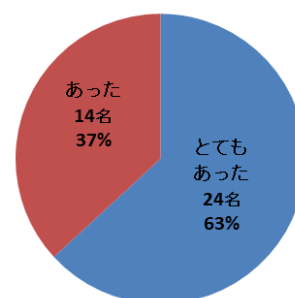
#### 【よかった】

- ・事例発表があったことが分かりやすかった。具体的な内容をグループの皆さんと話し合えたことがとてもよかった。

#### <アンケート> 一部抜粋

○ESD 研究会での気付き、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 24 名 |
| あった     | 14 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 38 名 |



#### 【とてもあった】

- ・学ぶことは本来楽しいことであると改めて気付かせてもらった。
- ・ESD と新学習指導要領はつながっていることを学び、もっと ESD について勉強しなくてはならないと思った。
- ・「子どもの笑顔が 1 番」という自分の考えの後押しをしてもらえたようで、よかったです。
- ・子どもがわくわくする授業が、ESD につながると改めて気付いた。
- ・子どもを信じることの大切さを改めて胸にきざみました。
- ・今まであまり分からなかったが、よく分かった。
- ・尾島先生のご実践、とても素晴らしかったです。しかし、こんなスーパーな先生がどこにでもいらっしゃるわけではないので、みんなが学校でできるように、どのようにしていけばよいか深く考えるきっかけとなった。
- ・ESD とのつながりが分かってきた。
- ・先生方が頑張っていることを実感できたこと。
- ・他の学校の実践は参考になった。
- ・子どもを主体にする意識。
- ・ESD について、考えられたことが良かったです。この考え方を大切にして、今後の教育（総合など）をしていきたいと思います。この場に参加出来た事が良かったです。
- ・資質・能力に振り回されないように、意識しながらも子どもを大切にしていきたい。
- ・自分の授業に取り入れられるものは、取り入れていきたい。

#### 【あった】

- ・今後に生かしたいことがたくさんありました。
- ・総合的な学習の実践のむずかしさ。
- ・子ども達のやりたい、やってみたいという気持ちが大切だと改めて思いました。
- ・自分もこれから ESD について勉強を進めていきたいです。
- ・先生方の授業づくりの在り方について。
- ・子ども達の主体的な学びを支える教師の姿、在り方について学びました。
- ・能力を育てるのではなく、人間（生きる力）を育てる。
- ・先生方が元気になった。
- ・尾島先生の問いかけ「～さんの考え、分かったかい」を真似しようと思いました。

## ●ESD 研究会「SDGs と企業」

日時：平成 29 年 12 月 20 日(水) 9:30～12:30

場所：金沢勤労者プラザ 405 研修室

参加者：25 名

<主な内容>

### ・講義「SDGs と企業」

講師：戸成 司朗氏（住友理工株式会社 CSR 部長）

平本 督太郎氏（金沢工業大学経営情報学科 講師）

### ・事例紹介「企業が取り組む SDGs」

ゲスト：村田 康博氏（YKK 株式会社 環境・安全部部長）

清川 卓二氏（清川メッキ工業株式会社 専務取締役）

### ・セッション「SDGs が企業の羅針盤となるために」

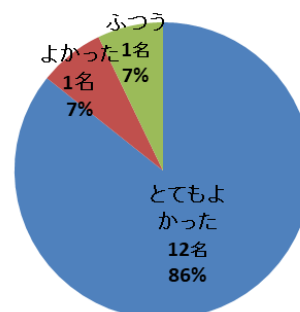
アドバイザー：戸成 司朗氏（住友理工株式会社 CSR 部長）

平本 督太郎氏（金沢工業大学経営情報学科 講師）

<アンケート> 一部抜粋

○参加されていかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 12 名 |
| よかった      | 1 名  |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 14 名 |



【とてもよかった】

- ・SDGs に対する企業の関心、インセンティブなどが感じられたこと。SDGs の有用性を実感できた。
- ・目的、狙いがとても分かりやすい。セッションの時間がとても有意義。主体的に参画できた。
- ・当社が抱えている課題の解決や経営方針に沿った取り組みを行うための糸口になりそう。具体的な方法が分かってよかった。
- ・SDGs や CSR を学ぶよい機会になった。今後の活動が参考になる事例や人との出会いになった。
- ・NPO センターとしては、企業視点で SDGs を整理できた。
- ・北陸に SDGs に関心の多い企業が多いことを知って、新たなつながりができた。
- ・SDGs と企業の関わり方を整理できた。
- ・清川メッキ工業、YKK、コマニー、JC と地域の多くの企業が SDGs に取り組んでいることを知れたこと。

【よかった】

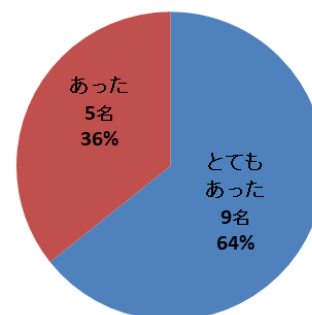
- ・SDGs に興味を持てたこと。帰ってから何を調べたいか。

【ふつう】

- ・内容と時間。以前よりは改善された。

○気付き、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 9 名  |
| あった     | 5 名  |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 14 名 |



【とてもあった】

- ・仲間を増やすための会合の進め方（目的、まとめ、対話、時間管理）
- ・事業とのつながり。

- ・共通言語！→ ディスカッションの引き出し。
- ・環境への取り組みは以前からやって効果のあるものが多い。その延長で目標を設定できるし、一段階二段階上の目標も実現可能性を示せるのでは。
- ・レポートで提出しました。

【あった】

- ・共通言語としての SDGs の役割。
- ・SDGs をテーマにした異業種交流会も開いてほしい。

### ③長野地域（添付資料）

#### ●ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」

日時：平成 29 年 10 月 28 日(土) 14:00～17:00

場所：信州大学教育学部 講義棟 N101 教室

参加者：26 名（長野県内の学校関係者、行政職員、NPO 等）

共催：信州 ESD コンソーシアム

＜主な内容＞

#### ・講義「新学習指導要領と ESD 授業」

講師：渋谷 一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官/併任：国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部教育課程調査官）

意見交換

#### ・授業紹介「山ノ内町立西小学校での ESD 授業」

ゲスト：須山 千才氏（山ノ内町立西小学校 教頭）

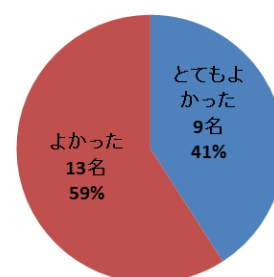
・意見交換

#### ・グループセッション「今後授業づくりに大切なこと」

＜アンケート＞ 一部抜粋

○参加されていたかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 9 名  |
| よかった      | 13 名 |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 22 名 |



【とてもよかった】

- ・渡辺先生にお誘いいただいて良かったです。
- ・いくつか話を聞いてきた中で、今日は学習指導要領について、しっかり話を聞いた。
- ・いろいろな視点で考えることができ、有意義でした。また、いろいろな立場の方の話をきくことができ、いろいろ考えさせられました。
- ・それぞれの立場で本音をおききすることができました。
- ・様々な立場の方と交流できるのはありがたい。
- ・学習指導要領と ESD の関連がよくわかった。

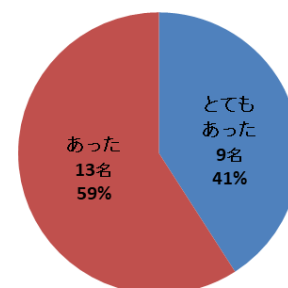
【よかった】

- ・具体的実践例が示され、参考になった。
- ・今まで読んだことがなかったので、新しい知識が吸収できました。特に持続可能な社会の位置づけが明示されていて安心した。
- ・今までばくげんと新学習指導要領は ESD の理念そのものだと思っていましたが、今日それは確信になりました。
- ・全てが初めてでとても興味深かったです。
- ・ESD をとらえるにあたって、いろいろな視点にふれる事ができました。
- ・熱意のある方と話せて良かったです。

・色んな立場の人の意見が聞けた。自分がやろうとしていることの相手側の考えを知ることができた。

○気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 9 名  |
| あった     | 13 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 22 名 |



【とてもあった】

- ・やっぱり学校の先生は忙しいと思いました。
- ・学習指導要領を改めて学ぶことができた。
- ・ESD にかかわる市民団体やとりくみをされている方が多くいらっしゃることを知ることができました。こういった方々の力をいかに学校教育に取り入れるかがポイントだと思いました。
- ・新たな課題が見つかりました。
- ・大事なことは意識と理念。ESD の視点を通してより充実した学習にしたいと思いました。
- ・話し合いがとても有意義でした。
- ・やりたいという気持ちやゴールを明確にして共有することで人を動かせるということを改めて感じた。

【あった】

- ・県教委の方の意見が聞けて良かった。
- ・関連性を意識することがキーワードか。
- ・自分が自然の現場で伝えたい事が、学習指導要領に通じているという事実を感じました。
- ・ESD について、更に考えるきっかけの会になりました。
- ・お互いのニーズを一致、話すことが必要なことを知れた。

## <成果>

東海と北陸で同じ企画を 2 本、長野では教育関連の企画を 1 本実施した。

東海、長野での「新学習指導要領」をテーマにした研究会は、各県、市町村の教育委員会の巻き込み、教員の参加をねらいとして実施した。十分とは言えないが、多くの教員の参加を得て、また学習指導要領に初めて目を通する地域の NPO 等の ESD 実践者と教員が同じテーマで学び、意見を交わす時を持つことができたことは、参加者に多くの気づきと次の展開へのヒントを提供できた。教員は地域の資源を知り、地域の人たちは学校の仕組みを知り、お互いを知り合うことで、新たな授業づくりの可能性を広げた。そのつなぎ役となったのは、「新学習指導要領」である。北陸に関しては、富山を中心にほぼ教員の参加となり、教員間での ESD 授業づくりを学びあう時間をもつことができた。普段他の教員の授業づくりのプロセスや成果を共有する時間や場がない教員にとって貴重な機会となったようである。

東海、北陸における「企業と SDGs」をテーマにした研究会は、すでに SDGs に取り組んでいる企業と、SDGs を打ち出していないものの本業ならびに CSR 活動にそのエッセンスを組み入れている企業を招いての学びあいの場をつくった。SDGs の目標に紐づけるだけではなく、企業の経営理念から持続可能な社会をつくるための本業のありかたを見直すことの重要性を再認識する内容となった。参加した企業、他 NPO、大学関係者との意見交換では、そういった企業を支える仕組み、提案するしくみ、大企業も中小企業も取り組むことが出来るスキーム作りなどについて交わした。

ESD を推進する人材の育成という観点からは、「新学習指導要領」と「SDGs」を活用し、「学校教育を知る地域の人材」「地域の資源を知る教育者」「SDGs に取り組む企業人材」「SDGs に取り組む企業を増やす地域人材、支える地域人材」の育成という新たな側面でねらいを達成した。



### <課題>

・今回実施した研究会の成果をいかに社会に伝え、社会の変容のために活かせる素材へと活用していくかである。今年度は、地域のニーズ・シーズを把握するという観点からも、この2つを題材に実施した。3年間同じ内容で積み重ねる方法、また今年の成果に新しい題材を加えてして実施する方法もある。今年度の成果をいかに活かしていくかが重要課題である。

・地域間交流という側面も必要だと考える。交流会やフォーラムでの交流もあるが、東海・北陸・長野の教員が参集する研究会の実施の検討も可能である。学校の管理職、教育委員会、若手教員等を対象に設定しての実施も検討できる。企業についても、大企業、中小企業、業種ごとなど多様に考えられる。どう活かしていくか、いかに今年度の成果を積み重ねていくかの議論が早急に必要である。併せて、回数や実施時期、参加者人数なども検討したい。

### <業務実施状況>

| 項 目                            | 実施状況 |
|--------------------------------|------|
| 参加者の満足度（アンケート参照）               | ○    |
| 研究会の成果、人材育成をすることができたか（アンケート参照） | ○    |



#### **(6) 全国センター等との連携**

- ・地域 ESD 拠点の登録に関する業務や地域 ESD 拠点に対するアンケートの実施等、全国センターが実施する業務に関して、上記業務に支障の無い範囲において必要な支援や情報提供等を行った。
- ・業務の実施に当たっては、全国センター及び各地方の ESD 活動支援センター間で積極的に情報交換を図り、情報の共有をした。
- ・中部環境パートナーシップオフィスが実施する ESD 推進に関する各種業務との連携について、主に以下の業務と連携し、個人情報の取扱いに十分配慮した上で、相互参照を図った。
  - 揖斐川流域環境学習拠点等連携事業
  - 高校生の環境・ESD 活動拠点ネットワーク形成事業
  - 環境再生保全機構「全国ユース環境活動コンテスト」

#### **(7) 中部地方環境事務所との連携**

- ・事務所担当官と月 1 回以上、打合せ会議を行い、業務の進捗及び方向性等について検討・協議を行った。毎月、定例会議を 1 回行い、事業進捗状況の確認、抱えている案件、事業がより円滑に実施するための協議を行い、議事録を作成した。
- ・業務について、別途示す様式を参考に記録を行い、毎月取りまとめて事務所担当官に提出した（参考資料 1）。

#### **(8) 報告書の作成**

業務の実施内容及びその成果について取りまとめ、報告書を作成した。



### 3. 業務の成果と課題

今年度の業務は主に以下の 5 つの柱にそって遂行した。

＜今年度の主な業務＞

- ①地域と連携した地域 ESD 拠点の形成支援
  - ②ESD 活動に関する情報の収集と発信
  - ③ESD を推進する人材育成業務
  - ④ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催
  - ⑤企画運営会議
- 全国センター開催業務等との連携  
地域で実践されている ESD 取組支援

これまで記述してきたとおり、実施した業務内容については、参加者アンケート内容等から、高い評価を受けることができています。一方で、地域 ESD 拠点の登録状況は満足できる登録数とは言えず、一層の登録推進のための方策を検討する必要があります。

2 つの題材に絞り実施した研究会においては、教員、企業人材を主な対象にしつつも、地域で実践者との意見交換の中でさらに学びあうことができた。

交流会は、教員と環境部局というコラボレーションを可能にした。

地域フォーラムにおいては、さらに「次世代」を重ね、多様な人材、組織が持ち寄り、持ち帰る場をつくることができた。

情報については、実施した企画に関してはすぐにレポートし、地域の ESD 関連事業にはできるだけ取材に行き、レポートを作成し、Web で発信し、地域の ESD 情報の蓄積と広く周知を図った。全国や他地方のセンターとも密に情報交換をした。

地域 ESD 拠点は 5 拠点、相談業務は 46 件であり、地方センターとして担うべき業務の余地は多々あると考えられる。

「ESD 推進ネットワーク」が形として見えている状況には至っておらず、センターについても、今年度はこの地域に中部地方 ESD 活動支援センターがあるということを周知し、まずは知ってもらうことに注力したが、地域における存在感・プレゼンスの一層の向上が必要である。

中期的なゴールが必ずしも明確に示されない状況の中、「ESD 推進ネットワークをつくる」という大目標のもと、創意工夫を重ね業務を担ってきたが、今年度実施してきたことや成果を積み重ね、いくつものシナリオをつくり、地域拠点、企画運営会議委員、全国・他地方センターと協議を重ね、改善をしながら、進むべき、担うべき業務を明確にすることが急務である。

#### 4. 全体総括

9ヶ月間、センターを運営・展開し、地域がセンターに何を求めているかがさらに具体的に見えてきた。

例えば、

- ・具体的に ESD(授業)に取り組む工夫と手法を知りたい
- ・多様な ESD に取り組んでいる人、事例を知り、今の取り組みを改善、ブラッシュアップしたい
- ・今ないものを作り出したい、今できていないこと、できないことを可能にしたい

といった意見・要望が多い。

名古屋に1ヶ所あるセンターだけではこれらのニーズに十分に対応することが出来ないため、いかに地域 ESD 拠点と連携し、新たな方策、新たなスキームをつくっていくか、の検討を要する。

地域 ESD 拠点に登録することのメリット、ESD 推進ネットワークに連なることでどのような変化や効果を生み出せるかを示すことが求められている一方で、地域が地域 ESD 拠点をどう活用できるのか、ESD 推進ネットワークをどう地域で活用できるのかについてももっと深く議論する必要がある。

また、地域 ESD 拠点に登録をしていなくても、ESD 取組、SDGs 達成に向けての取組をしている主体、新学習指導要領に基づき授業づくりをしようとしている学校といかにつながるか、も重要となる。

こういった「つながり」をつくるために、センターは何をするべきか、いかにセンターを活用できる機能にするかについて明確にしていくことが重要である。ネットワーク形成が目的ではなく、いかに使えるネットワークに育てていくかという視点で議論を積み重ねる必要がある。

まずは、地域に出て、説明をし、調査をし、地域のニーズやシーズを把握しながらセンターの認知度を高めることが求められる。次に、センターが存在することでの変化や利活用を高め、変容の可視化、社会化をする。このプロセスなしに、ESD 推進ネットワークは機能しないと考える。

既に今年度の事業を通じて、以下のような成果も見られている。

- ・来年度の文科省の事業を申請するにあたり、「地方センターとの連携を望む」という文言が入ったことにより、いくつかの申請希望団体（大学など）から相談があった。
- ・地域 ESD 拠点登録への関心、資料要望数も増えてきた。
- ・学校教育と地域が連携することの必要性に気づいた教員から、連携方法を学びたいという声も多くなってきている。
- ・学校での取組をもっと知りたいという地域の実践者も増えている。
- ・SDGs に関心のある企業を少しずつ掘り起こし、取組の紹介をすることで、他企業の関心や積極的取組を促した。情報がほしいという企業が増えている。
- ・多様な主体が「ESD」「SDGs」をキーワードに交流することでの可能性を参加者と共有し次に進もうとしている。

次年度、今年度生み出した変化や効果を踏まえ、より効果的な事業展開が望まれる。「教育委員会や学校管理職を対象にした事業」「多様な分野に取り組む ESD 授業づくり交流会」「SDGs 達成のための企業と地域の学習会」「多様な部局と連携した自治体の学習会」など。そして、それらの取組の成果を可視化し、環境分野のみならず他分野の参加、国際協力、人権、子ども育成、ジェンダーなどの関連団体の関係性の強化などを鑑みたフォーラムの実施が求められている。

今後、取り組むべきことは多く、平成 30 年度どのような戦略をたてて、どのような主体といかにつながるか、中部のポテンシャルを活かしつつ、組み立てていくことが求められている。

**<添付資料> 平成 29 年度中部地方 ESD 活動支援センター運営等業務活動報告**

**地域と連携した地域 ESD 拠点の形成支援事業**

- ESD 交流会 in 東海～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～
- ESD 交流会 in 北陸・長野～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～

**ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催**

- ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 2017「すべてをつなぎ、SDGs 達成、持続可能な地域をつくる」

**ESD を推進する人材育成支援事業**

**【東海地域】**

- 第 1 回 ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」
- 第 2 回 ESD 研究会「SDGs と企業」

**【北陸地域】**

- 第 1 回 ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」
- 第 2 回 ESD 研究会「SDGs と企業」

**【長野地域】**

- ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」

## 地域と連携した ESD 拠点の形成支援業務

### ■ESD 交流会 in 東海 ～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～

日 時：平成 30 年 1 月 19 日（金）14：00～17：00

場 所：名古屋国際センター第 1 会議室

参加者：44 名

本企画は今年度行った第 1 回センター企画運営会議の際の委員からの提案「環境省と文科省が設置したセンターなのだから…」で実現しました。

その意図をできるだけ具体化したいと実施した情報を中心とした「交流会」です。その情報とは「文科省の新学習指導要領」と「中部 7 県の環境学習施策」です。

前半に、文部科学省調査官渋谷一典先生による講演「学校教育における ESD 実践～新学習指導要領を踏まえて」の講義、後半に、中部 7 県と 1 市（富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）の環境教育施策を各担当者が紹介をし、各県の「教育」「環境教育/学習」の現状の把握、今後、来年順次試行される新学習指導要領を踏まえて、より「教育」「環境教育/学習」「ESD」が連携実施されるかについて、参加者間でのセッションを行いました。

渋谷先生からは、「新学習指導要領」が重要としているポイントについて説明をいただきました。今回の参加者は、学校への出前講座を実施している方が多かったものの、教員以外の方、新学習指導要領に初めて触れる方も多く、皆さんとても新鮮な面持ちで、真剣に話を聞かれていました。「社会に開かれた学び」が重視される中、地域社会と学校との連携は必須であり、子ども達に具体的な地域課題を教材として授業を実践するためには、地域との連携が必須であること、また、その際には学校の仕組みや学習指導要領の内容を把握すること、教員がどのように授業計画をたて、どのような力を子どもに育みたいかを十分に理解し合いながら、協働で授業づくりをすることなど、参加者と共有しました。

次に、各県の環境学習施策の紹介です。環境省では、平成 29 年度環境教育担当者会議を開催し、その際に全国都道府県等の環境教育施策の調査を行っています。その調査データをもとに、各県がいくつかの環境教育施策を展開していますが、その中でも特色のある施策の紹介をいただきました。富山県と石川県は急きょ欠席になってしまいましたが、事前にいただいたパワーポイント、資料などで紹介。他 5 県 1 市の担当者から、セッション 1「学校と連携した環境学習」、セッション 2「包括的、多様な主体と連携した環境学習施策」をテーマに、施策の紹介していただきました。

その後は、多くの情報を得た参加者によるグループディスカッション。「2030 年に向けて、学校と行政部局はどのように連携し、どのような環境学習/ESD に取り組むことが重要か。そのために何が必要か」をテーマに、今日の気づきを共有しました。

国の教育政策、各地の環境教育施策、参加者の実践など情報が行き交い、刺激を受け、一人ひとりが今後何を担うか、誰とどう担うか、を考える時間となりました。

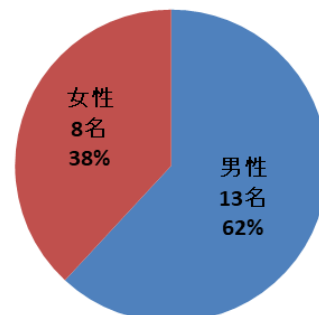
## ESD 交流会 in 東海 参加者アンケート集計結果

回収数：21 名／全参加者 36 名中

### 1. 参加者属性

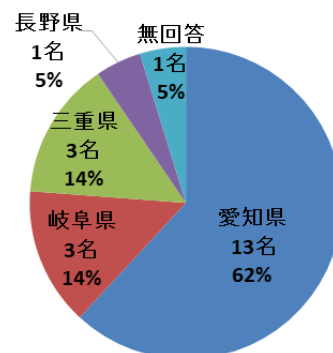
#### (1) 性別

|     |      |
|-----|------|
| 男性  | 13 名 |
| 女性  | 8 名  |
| 無回答 | 0 名  |
| 計   | 21 名 |



#### (2) 住所

|     |      |
|-----|------|
| 愛知県 | 13 名 |
| 岐阜県 | 3 名  |
| 三重県 | 3 名  |
| 長野県 | 1 名  |
| 無回答 | 1 名  |
| 計   | 21 名 |



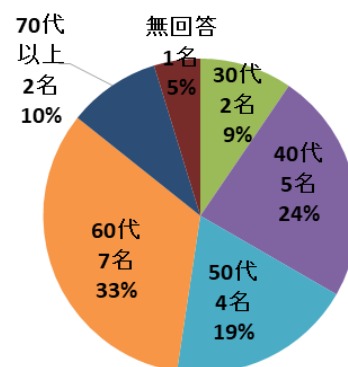
・愛知県名古屋 7 名/日進市 2 名/一宮市・北名古屋・長久手市 各 1 名

・岐阜県岐阜市 2 名/不破郡 1 名

・三重県伊勢市・鳥羽市・四日市市 各 1 名

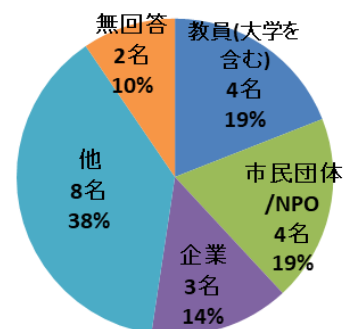
#### (3) 年代

|        |      |
|--------|------|
| 20 代   | 0 名  |
| 30 代   | 2 名  |
| 40 代   | 5 名  |
| 50 代   | 4 名  |
| 60 代   | 7 名  |
| 70 代以上 | 2 名  |
| 無回答    | 1 名  |
| 計      | 21 名 |



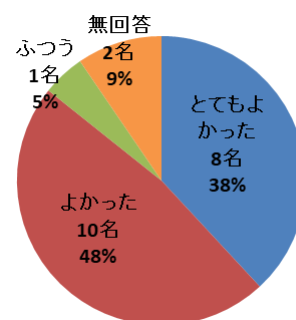
#### (4) 所属

|           |      |
|-----------|------|
| 教員(大学を含む) | 4 名  |
| 学生(大学生)   | 0 名  |
| 市民団体/NPO  | 4 名  |
| 企業        | 3 名  |
| 他         | 8 名  |
| 無回答       | 2 名  |
| 計         | 21 名 |



## 2. ESD 交流会 in 東海～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～に参加されていたいかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 8 名  |
| よかった      | 10 名 |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 2 名  |
| 計         | 21 名 |



### 【とてもよかった】

- 色々な人がいるが、共通の目標をもって取り組んでいることがわかった。
- 司会がキレキレだった。
- 渋谷先生のお話から刺激をもらった。
- 色々な意見を聞けて良かった。
- 総合学習の話が詳しくてよかった。

### 【よかった】

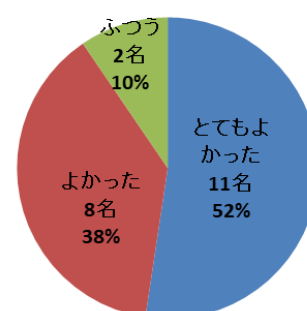
- 色々な県市の情報を得ることができた。
- 自分がやらなくてはいけないことが見えてきた。
- 行政や現場で行われていることを知ることができた。
- 全体として盛り沢山で時間が足りず、せっかく多様な人が来ているのに、その考えや取り組みを知りたかった。グループを途中でかえての交流もあったらよかったと思う。

### 【ふつう】

- いかに書いてきたことを統合すると、こういうことです。次は都合で出られないので残念ですが、何度も顔を合わせていくというのも大事だと思います。

## 3. 講演「学校教育における ESD 実践～新学習指導要領改訂を踏まえて」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 11 名 |
| よかった      | 8 名  |
| ふつう       | 2 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 21 名 |



### 【とてもよかった】

- 復習できた。
- 学習指導要領を多角的に見ることができた。
- これからの教育の方向性をみること、考えることができた。
- 環境教育を含む深い学びが教科の成績につながるということを聞いて、環境教育を進める理由づけができることを知れたため。
- 新学習指導要領改訂点が理解できた。

### 【よかった】

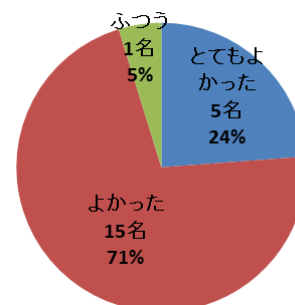
- 学習指導要領をよんでみたいと思いました。
- 実効性がより伴うよう進めていってくださるよう祈念します。私たちも四日市市と話し合いが進んでいます。
- 新学習指導要領の背景、期待されていることを知ることができた。

### 【ふつう】

- 時間がないこともあるが、もう少し言葉にして語ってほしかった。分かっている人を前提にした話をしたら、こうなるのかと思った。具体的な話をもう少ししてほしかった。

#### 4. セッション「中部 7 県の環境学習/ESD 施策の現状と今後の展開・可能性」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 5 名  |
| よかった      | 15 名 |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 21 名 |



##### 【とてもよかった】

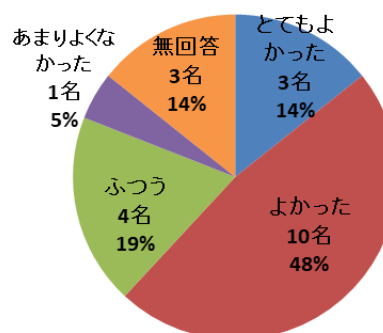
- 自治体の取り組みがよく分かった。知らないことが多いということが分かった。中部全体の雰囲気をつかめた。

##### 【よかった】

- 情報としては良かった。もう少し具体的な話がききたかった。
- それぞれの施策を知れた。
- それぞれの県の取り組みが分かり、安心した。すてたものではないと思った。
- 色々な施策を知ることができてよかった。
- もう少し質疑の時間がほしかった。
- HP で再掲お願いします。
- 情報を沢山いただいたということで良かった。様々な取り組みは分かったが、そこでやっている人が、どのような気持ちや思いをもっているのかも聞いてみたかった。
- 地域特性があり、それぞれよく理解できました。
- 色々な県の取り組みが分かってよかった。

#### 5. フロアセッション（意見交換）はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 3 名  |
| よかった      | 10 名 |
| ふつう       | 4 名  |
| あまりよくなかった | 1 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 3 名  |
| 計         | 21 名 |



##### 【とてもよかった】

- 仲間だから。
- たまたま渋谷先生に入っていていただき、フロアのグループメンバーの問いをともに考えることができた。

##### 【よかった】

- 他県との話をきくことができてよかった。
- もう少し時間がほしかったが、色々な人と交流できてよかった。
- もう少し時間がほしかった。
- 自己紹介は A4 1 枚に先に配布は？
- 情報交換はできましたが、このきっかけをどう育てていくかが私たちの課題です。「連絡をとり合いましょう」と次の一步がつくれる程には接点を見つけれませんでした。グループのメンバーは素直に話すことができたように思います。
- 色々な立場の人を知る機会になりました。

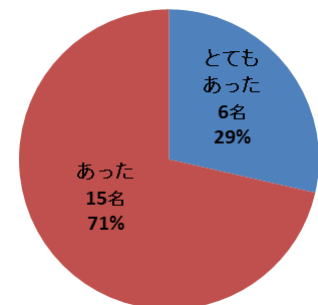


【ふつう】

- 何を話したらよいか分からず。ファンリテーションはむずかしい、でも楽しく過ごせました。

6. ESD 交流会での気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 6 名  |
| あった     | 15 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 21 名 |



【とてもあった】

- 主体性の育成は生徒会活動でできると気付いた。
- あらためて自分のこれまでやってきたことを再検討するきっかけとなった。
- ESD の課題が様々に分かったこと。

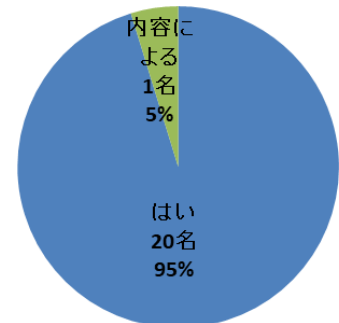
【あった】

- ESD カレンダーの意義について知ることができた。
- 関わり、連携が大切であること。
- 子どもの気づきの大切さが分かった。
- 関心のある人は多くいて、そのきっかけを見つけようと努力している人もいるということは、私にとって刺激になりました。「自ら動く」は大切ですね。
- 色んな機関を知りました。

7. 今後の ESD 交流会について

①今後 ESD 交流会に参加されたいですか。

|       |      |
|-------|------|
| はい    | 20 名 |
| いいえ   | 0 名  |
| 内容による | 1 名  |
| 無回答   | 0 名  |
| 計     | 21 名 |



②取り上げてほしいテーマがありましたらお書きください。

- 学校教育をもっと掘り下げてほしい。
- 具体的な学びの場をどのように実践されているのかを知るセッション。
- 実例を多く聞きたい。
- 企業と ESD。
- コミュニティスクールと連携を ESD、SDGs。
- 互いに自分が何を感じ、思い、助けがほしいか。具体的に内容だけでなく共有する時間。

8. 学校教育と県の環境政策を重ねた今回のような議論の場は必要だと思いますか。ご意見等ございましたらお聞かせください。

- 必要！
- とても多く必要と思う。
- 連携を進めていくために、ぜひ必要。
- 必要だと思います。ただ、内容のことだけでなく、上記に書いたようなことを話したいです。人の熱さにふれると、動く人は多いと思います。

## ■ESD 交流会 in 北陸・長野 ～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～

日 時：平成 30 年 2 月 23 日（金）14：00～17：00

場 所：金沢勤労者プラザ 101 研修室

参加者：49 名

第 2 回目となる ESD 交流会は金沢を会場に行われました。

今回も環境省と文科省が設置したセンターならではの特色を生かし、「文科省の新学習指導要領」と「中部 7 県の環境学習施策」の 2 つのテーマを掛け合わせ、参加者も教員、行政、NPO など地域の方がそれぞれ 3 分の 1 ずつ。まさに、教育×環境部局×地域のコラボレーションとなりました。

まずは、文部科学省調査官渋谷一典先生による講演「学校教育における ESD 実践～新学習指導要領を踏まえて」の講義、後半に、中部 7 県と 1 市（富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、名古屋市）の環境教育施策を各担当者が紹介。加えて、金沢市開催ということもあり、金沢市環境政策課からもコメントもありました。

渋谷先生による「新学習指導要領」についての講演の後には、会場から質問が次々とあり、「改訂の作成プロセスはどのようなものか」に対しては、「平成 26 年 11 月に文部科学大臣が中央教育審議会に新しい学習指導要領に関する諮問を行った。それを受けて教育課程部会等が検討を重ね、答申に至った。今回の改訂においては教科等別・学校種別ごとの部会による検討の前に、教育課程企画特別部会を立ち上げ、1 年近く検討し、各教科等に改訂の方向性を共有している」という説明があり、今回の改訂は手間をかけて丁寧に検討されたことがわかりました。次の「学びって何だろうと思って教員をしてきた。学びってどんなことか」という質問に対しては、「何のために学ぶのか、ということにもつながっていく。学んだことで何ができるようになるかを目指していくことを今回の学習指導要領では位置付けられている」と渋谷先生が答えられました。

次に各県の環境学習施策を、セッション 1「学校と連携した環境学習」、セッション 2「拠点を活用した学校と連携した環境学習」、セッション 3「包括的、多様な主体と連携した環境学習施策」をテーマに、紹介をしていただきました。

各県が学校と連携する際に学校にはどのように広報をしているのか、岐阜県の環境教育推進員や福井県の環境アドバイザー制度など学校への出前講座やアドバイスをを行う人材の施策について等の質問がたくさん出ました。セミのぬけから調査に取り組んでいる長野県には、同様の取組をしている金沢市から「環境の変化の傾向などを把握できているのか」という質問があり、「現段階では把握できていない。傾向を把握するためには、長期にわたって調査をする必要があるので、今後も調査を継続していきたい。」とお互いの経験、課題を共有する場面もありました。

その後は、多くの情報を得た参加者によるグループディスカッション。自己紹介の後に、参加動機や今日の発表を聞いた感想を交えながら、今後学校や環境部局、そして地域が連携して ESD 取組を進めるために何が必要で、それぞれなにができるのか、課題などについて意見交換しました。

ディスカッションの中で気づいたこととして、参加者から次のような感想がありました。

- 熱心にかんがっていらっしゃる行政の方々に会え、とても嬉しくなりました。大学と行政のコラボもがんばりたいです。
- ニーズがあつてシーズもあるのに会える機会が……。ここをなんとかしなきゃ！！
- いろんな立場からの意見交換はすごく意義がありました。まだ自分たちにできることはあるって思いました。
- 教育の現場を知ること、これが行政の仕事の第一歩。当たり前のことに気づかされました。

- 色々な参加者との意見交換はすばらしい。ESD について構えてしまうが、何気にやっていることそのものが ESD だったのかと気づかされました。

- もっと環境教育をしたい！という学校もあるんだと分かった。情報提供のタイミングは 2～3 月がベスト

最後に渋谷先生から、「学校は教育委員会が所管しているが、行政で一番関係があるのは環境局。環境局にもいろいろなセクションがあるし、交通局など環境に関する施策をいろいろやっている部局がある。全体像を見るキーパーソンが連携調整をしていくことがとても大事になってくる」とコメントがありました。

中部地方 ESD 活動支援企画運営会議委員である金沢大学の松本謙一先生からの「何より素敵だったのはとてもたくさん質問があったこと。これからもみんなで ESD を進めていこう。このことに価値を感じる人を増やしていこう」という言葉で交流会は終了となりました。

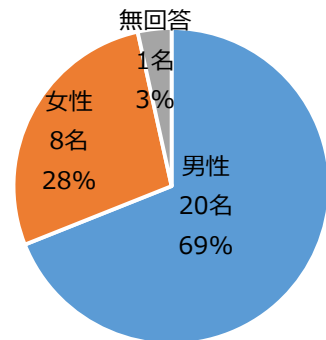
## ESD 交流会 in 北陸・長野 参加者アンケート集計結果

回収数：29 名／全参加者 45 名中

### 1. 参加者属性

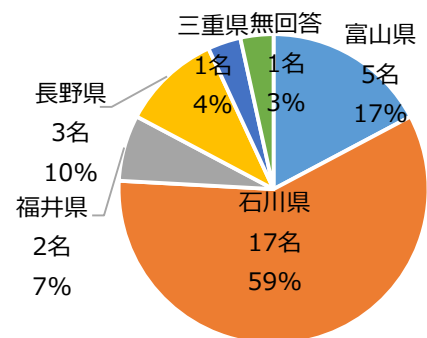
#### (1) 性別

|     |      |
|-----|------|
| 男性  | 20 名 |
| 女性  | 8 名  |
| 無回答 | 1 名  |
| 計   | 29 名 |



#### (2) 住所

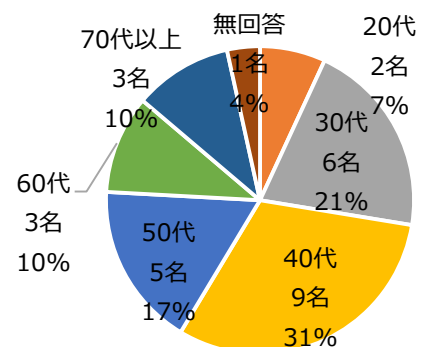
|     |      |
|-----|------|
| 富山県 | 5 名  |
| 石川県 | 17 名 |
| 福井県 | 2 名  |
| 長野県 | 3 名  |
| 三重県 | 1 名  |
| 無回答 | 1 名  |
| 計   | 29 名 |



- ・富山県富山市 2 名/高岡市 1 名/南砺市 1 名/無回答 1 名
- ・石川県金沢市 9 名/白山市 2 名/能美市 1 名/野々市市 2 名/無回答 3 名
- ・福井県勝山市 2 名
- ・長野県長野市 2 名/無回答 1 名
- ・三重県四日市市 1 名/

#### (3) 年代

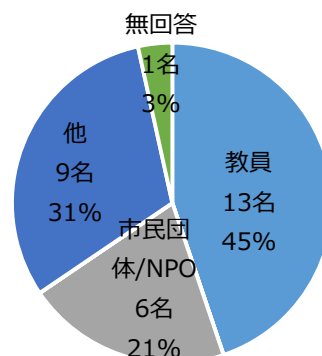
|        |      |
|--------|------|
| 20 代   | 2 名  |
| 30 代   | 6 名  |
| 40 代   | 9 名  |
| 50 代   | 5 名  |
| 60 代   | 3 名  |
| 70 代以上 | 3 名  |
| 無回答    | 1 名  |
| 計      | 21 名 |



#### (4) 所属

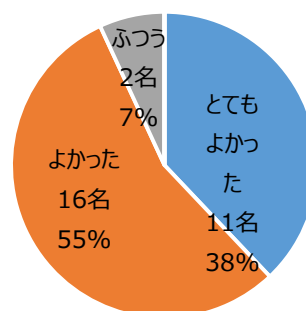
|           |      |
|-----------|------|
| 教員(大学を含む) | 13 名 |
| 学生(大学生)   | 0 名  |
| 市民団体/NPO  | 6 名  |
| 企業        | 0 名  |
| 他         | 9 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 29 名 |

・他 行政 3 名/教育委員会 1 名



## 2. ESD 交流会 in 北陸・長野～持続可能な社会形成に向けて結び、つながる～に参加されていたかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 11 名 |
| よかった      | 16 名 |
| ふつう       | 2 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 29 名 |



#### 【とてもよかった】

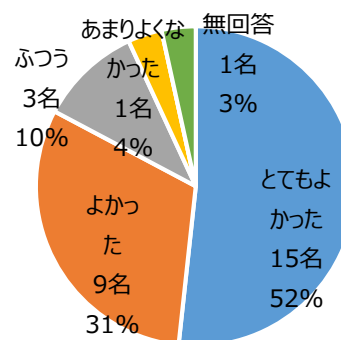
- どこかで人脈がつながるんだな、と思った。
- 様々な取組が知れ、今後のカリキュラム編集に向けて大きな力になりました。
- ESD をよりぐっと深く学べたから。
- いろんな立場の方の話が聞けたので、考えるきっかけをもらいました。
- ESD という事を知らなかった。多様な方と交流できて良かった。
- 先生がたくさん参加され、意見を聞くことができました。
- たのしかったです！いろんな方々の話を聴けて、また話し合えて。

#### 【よかった】

- 私達は出前講座等を実行する団体ですが、その進め方で大いに参考になった。
- 行政、学校現場、NPO と交流
- いろいろな分野の方、地方の方の話がきけたから。
- 渋谷さんのお話をお聞きできたこと。
- 刺激を受けた。情報や悩みを共有できた。
- 中部地方のいろいろな取り組みを聞いて楽しかったです。自分の県での取り組みも現場で盛り上げられたらと思いました。
- 学校の先生方、支援する立場の方の声がきけて良かったです。
- 様々な立場の人と話しができてよかった。
- 各県の政策、横断的に聞け、比較出来たこと。
- ボリュームは多かったが、興味のある内容があった。フロアセッション？では面白い人もいて、意外な情報もたくさん知ることができた。

### 3. 講演「学校教育における ESD 実践～新学習指導要領改訂を踏まえて」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 15 名 |
| よかった      | 9 名  |
| ふつう       | 3 名  |
| あまりよくなかった | 1 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 29 名 |



#### 【とてもよかった】

- 知識の理解の質を問う改訂ということに納得。
- 実際に改訂の担当をされている方のお話が聞いたことが新鮮でよかった。特に、渋谷さんのような方が担当者であることにある種の安心感を抱けたことがよかった。
- 今必要なことが聞けました。
- わかりやすく学ぶことができました。
- 「何ができるようになるか」⇒社会で生きる力となるような学びの重要性が改めて認識された。
- 指導要領作成に関わる先生から直接お話を聴かせていただき、勉強になりました!! 先生方には今後ますますカリキュラムを構成していく力が求められると思います。だからこそ面白みもありますね!!
- 新学習指導要領のポイントがよく理解できた。
- 知らない事を知った。
- 児童を取り巻く社会環境が大きく変わっていることからの指導要領の変せんが（プロセス）よくわかった。
- 改めて ESD の観点で新指導要領を読むことができました。
- とっても楽しく学べました。もっと聞きたかったです。
- 何が大切なことなのか、改訂にたずさわられた方の本物の話だったので。

#### 【よかった】

- 新要領のポイントを教えていただき、環境教育を進めていくに当たり、やりやすい環境になったと感じた。
- 企業よりの団体の活動の中に学習指導要領のことはまだ出てこないで、参考になった。
- 実践に直結する内容で、自分の力でできる課題を練り、子どもたちの学びが深まるようにできたらよいと思いました。教科での
- 知識を深め、活用させるよう指導したいと思いました。
- 知識の質の向上を図る。

#### 【ふつう】

- 時間が少なかったように思う。
- 行政の人間なので、学校の取組を知ることができました。

#### 【あまりよくなかった】

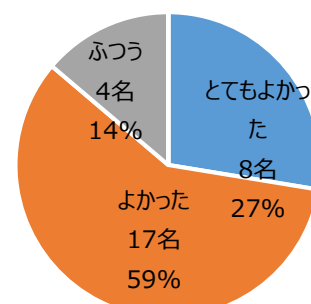
- 環境行政としては直接は結びつかない気がした。

#### 【無回答】

- 何を学ぶかではなく、何ができるようになったかとの観点が参考になった。

### 4. セッション「中部 7 県の環境学習/ESD 施策の現状と今後の展開・可能性」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 8 名  |
| よかった      | 17 名 |
| ふつう       | 4 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 29 名 |



#### 【とてもよかった】

- すごいいろんな立場からのプレゼンで面白かったです。もう少し時間があるとよかったかも・・・。
- どの県も行政として力を入れておられることが分かりました。それらがうまく学校現場と結びつくとういよなと本当に感じています。

#### 【よかった】

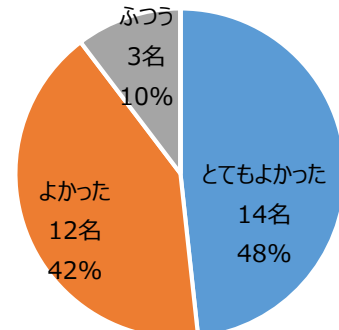
- 参考になる点が多くあった。
- ポリウムは多かったが、長野県と福井県は興味がある。
- 行政としてすべきことを今一度考える機会になった。
- 各県のことがよく分かり、地元のことにも気になった。
- 各県、特徴を生かし、工夫している。
- 多様性がわかり、それらがつながればよいな！
- いろいろな県が特色のある活動しておられるのが分かりました。学校でもまねできるような事、専門家に聞くことのよさも感じました。
- とても参考になった。
- 色々な施策を知ることができたのでよかった。
- 多様な取組が聞けたので。ただ、時間が短かったです。
- 各県の取組がよくわかった。
- 名古屋の取組はさすが！
- 各県の環境部局の方が環境学習を ESD として発展させる点で苦労している様子が見えた。
- 各県（自治体）の取組の現状が分かった。

#### 【ふつう】

- 時間が少ない。
- 教育現場ではまだまだ ESD 普及の基礎ができていないと感じた。

### 5. フロアセッション（意見交換）はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 14 名 |
| よかった      | 12 名 |
| ふつう       | 3 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 29 名 |



#### 【とてもよかった】

- 現場の先生の現状と課題について知ることができた。
- どんなことを工夫するといかがわかった。
- いろんな立場の方の話が聞けたので、考えるきっかけをもらいました。本当に楽しかったです。
- 意見交換ができた。
- 面白いメンバーがいて、情報もたくさん得られた。いろんな現場の意見も聞けた。
- すごいいろんな立場からの意見があり、おもしろかったです。
- いろいろな分野の方とお話ができてよかったです。
- いろいろな意見を聞くことができた。
- みなさんとの交流はホント楽しいです！！

#### 【よかった】

- ESD に対する距離感にバラツキあり、現状がよく理解できた。
- いろいろな意見が聞けた。
- 教育現場の実状を知ることができてよかった。
- 悪い点も含め情報共有できてよかった。
- いろいろな話ができてよかった。行政や NPO の人たちの思いを子どもたちに聞いてもらい、学びを深めたい。

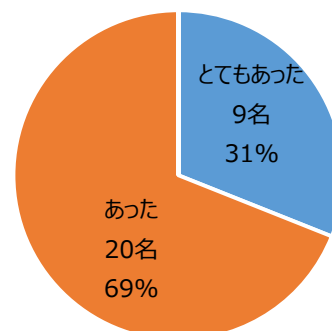
- 色々な立場で意見が出ていた。
- 行政としてするべきことを今一度考える機会になった。
- 色々な立場の意見が聞けた。

#### 【ふつつ】

- 少し時間が足りない。

### 6. ESD 交流会での気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 9 名  |
| あった     | 20 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 計       | 29 名 |



#### 【とてもあった】

- 各セクションの方々の努力や工夫を改めて知れました！
- プログラムに各県の意見、思いを聞けた。
- いろんな業種の方との交流ってすごく大切!! これからもあるとよいと思います。
- それぞれの立場の人が本気なんだと思った（参加者です）。でも、ちょっとしたすれちがいがあることも分かりました。

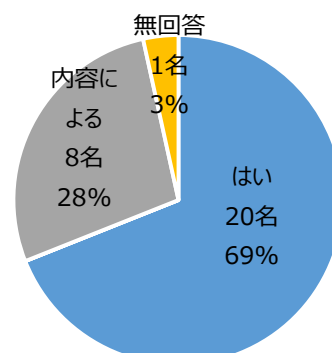
#### 【あった】

- 教育委員会の担当者に「学校は忙しいから ESD を現場におろすにはムリ」と言われるという発言があったが、もはや教育は ESD そのものになっているのにそのことを理解できていないということに問題があることに気づいた。
- 協働、連携、そして「探究」についての手法/ESD カレンダー
- 学校の状況、大変であること。
- 行政としてするべきことを今一度考える機会になった。
- それぞれの分野の ESD への前向きな姿勢を感じた。
- 未来ある子ども達のために努力。
- 行政や NPO の考え方や視点を知り、その方たちの思いや願いも子どもたちにとってよい学習材になるなと思いました。
- 子どもたちを中心に協力していかなばと思った。
- 身近な近所同士の交流に多くのヒントがあるように思う。
- タテ社会、行政に気づいた。
- 学校は環境教育をやりたい（先生によってだが）ということが聞けた。
- 現場では、教委よりも行政からの依頼が重視されている!!（というケースもあるという事）

### 7. 今後の ESD 交流会について

#### ① 今後 ESD 交流会に参加されたいですか。

|       |      |
|-------|------|
| はい    | 20 名 |
| いいえ   | 0 名  |
| 内容による | 8 名  |
| 無回答   | 1 名  |
| 計     | 29 名 |



#### ② 取り上げてほしいテーマがありましたらお書きください。

- SDG と ESD との関わり
- SDGOAL を軸にした別葉（ESD カレンダーみたいなもの）の作り方。
- もう少し持続可能な連携になるように、狭い範囲の交流会を！



- 具体的な実践（外部との関わりのあるもの等）
- 学校現場で効果的に ESD を推進するためにみなさんどんなことをされておられるのか?!もっと知りたいです。
- 結びつき。情報の見せ方、提供の方法。
- 具体的な学習プログラムの紹介。

## 8. 学校教育と県の実環境政策を重ねた今回のような議論の場は必要だと思いますか。ご意見等ございましたらお聞かせください。

- 相互理解を進めるために必要。コーディネート（連携を進める）できる人材が増えるように。
- これからの学校には必要です。ありがとうございました。
- 必要です！教委関係者を入れる必要もあります。頑張って！！
- 議論の場は必要だと思います。しかし、何度も情報を交換し、子どもたちへどんな力をつけたいか明確にした上で、しないと深まっていけないのではと思いました。
- 意見交換が必要。実情の把握。
- 必要と思うが、今の段階では両者に乖離があるので。場のもち方については工夫が必要。
- 思います。それぞれの立場にちよとしたすれちがいがあると分かりました。すれちがいをなくせたら、もっと子どものためになることができそうだと可能性を感じたので。
- 大切だと思います。ワンウェイではなく、ツーウェイであることが、より ESD を推進できると思うので！！
- 楽しく連携できたらいいなと思います。
- 互いの立場の思いを知ることとても大切。学校現場の実状（授業時数や学習内容など）と政策をうまくすり合わせたらより教育効果が高まると思う。
- 必要だと思います。学校の先生は、もっと先生以外の人々と交流、議論する必要があると思っているからです!!（ちなみに自分も教員）
- とても新鮮だった。また学校と交流したい。
- 専門家と学校のマッチングを考えてほしい。
- 情報交換は有意義だ。
- 必要だと思う。ただ、相当回数を重ねないと成果は出ないかもしれませんね。有意義でした。
- もっと学校現場の教員の参加が増えて欲しい。議論やこのような交流会に参加して知ること、考えることができる。
- 新しい発見があるのでよいと思います。
- 名古屋環境大学のような取り組みがもっと広がってほしい。

## ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催

### ■ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 2017「すべてをつなぎ、SDGs 達成、持続可能な地域をつくる」

日 時：平成 30 年 3 月 3 日(土)11:00～16:45

場 所：ウインクあいち 903・906

参加者：62 名

中部地方 ESD 活動支援センターは、今年度研究会、交流会など各地の ESD、SDGs に取組主体と出会い、学びあう場をつくってきました。本フォーラムはその結集として、地域における多様なステークホルダーが一堂に集い、地域ネットワークの形成を構築する機会として開催。研究会や交流会の成果を反映するために、テーマを「新学習指導要領と ESD 授業づくり」、「SDGs 達成のための企業の役割」、「持続可能な地域をつくる公共人材」としました。

3 つのコンテンツ、専門家によるリレートーク、各テーマの分科会、今後の ESD 推進のためのネットワークについて意見をお聞きする振り返りセッション、で構成され、「新学習指導要領」「SDGs」「公共人材」と一見個別のキーワードに捉えられますが、それぞれのつながりや包括的な視点の重要性に参加者と気づきあうことができました。

### ■リレートーク「SDGs 達成、持続可能な地域をつくるために」

#### ●学校教育で ESD を進めるために

渋谷 一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

#### ●SDGs 達成に向けた企業の役割

黒田 かをり氏（一般財団法人 CSO ネットワーク事務局長・理事）

#### ●公共人材/次世代の育みと地域づくり

伊藤 恭彦氏（名古屋市立大学理事・副学長、名古屋市立大学大学院人間文化研究科長・人文社会学部長/中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議座長）

一人 20 分という短い時間でお話いただきました。今年度中部地方に 5 回も来ていただいた文部科学省調査官渋谷一典先生から、新学習指導要領に示された「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」「社会に開かれた教育課程」「何をどのように学び、何ができるようになるか」を実施していくためには、学校だけの学びではなく地域との連携が重要であり、学校教育とどうつながるか、どうつないでいくかが、これから求められると語られました。

一般財団法人 CSO ネットワークの黒田かをりさんは、SDGs が採択されるまでの経緯や、17 目標、ロゴマークの説明を丁寧にされました。そして、「ロゴマークに目が行きがちですが、SDGs の精神『誰一人取り残さない』が最も重要であり、非常に難しいことではあるけれど、すべての目標のベースになっている」と指摘されました。その後政府の方針や企業の取組を紹介されました。

名古屋市立大学副学長の伊藤恭彦先生からは先生が考える「公共人材」について語られ、最近よく言われる「〇ファースト」という言葉を例に、社会的排除、寛容さの低下の現状と、「地域の持続可能性」「人間的豊かさ」を取り戻すための「新しいガバナンス」の必要性、そしてつくりあげる「ガバナンス人材」について話されました。それは「公共の自覚的な担い手」である、と強く提示されました。

午後からは、3 つのテーマに関する分科会。それぞれに活動を実践するゲストによる事例報告と意見交換の時間をもち、学びあいました。

## ■分科会

### ○テーマ1「学校教育でESDを進めるために」参加者 16名

＜コメンテーター＞ 渋谷 一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

＜コーディネーター＞ 大鹿 聖公氏（愛知教育大学教授）

#### ●ESD 授業紹介

＜福井＞ 勝山市立荒土小学校 校長 道関 直哉先生

＜愛知＞ 豊橋市立章南中学校 校長 山本 武志先生

授業紹介として、勝山市立荒土小学校の道関校長先生が、前任校である勝山北部中学校の「新聞を教育に取り入れた NIE 活動」を中心に話されました。子どもたちが作成した新聞記事を基に、市にまちづくりについての提言を行うなど、子どもたちが地域活性化につながる行動を起こし社会を動かした、学校の合併が先送りになったというまさに地域社会の仕組みを変えた事例です。

豊橋市立章南中学校の山本校長先生は、汐川干潟をテーマに地域の団体に協力を得ながら、地域の環境を学びながら問題を解決する力を育む授業実践について話されました。育みたい力を明確に示し、ESD カレンダーを作成して教科と総合学習をつなぎ、生徒自身が学びの評価を行うなど、中学校では授業数や各教科との連携という難しさから ESD 取組が難しいといわれる中で、工夫しながら取り組まれています。「持続可能」という視点であらゆる教育を、地域とともに見直すことが出来るようになったと話されました。

意見交換では、「教員の異動が取組の継続を妨げる。どうしたらいいのか」「地域との連携をする方法が知りたい」などいくつかの課題が挙げられました。最後に、渋谷先生から「学校としての柱を立てることが大事であり、柱を中心に実施者、協力者がつながり、みんなで連携してできることが重要です」とコメントをいただきました。

### ○テーマ2「SDGs と企業」参加者 22名

＜アドバイザー＞ 黒田 かり氏（一般財団法人 CSO ネットワーク事務局長・理事）

＜コメンテーター＞ 戸成 司朗氏（住友理工株式会社 CSR 部長）

#### ●事例紹介

＜富山＞ YKK 株式会社 村田 康博氏

＜愛知＞ 有限会社山本屋 青木 裕典氏

YKK 株式会社は北陸で開催した ESD 研究会の際にも参加いただき、その後の動きについても話されました。研究会では、「SDGs をとりわけ意識しての取組はしていないんです」と話され、その際の SDGs の説明からすでに取り組んでいたことに気づかれ、現在は会社のなかでどう展開するかを検討されています。特に、「黒部」という地域に根差し社員とともに「持続可能なまちづくり」を手掛けている取組においては、SDGs の目標達成に向けて、学ぶべきこと、汎用化できる点はいくつもありましたと話されました。

(有)山本屋は、名古屋メシである味噌煮込みうどんを提供している老舗です。半年程前に SDGs を知り、自社の事業と SDGs がどう結びついているか、社内で社員と整理しながら進めています。こだわりは「うどん」です。国内においては、地元の食材にこだわり、手打ち麺を提供している点、海外においては各地の「うどん（麺）文化」と連携した取組の展開から、SDGs 目標への貢献を検討しています。

コメンテーター、アドバイザー、そして参加者から「両社とももうすぐ創業 100 年、それだけで『持続可能な企業』である。どう未来につなげていくか、その時にどう SDGs を位置づけていくかではないか」「企業の社是など理念を SDGs に照らし合わせて社内に説明すると経営層には伝わりやすいのでは」「本業や商品を通じた SDGs の貢献、地域への貢献を考えてほしい」等の意見、アドバイスがありました。企業の方の参加が多かったのですが、行政や NPO の方の

参加もあり、「企業のもつ資源をうまく活用して地域の持続可能性を連携しながらつくりあげていく、その時には SDGs は共通のキーワード、目標になり連携しやすくなる」「お互いにうまく使いあうつながりを生み出すことで地域が変わる、SDGs のアイコンであふれる地域、お店、会社、学校にしよう」、と分科会を終えました。

### ○テーマ3 「公共人材/次世代の育みと地域づくり」 参加者 21 名

＜コメンテーター＞ 伊藤 恭彦氏（名古屋市立大学理事・副学長、名古屋市立大学大学院人間文化研究科長・人文社会学部長/中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議座長）

＜コーディネーター＞ 堺 勇人氏（富山県立大学地域協働支援室 COC コーディネーター）

#### ●活動紹介

＜愛知＞ 愛知県立佐屋高等学校

＜愛知＞ 名古屋市立名東高等学校

＜三重＞ 学校法人梅村学園三重高等学校

＜愛知＞ 中部サステナ政策塾

愛知県立佐屋高校の高校生はアヒルをつかった農法、無農薬で田んぼづくりを進めています。田んぼでつくったお米から出る米ぬかを保湿クリームにし、商品化し地域で販売している、という活動の紹介でした。

名古屋市立名東高校の高校生は、フィンランドの教育現場の視察に行った際の、ESD の視点からフィンランドの教育の体制やフィンランドの人の価値観から感じたことについての報告でした。

三重高校の高校生からは、「揖斐川の流域で学ぶ」というテーマで、今年の秋に参加した「揖斐川流域 ESD ツアー」での出会い、体験、学び、特にダムや河口堰といった人間の開発のよるメリットデメリットという視点で、今までの価値観や考えがくつがえされ、揺れ動く気づきがあったという報告でした。

また、社会人を含め次世代が「持続可能な社会における政策」を学びあう「中部サステナ政策塾」の紹介がありました。多様なゲストと意見を交わし、様々な領域で活動する人が集まって学びあい、これから必要な政策を提案している、と話されました。

意見交換の時間では、

「大人に持続可能な社会はどれくらい知られているかを質問したがあまり知られていないという回答でした。高校生に聞いても知らない人はいる。そこが課題だと思いました。次世代を担うのは僕ら若者なので、意識を変える必要がある。率先してやっていきたい。」

「高校では農業に関する活動をしている。SDGs でも環境に関する活動を主にしてきたが、分科会に参加したことで、教育や経済に関すること考えなければ実現できないことも多いと気づきました。こういう会に参加して、それを考える機会が増えるといいと思いました」

「普段は高校生同士で ESD の話をするので、今回は社会人の話を聞けて、世の中全体が ESD の価値観に変わっていけるといい、よかった。ESD は環境を保護する活動のようにみえるが、コミュニティをよくする、生きがいのようなものがあり、環境以上に得るものが多いと感じました。2 校の発表を聞いて、私達の学校ではできていない日々実践するということできていて、もっと取り入れるべきだと思いました。高校生の行動力はすごいと実感したので、行政、企業の方も私達が行動できるチャンスを与えてもらえれば、大きな行動力につながると感じました。」

と高校生からの意見がありました。参加した大人やコメンテーターは「どうしたらこのような高校生になるのか、活動のきっかけを知って、自分の活動に生かしたい」「“教育ってなんだろうか”、高校生の発言を聞いていて活動者がゆれていく、ゆれをどう新しい価値観に変わっていくか、が教育だと、高校生から学んだ」といった意見がありました。

## ■各分科会の報告と全員での共有 TIME

分科会の報告と参加者全員が小さなグループで共有、意見交換をする時間をもちました。数名の方に感想やコメントをお聞きすると、

・高校生から、ESD を実践すると子どもたちがどのように成長するかという質問があり、「考えて発表する力」「B 型学力がついていると思う」と回答した。しっかり自分の言葉で話す高校生の話を聞いて、私の回答は間違っていなかったと感じた。

・学生から学んでもアウトプットする場がないと話があった。就活にもこういう場を活かせたら会社にとっても学生にとっても、地域、産業にとってもいい効果がでるのではないかと感じた。

・SDGs については半年ほど前から少しずつ取り組んでいて、いろいろなメリットがある。何よりも SDGs をきっかけにご縁ができることがとてもいい。ご縁を生かしつつできることから SDGs を広げていながら、2030 年の達成に向けてみんなでやっていけたらいいなと感じる日だった。是非味噌煮込みうどんを食べていただいて、この味噌煮込みうどんが 8 割国産の材料を使っているのか、と感じていただけたらありがたい。SDGs のシールもお店に貼る予定です。といった発言を得ることができました。

最後に、ゲストからのメッセージと閉会の挨拶で、午前午後にわたる「ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 2017」を閉じました。

閉会のあいさつでは、中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議座長の伊藤先生が、

「最後の挨拶一人ひとり仲間を増やしながら持続可能な社会を創っていくという取り組みがしたい。なによりも世代を超えた学びを、重たい課題でも面白く楽しくやる、それが ESD の強みです。明るく楽しい企画を考えていきたい。」と話されました。サブテーマである「すべてをつなぎ、SDGs 達成、持続可能な地域をつくる」の新たな一步を参加者のみなさんと歩みことができたのではないかと実感しています。

### <ゲストからのメッセージ>

#### 渋谷 一典氏（文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官）

新学習指導要領には今までなかった前文が入り、「これからの社会に求められる人間というものは、こういう人間だ」と書いてあります。「よりよい学校教育を通じてよりよい社会をつくるという理念を、学校と社会とが共有し」、まさに今日のテーマです。今日 1 日で、3 つ勉強になった。

1 つ目は「人」。今日の高校生が「環境以上に学んだ事、生きがい」という話もあり、「もっと自分達が発信できるチャンスください」と話しました。高校生の持って生まれたものではなくて、この活動を通して育かれたものだ私達は胸を張って言いたい。この学習が新学習指導要領とつながる「世の中のパーツ、しくみがつながる」ということが実感できているからです。教科はある程度整理された状況を教科書で学びます。しかし、総合的な学習は実社会、実生活を学習の対象にするため直接社会と関わり、つながりが理解できるためますます重要になってきます。

2 つ目は、「学校が変わるということ」。福井の小学校では子どもたちが勝山市を PR するステッカーを作ったら地域の人達が店においてくれたり、販売に協力してくれ、学校の合併が予定されていた計画が 10 年先送りになったという話でした。子どもの動きにより学校、地域が変わるということ。また、章南中学校は、育てたい 7 つの能力・態度で、横断的な資質能力を学校として明確に設定した。これは、新しい学習指導要領で大事にしている、教科等を超えて育成を目指す資質能力につながっています。章南ブランドは ESD。そういったものをどこの学校でも形づくっていくためには、いくつかのポイントがあります。その 1 つが、計画であり、その計画の中には学習の対象や学習の時期をはっきりさせること、育成を目指す資質能力を明確にすること、そして、リソースの活用、外部のヒト、モノ、コト、施設など様々なも

のを活用することです。そして、各教科等で育成された資質能力を互いに関連させて、知識、理解の質を高めていくことをやっていく計画づくりが学校には欠かせません。3 つ目は、「手がかかり」。外部リソースの活用という意味で手がかかりを示されました。それは YKK 株式会社さん、有限会社山本屋さん SDGs の 17 の目標をとっかかりにして、関わっていくことができるという可能性を今日はお話しされたのではないかと。

人、学校、手がかかりといったものを生かしていくと、新学習指導要領の「社会との連携、及び協働により、その実現を図っていく」という「社会に拓かれた教育課程の実現」につながっていくと思いました。みなさんの熱意によって、これからの学校教育が支えられて変わっていく、向上していくことが欠かせないと思うので、これからも学校に主体的に関わっていただきながら総がかりで子どもを育てていくことを目指していけたらなと思っています。

#### ●黒田 かをり氏（一般財団法人 CSO ネットワーク事務局長・理事）

高校生から「環境だけでなく、社会、経済のことにつながっていくことに気づいた」という話がありました。本質を見抜いてしまう力を持っている。そういう若い人達から学ぶことはとても大切で、特に、2030 年、2040 年の話をする時に、社会の中心になっている若い人たちがこの議論に最初から参加することがものすごく重要だろうと改めて感じました。社会、経済、環境とつながっているという話でしたが、環境からサステナビリティ、環境から SD という意識はとても重要です。今日は、企業に勤めているけれど個人の立場で参加されたという方が何人かいらした。個人の部分はすごく重要です。知り合いに企業、政府、NPO、国会議員をしたという人がいますが、そのように一人の人がいろんなセクターを経験することも増えていくと思います。最後は人、自分なんだと思います。その個人が何を考えているか、どこにいて活躍しているかがすごく重要で、例えば学校でこういうことを学んだ後に、個人のレベルでセクターの垣根を乗り越えていく、そういう時代だと思いました。異文化、異業種、セクターを超えた連携、政府、自治体と NPO 等の協働、企業と NPO の協働をよく見ていくと、個人と個人のつながり、この人だから信頼できる、そこをベースにいろいろなお付き合いがあると思います。一人一人の人の部分が、すごく重要だと改めて感じました。

そしてもう 1 点。ネットワークをつくるうえで、フォーラムの中の議論をいかに外と共有していくのか、今後一番考えていくべき課題だと思いました。情報を共有することで困りごとを解決していくことができます。こうしたフォーラムの情報共有のためのウェブページをつくる、集まるだけでなく有機的につながってほしいです。

最後に、SDGs の実践はあくまでも地域がベースであることを改めて感じました。ESD があるから中部は強いと思います。ぜひ中部以外の地域にも刺激を与えてください。

#### ●伊藤 恭彦氏（名古屋市立大学理事・副学長/中部地方 ESD 活動支援センター企画運営会議座長）

第 3 分科会では非常に心地よい時間を過ごさせてもらいました。この人たちが社会を変えるまでは生きていようと思いました。高校生は、「資本主義ではもうだめなんだ」と言っていました。誰もが今のままではもたないと思っていますが、若い人は普通にそれを脱イデオロギー的に言っていて、「公共人材」と思いました。私はこのような価値観を持っているけれど他の人はどうなんだろうと、手探りをしながらつながってこうとする人を「公共人材」と呼びたい。今の若者は一人一人が自分はこのように考えている、感じていると堂々と発信しています。ESD に関与している人はお互いに学びあおうという姿勢があり、それが大事です。持続可能といったときに、働き方、自分はどう生きていくのかといったことを考えないといけません。人生をどう生きていくのかという価値観を一人一人が持ちながら、生き方をどうつむいでいくかが大切です。ESD、SDGs もそうですが、つながっていく価値観を大事に、生き方がつながっていくという協働が今日をきっかけにできていくことを期待しています。

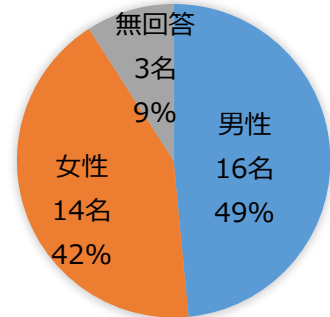
## ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 参加者アンケート集計結果

回収数：33 名／全参加者 62 名中

### 1. 参加者属性

#### (1) 性別

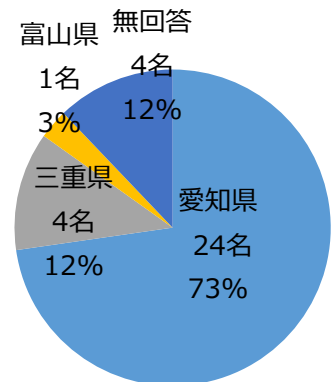
|     |      |
|-----|------|
| 男性  | 16 名 |
| 女性  | 14 名 |
| 無回答 | 3 名  |
| 計   | 33 名 |



#### (2) 住所

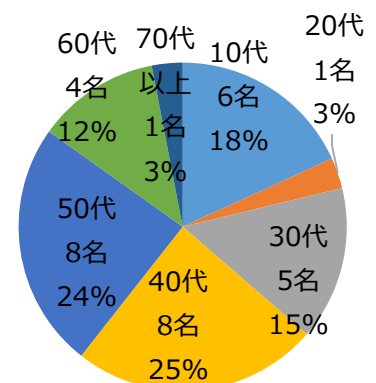
|     |      |
|-----|------|
| 愛知県 | 24 名 |
| 三重県 | 4 名  |
| 富山県 | 1 名  |
| 無回答 | 4 名  |
| 計   | 33 名 |

・愛知県名古屋 11 名/豊田市 3 名  
 大府市・あま市・半田市 各 2 名  
 刈谷市・愛西市・弥富市・日進市 各 1 名  
 ・三重県松阪市 2 名/四日市市・東員町 各 1 名  
 ・富山県富山市 1 名



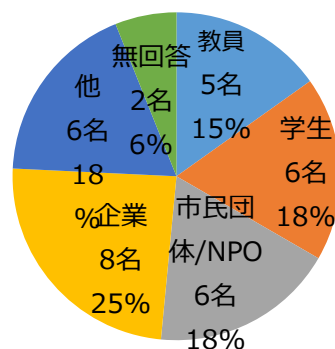
#### (3) 年代

|        |      |
|--------|------|
| 10 代   | 6 名  |
| 20 代   | 1 名  |
| 30 代   | 5 名  |
| 40 代   | 8 名  |
| 50 代   | 8 名  |
| 60 代   | 4 名  |
| 70 代以上 | 1 名  |
| 無回答    | 0 名  |
| 計      | 33 名 |



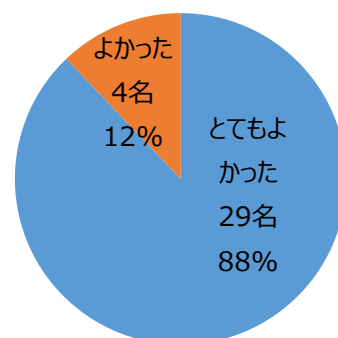
#### (4) 所属

|           |      |
|-----------|------|
| 教員        | 5 名  |
| 学生(高校生含む) | 6 名  |
| 市民団体/NPO  | 6 名  |
| 企業        | 8 名  |
| 他         | 6 名  |
| 無回答       | 2 名  |
| 計         | 33 名 |



#### 2. ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 2017 に参加されていたいかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 29 名 |
| よかった      | 4 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 33 名 |



##### 【とてもよかった】

- 行政、企業、NPO、教育など枠を超えて一堂に話を聞けて良かったです。
- 色々な活動を聞いて自分の知識を深められた。
- 一日でとても濃い学び、人脈の広がりがありました。
- まず、学校だけにいると世界が狭まるのでありがたいです。生徒に発表の機会を与えてくださりありがとうございました。
- 知っている人はよく知っている、知らない人は全く知らない ESD。活動を各地でされている人との交流の機会が大切だと思う。
- 高校生と大人の共有ができてよかった。同じ高校生でも自分とはまた異なる分野でご活躍していて感心した。
- 今まで関わることでできなかった分野の人と話すことができた。
- 農業以外の活動が知れた。様々な方の話を聞くことで知識が増え、やりたいことが見つけた。
- 様々な世代や地域の方々と話すことができた。とても刺激になりました。
- ESD に関わっている様々な分野の方が集まっていた。また、ESD にくわしい方からこれから始める方など経験のレベルが違う人がかかわっているところがいいと思った。
- 行政、教育、企業、NGO、NPO 様々な団体との人脈が得られた。
- 学校での ESD 教育の進め方がわかりました。
- SDGs と ESD 相関が理解できた。
- みなさんの課題が聞けてとても良い機会でした。
- 会社に持ち帰られる内容
- さまざまな立場の方と交流できた。
- 各分科会の活動事例、多様な取り組みが聞けた。
- 普段接したくても接することが困難な方々からよいご教示いただく機会となりました。
- 異年齢での交流ができたこと。

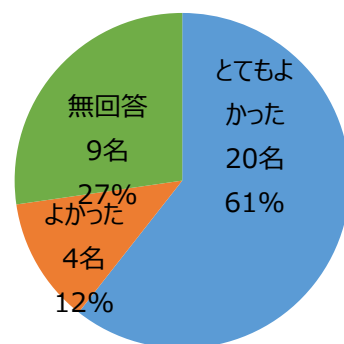
##### 【よかった】

- 多様な方々と意見交換できた。
- トークセッションのゲストの方一人一人の話を長い時間聞いてみたいと思いました。SDGs は幅広い分野にわたる活動ですが、深まりも欲しい。
- 学校教育の視点が聞けて良かった。



### 3. リレートーク～SDGs 達成、持続可能な地域をつくるために～はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 24 名 |
| よかった      | 4 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 9 名  |
| 計         | 33 名 |



#### 【とてもよかった】

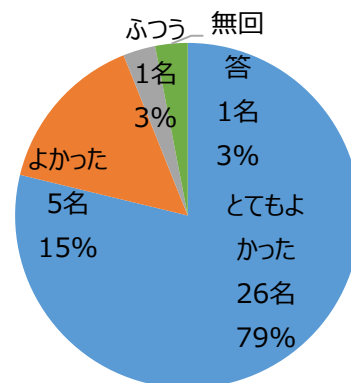
- SDGs の背景がよくわかった。
- SDGs に対する理解が深まりました。
- 新学習指導要領について理解を深めたいと感じた。
- 学校側の内容がわかった。
- 黒田さんの企業の SDGs への取組が分かりやすく、勉強になりました。伊藤先生の話がおもしろく、また、〇〇ファーストのお話が分かりやすかった。おっしゃる通り分断しておおっている社会になっていると思う。
- 黒田さんのお話は SDGs のことがとても分かりやすく説明が良かった。伊藤先生のお話は、次世代育成に必要なエッセンスが沢山含まれており、興味深かった。
- 安彦先生のお話を聞けなかったのは残念でしたが、色々な方向から SDGs の捉え方を知ることができて勉強になりました。
- 分科会に入る前に他のグループがどのような事話すのかイメージができて良かった。
- 学習指導要領や SDGs、社会的課題の本質がよく理解できた。

#### 【よかった】

- あと少し時間が長いと良かったと思う。
- SDGs は多様な機関の市民のネットワークが必要だと思った。
- 理解が深まった。

### 4. 分科会はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 26 名 |
| よかった      | 5 名  |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 33 名 |



#### 【とてもよかった】

##### <分科会 1>

- すばらしい実践をありがとうございました。問題点（継続が難しい話）は一緒だなと思いました。考えていない教員が参加する会を作りたいですね。
- 実践発表が良かった。参考にしたい。
- 学校の計画性—マネジメントにのっかる。いっしょにやる必要と思いました。
- もっといろいろ聞きたかった。時間が欲しかった。

##### <分科会 2>

- 大企業と中小企業の SDGs の考え方や事業のやり方など違いがわかり、SDGs がどの会社でも適応できるんだなと思いました。
- 100 年企業は SDGs に結びつく事業を達成している。持続可能な企業には企業理念、社是と SDGs の親和性があるという気づきがあった。

- 企業の取組姿勢を伺うことができてよかった。CSR、CSV、SDGsなどの流行のような概念に振り回されことなく、創業の理念を実践されており安心しました。

### <分科会3>

- 他校の発表をきいて、学びを深めれた。
- 高校生のエネルギーを感じた。経済構造、人生観、働き方について若手人材と議論する貴重な機会となった。
- 各地で活動している高校生の成長を見ることができた。高校生が素直に純粋に学んでいる様子が印象的でした。
- 高校同士での意見共有ができて、また違う観点を得られた。
- 同世代の高校生の活動や大人の意見を聴くことができた。
- 自分が行っているものの広報活動になった。働き方の提案がきけよかった。
- 他の高校生の方々の活動がすばらしかったです！
- 高校生のすばらしい発表を聞いて、未来について明るい展望がもてました。ぜひ、いろんな人に発信し、つながって欲しいです。
- すばらしかった。今後を期待したい「公共人材次世代の育みと地域づくり」

### <分科会不明>

- どのテーマも興味があり、一つに絞るのが大変だった。今度は別のテーマに参加したいと思いました。
- 参考になった。

### 【よかった】

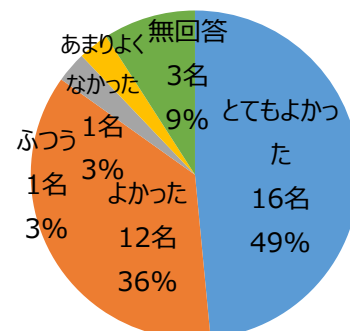
- 特に山本屋さんのこだわりの姿が良かった。

### 【ふつう】

- 活動の紹介からテーマの「公共人材」について、もう少し議論が進むと良かった。

## 5. ふりかえりセッション～ESD 推進ネットワークをどう使うか～はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 16 名 |
| よかった      | 12 名 |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 1 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 3 名  |
| 計         | 33 名 |



### 【とてもよかった】

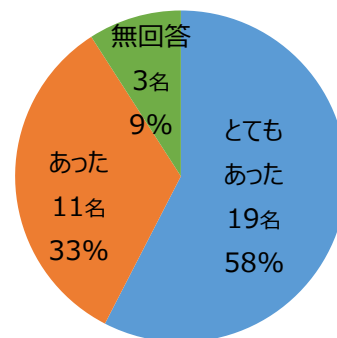
- 様々な方の話を聞いて、気づくことがたくさんあった。
- 他の分科会の方との交流（高校生の声など）聞けて良かったです。
- 広がりますね。すべてに出たかったです。
- ESD に関して活動する元気な人たちと出会えました。
- 企業の方々、学校教員など、その職の方々の ESD の取組を知ることができた。
- 自分の参加した分科会以外の意見を知ることができた。
- 自分以外の意見を聞くことができた。
- 分科会3の高校生からの感想コメントを聞いたことがよかった。互いの分科会の感想を伝え合う時間が短かった。
- 持続可能な社会について、大人が知らないなんて、子どもが知らないの当たり前じゃん。じゃあ、僕たちが頑張るってかっこいいなあと思いました。
- 高校生の意見が大変よかった。本日の成功の最大要素では？
- 高校生や先生、企業の方それぞれの立場の話がきけた。

### 【よかった】

- 高校生の話をもっと聞きたかった。
- リレートーク、分科会、ふりかえりセッションと少しタイトで、もう少し深まりを持てると良かった。
- 他の分科会の内容が聞けて良かった。
- 他の分科会の温度感を感じられた。

## 6. ESD 推進ネットワーク地域フォーラムでの気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 19 名 |
| あった     | 11 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 3 名  |
| 計       | 33 名 |



### 【とてもあった】

- SDGs の普遍性・包摂性・統合性という特徴。
- これからの人生のかてになる話をきけた。
- 自分が知らない世界を一つ知ることができました。
- SDGs 公共人材として活動する必要性の確認。揺らぎながら学び重ねたい。外への発信についても貢献したい。
- みんな考えてますね。是非この話し合いに出ないような人を取り込むようなことをしてほしいですね。
- 若い人（高校生）の方が柔軟。知識が少ないからこそ感性で考えられる、動ける。
- 大人と今の世代の若者の ESD に対する認知度が変わっていなかった。若者の意識から変えていくべきだと感じた。
- 横のつながりの大切さ。
- ESD、SDGs の良さ、大切さ。
- ESD を通じ、SDGs を目指すことへの関連性、重要性を認識することができた。
- ESD、SDGs を通じて、多種多様な人と連携する力を育てる人材育成が重要だと感じた。
- 私自身、明日からの仕事で何を目標していきたいのか、目指すのか、方向性が見出せました。
- 学校以外の取り組みを知ることができた。

### 【あった】

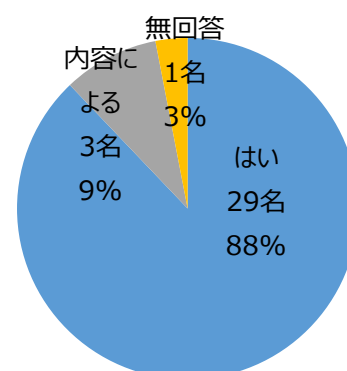
- 他の分科会ものぞいてみたかった。
- この様な会に参加する高校生のレベルがとても高いこと、SDGs や ESD という言葉を知っていることにびっくりした。ネットワーク、
- 人とのつながり、地域で考えることが大切なことが良く分かった。
- 会社の方向性を考えるために
- ミライに重きをおき、活動していた。

### 【無回答】

- 若者との交流はこれからあらゆる場面で必要だと感じました。

## 7. 今後のこのようなフォーラムに参加されたいですか。

|       |      |
|-------|------|
| はい    | 29 名 |
| いいえ   | 0 名  |
| 内容による | 3 名  |
| 無回答   | 1 名  |
| 計     | 33 名 |



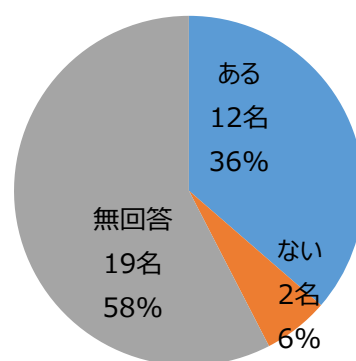
### 【取り上げてほしいテーマがありましたらお書きください】

- SDGs と企業や、地域の活動や成果を毎年報告する会を開催してほしい。成果が困難な項目があるかもしれない・・・。
- 人権、民主主義などがバランスの SDGs における重要性。
- SDGs 推進のその先。企業のブランドとしての SDGs
- 環境と社会のつながり
- 地域活動を ESD へ活用、事例、自治体支援事例など。

- 泊りでも、話がつきるまでやりたいですね。
- 若者主体（特に大学生）が参加できるテーマが欲しいです。
- 自分自身、もっと小さいうちに SDGs + ESD について知りたかったと感じているので、小学生に対する説明会など。
- 佐屋高校オニバス復活プロジェクト
- 行政は部局単位で事業を行って専門性が高いが、他の部局との連携ができていないので、行政と SDGs を総合的に一自治体で進めていくヒントがもらえるフォーラムがいい。
- 学生との接点・連携が持てるディスカッション（学生をメインにした企画）
- SDGs に興味のない企業に SDGs を伝えたいと思います！どう伝えたら興味をもってもらえるか聞きたいです！

#### 8. 地域 ESD 活動推進拠点（地域 ESD 拠点）登録に興味がありますか。

|     |      |
|-----|------|
| ある  | 12 名 |
| ない  | 2 名  |
| 無回答 | 19 名 |
| 計   | 33 名 |



## ESD を推進する人材育成支援業務

### ■【東海地域】第 1 回 ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」

日 時：平成 29 年 9 月 22 日(金) 14:00～17:00

場 所：錦パークビル 11 階会議室（名古屋市中区）

参加者：32 名（愛知、岐阜、三重の学校関係者、行政職員、NPO 等）

小中学校、高校の先生、教育委員会、教育大学学生、環境部局の行政職員、NPO、ゲスト、スタッフを合わせると約 40 名の方に参加いただき、中部地方 ESD 活動支援センターの初事業を行いました。

最初に、文部科学省初等中等教育局教育課程課渋谷一典教科調査官の「新学習指導要領と ESD 授業づくり」の講義では、学校関係者以外の参加者も対象としていたことから、「学習指導要領とは」から始まり、平成 30 年より順次実施される新学習指導要領の改訂の経緯、基本方針、方向性、そして総合的な学習の時間について話されました。ESD との関連性については、新学習指導要領の前文に「持続可能な社会の創り手となる」と示されていること、さらには、「社会に開かれた教育課程」「確かな学力」「主体的・対話的で深い学び」が重要視され、何をどのように学ぶのか、カリキュラムマネジメント（通称カリマネ）の実現がうたわれていることを示されました。

現代社会における多様な課題がすべて持続可能な社会の実現につながっており、その課題を自分のこととして考え、解決に向けて行動するために、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むことが今回の改訂の方向性であることを学びました。

その後、小学校と中学校の具体的な授業実践から、今回のテーマである「新学習指導要領と ESD 授業づくり」を考える時間をもちました。

名張市薦原小学校の瀬川和之先生による実践授業紹介では、6 年生の理科のエネルギーに関する授業紹介があり、子どもたちが、発電方法の特色をアクティビティを通して理解し、未来のエネルギーについて自分ごととして考える授業内容で、主体的に、対話的に深く学習する（まさにアクティブラーニング）内容の、瀬川先生の工夫が伝えられました。また、薦原小学校が学校全体で ESD に取り組んでいることや ESD カレンダーの紹介もありました。

また、数日前に出席のお知らせをいただいた四日市市西笹川中学校の森直也先生から、「ESD カレンダーを活用した環境教育の実践」を紹介いただけることになり、企業との連携による授業や、「リサイクルは有効か」をテーマに生徒の思考を揺さぶる参加型対話型授業実践についての紹介がありました。

フロアとのセッション「今後授業づくりに大切なこと」では、児童館活動をしている NPO や、教育支援をしている NPO、教員の ESD 研修を実施している NPO などから、学校と地域の連携方法や、学校での ESD 展開へのアプローチについての質問、意見が出されました。

参加者のアンケートから、「新学習指導要領と ESD の理念の関連が理解できた」「ESD カレンダー活用のヒントを得た。もっと活用していこう。」「今後もこのような機会を作ってほしい」等々、教育関係者、学校との連携を進めている行政や NPO、相互に共通関心である「新学習指導要領」「ESD」を通じた気づき、学びがあったようです。

# 【東海地域】第1回 ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」

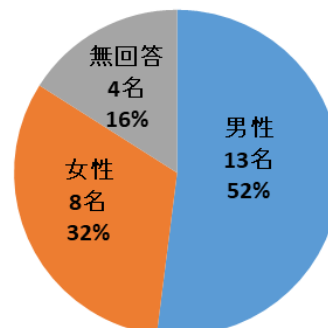
## 参加者アンケート集計結果

回収数：25 名／全参加者 32 名中

### 1. 参加者属性

#### (1) 性別

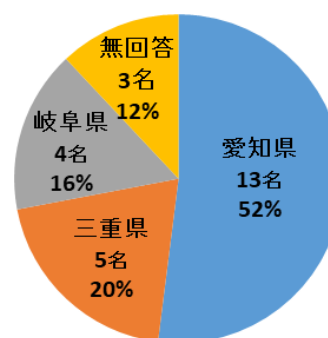
|     |      |
|-----|------|
| 男性  | 13 名 |
| 女性  | 8 名  |
| 無回答 | 4 名  |
| 計   | 25 名 |



#### (2) 住所

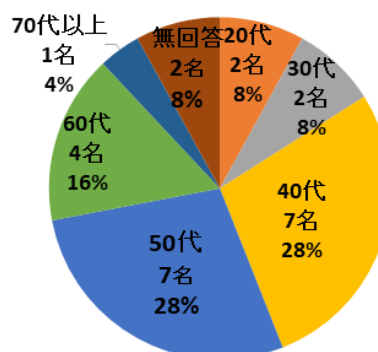
|     |      |
|-----|------|
| 愛知県 | 13 名 |
| 三重県 | 5 名  |
| 岐阜県 | 4 名  |
| 無回答 | 3 名  |
| 計   | 25 名 |

- ・愛知県名古屋市 7 名/大府市 2 名/大治町/東浦町/知多市/豊橋市
- ・三重県四日市市 2 名/桑名市/四日市市/度会郡
- ・岐阜県岐阜市 2 名/山県市/岐阜県



#### (3) 年代

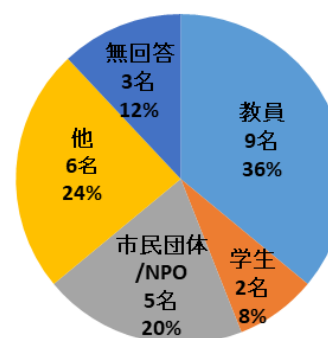
|        |      |
|--------|------|
| 20 代   | 2 名  |
| 30 代   | 2 名  |
| 40 代   | 7 名  |
| 50 代   | 7 名  |
| 60 代   | 4 名  |
| 70 代以上 | 1 名  |
| 無回答    | 2 名  |
| 計      | 25 名 |



#### (4) 所属

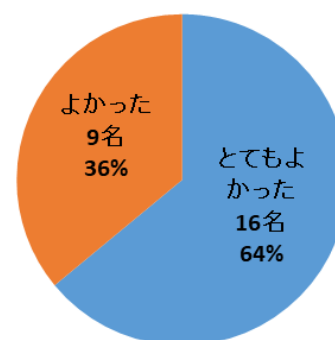
|           |      |
|-----------|------|
| 教員(大学を含む) | 9 名  |
| 学生(大学生)   | 2 名  |
| 市民団体/NPO  | 5 名  |
| 他         | 6 名  |
| 無回答       | 3 名  |
| 計         | 25 名 |

○他：県教育委員会/市教育委員会/行政 2 名



## 2. ESD 研究会(東海)「新学習指導要領と ESD 授業づくり」に参加されていたかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 16 名 |
| よかった      | 9 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 25 名 |



### 【とてもよかった】

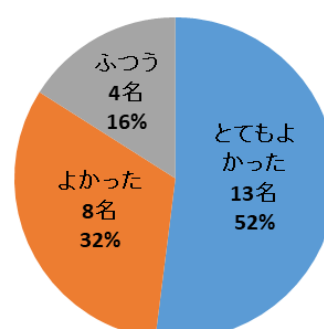
- 本当に視野の広がる機会だったと思いました。自分も教員になる前にこのようなことを考える機会をいただけて本当に参加してよかったと思います。
- 学習指導要領について、これまで以上に知識を得ることができて良かったです。2 校の活動実践を知ることができて有意義でした。
- たくさんご意見いただきました。
- 授業づくりに困り感もありましたので、とてもいい機会になりました。
- 教員以外にも大学生や教育委員会、NPO など多くの方の ESD に対する想いをこの場で視ることができた。良かったです。新学習指導要領について学ぶ機会は岐阜県でもありますが、出席できる人は部会の長だけであって、その聞いた話は教員間で共有することがないので、今日は参加でき、学校で共有する時間をもちたいと思います。
- 新学習指導要領での ESD の位置づけあう現場の現状を知ることができた。
- ESD の可能性を再確認できる場として、とても有意義な時間を過ごせました。
- 新学習指導要領と ESD の理念の関連(授業づくり)について理解できました。授業づくりのヒントを得ることができました。
- 現場全体の内容だったので理解しやすく、課題もわかりやすかった。
- これまで ESD と学習指導要領の問題を正面にとらえた研修会がなかった。
- 各学校特に中学での実践の話が聞けて良かったです。生の声が聞けて良かったです。

### 【よかった】

- 勤務校でやれることをぜひやっていこうと思った。
- ESD の名のもと、小学校・中学校の実践が知れてうれしく思いました。このように ESD の発表の場がありとてもよかったと思います。
- いろいろな人の話が聞けて良かったです。
- 新たというよりも改めて確認できたことが自信になりました。
- いろんな立場の方の意見を聞くことができたので、学ぶことができた。
- 勉強になりました。各セクターの特色・強みを活かした研究会になるともっと良いと思った。(参加者の対話要素を強めてもらえるとうれしい)
- 新学習指導要領と ESD の関連について興味があったので良かったです。小・中・高それぞれの取組事例があると良かったです。(書面のみでも)
- 色々な事例に触れることができた。

## 3. 講義「新学習指導要領と ESD 授業」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 13 名 |
| よかった      | 8 名  |
| ふつう       | 4 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 25 名 |



#### 【とてもよかった】

- 中学理科の教員志望でしたので理科以外の指導要領について接することがなかったので、とてもいい機会をいただきました。教科調査官の方のお話がきけるのは本当に貴重な機会でした。
- カリキュラムマネジメントと ESD カレンダーとの関連が、ストンと心に落ちた。
- 本質を知ることはとても重要！
- 多くの要領の中でのポイントは今後の活動に大きな影響を及ぼすものになります。ありがとうございました。
- 新学習指導要領で変更される点を含め、ESD との関わりを改めて知ることができ、具体的に何ができるか考えることができた。
- ESD の視点から新学習指導要領をわかりやすく説明していただけたと思います。ありがとうございました。ESD カレンダー作成のヒントを得ました。職場研修で報告させていただきます。
- 現場の課題との対比などで理解しやすかった。大変参考になりました。

#### 【よかった】

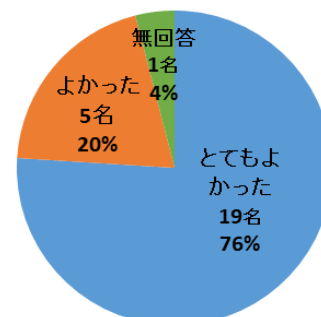
- 講師の方がよかった。もっと詳しく聞きたかった。
- 文部科学省としての立場から直接話が聞くことができる貴重な機会だった。
- 新学習指導要領と ESD の関連性がよくわかり、参考になりました。
- 文科省の考え方、とらえ方がはっきりわかった。
- 職員に伝達しやすい内容でした。(わかりやすかったと思います)
- マネジメントプランを立てるのに、ポイントと構成をわかりやすくお話していただけた。
- 新学習指導要領の重要ポイントがよく分かりました。直接文科省の先生からお話を聞いたことはとてもプラスでした。
- 新指導要領の新しさと ESD の位置づけがわかった。ただし、ESD で育む能力の内容と評価の仕方をもっと具体的に文科省が提示してほしい。
- 探究の授業のすすめ方のイメージがもてました。

#### 【ふつう】

- ESD の名を利用していなくても、多くの小、中で行っている取り組みがあります。新学習指導要領に持続可能な社会を書かれたのだが、大きな変化は感じません。大きな変化はないと思われます。
- もう少し具体的なつながりが聞きたかった

### 4. 事例紹介はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 19 名 |
| よかった      | 5 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 25 名 |



#### 【とてもよかった】

- もう少し時間があつたらと思う。
- エネルギーミックスは知っていましたが、小学校用に、そしてその後の子どもたちの AL をさらにアレンジしているところがいいと思いました。中学校で行うにあたって地域に合ったものをもっと行いたいと思いました。
- 熱心な教師の発表を聞くのは、気分がよいものです。
- 各校の具体的な実践を聞けて、本当に勉強になりました。
- かなり夢のある話であり、環境の大切さをたくさん学べました。どうもありがとうございました。
- 理科の授業であっても、課題の提示の仕方で生徒に付けたい力が ESD につながっているということが学べた。地域とのつながりが強く、地域とさらに関わりをもちたいと思いました。
- 子どもたちと教師が生き生きと活動することが ESD のベースにあるとらえています。その点でとても共感できました。認め合う集団を形成するのも ESD ならではだと思います。
- 他校の実践報告会を今後も計画していただきたいと思います。参考になります。



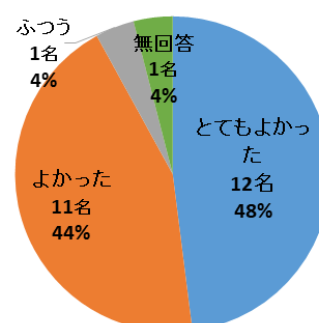
- 学校の先生の話はとても参考になりました。
- 以前より薦原小学校の取り組みを知っていたが、先生が代わられても引き継がれ、発展していた。
- 楽しく実践を聞くことができた。
- WS の具体例が参考になった。事例をたくさん聞けることが実践的な学びとなった。
- 興味ある実践でした。
- ESD カレンダーをどういった形、プロセスで学校の中で落とし込まれていったのかわかってよかったです。

#### 【よかった】

- 大鹿研究室で学んだ実践の改善例を見ることができた。
- 学年学年でやることが決められていて、しかも学校全体で取り組んでいるところがよかった。
- お聞きして再び ESD に対して火が付きました。
- 今、話題のエネルギー教育について、分かりやすく、少し変化させてやってみたいと思いました。
- ESD カレンダー等、より ESD について理解が深まった。

### 5. 意見交換「今後授業づくりに大切なこと」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 12 名 |
| よかった      | 11 名 |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 25 名 |



#### 【とてもよかった】

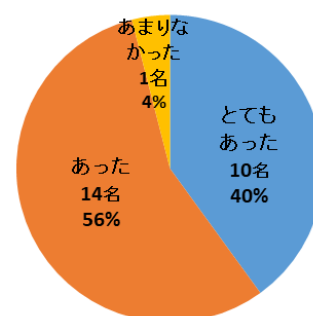
- いろいろな方の想いや意見があったので、いろんな立場の人が共有・理解できたと思います。
- 皆さんの熱い思いに触れることができ、これから何をしていくのか、できるのか、考えていきたいと思いました。
- たくさんの立場の方との意見交換会はあらゆる視点を知ることができました。ESD カレンダーではかなり多くの可能性がありました。この機会はずっとつづけていきたいです。こういう場がないと聞けない話ばかりでした。
- 本質的に何を大切にするのか、「学力」をあげることはむずかしいと思いますが、ESD を行うことで学力があがる…のような気がするという言葉を感じて活動していきたいと思います。
- 現場の悩み、その解決法を聞くことができた。
- 現場の課題(悩み)について。
- 色々な意見を聞くことができた。
- 先生の意見、NPO の意見、行政の意見をもっと聞きたいと思った。
- 現場で実際にとっている先生の声が聞けてよかったです。

#### 【よかった】

- ESD カレンダーの必要性
- 理想の話としてはよかった。その通りである。現実はどうなのだろうか。
- たくさん話して時間をとってしまいました。すいません。
- 授業づくりというよりも、学校の組織づくりの大切さがよくわかり、参考になった。
- みんなが思っていることが聞けた。期待と課題がいりまじって…
- NPO の方々の学校に対する思いが多きけてよかったです。
- 今までやってきたことを整理し、つなげていくことが大切だと思った。

## 6. ESD 研修会での気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 10 名 |
| あった     | 14 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 1 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 25 名 |



### 【とてもあった】

- 自分が教員になった上で行いたい内容がたくさんありました。
- ×ESD を学ぶ、○ESD の実践で～を育てる。
- かなりありました。多くのご意見の中でたくさん得るものがありました。
- 三重県や北海道など他県の実践も知ることができ、やはり、地域に応じて工夫があると思い、おもしろいし、もっと知りたいと思いました。
- 地域・保護者・企業／NPO との連携はやってきましたが、小中の連携について少し考えてみたいと思いました。
- ESD の理念は教育づくりにとってとても大切なことが理解できました。
- 多方面の方が参加されており、大変参考になりました。
- カリキュラムマネジメントを意識した講座の展開がイメージできました。

### 【あった】

- 同じ学校、地区に仲間を作ることが大切だと思った。
- 教育課程の小中の連携。
- 学習指導要領との関係がよくわかったこと。
- 瀬川先生の授業の中にヒントがいっぱいあった。
- 強みと励ましていただき前に進む気持ちが強くなりました。
- 学習プランをスタッフのチームビルディング内で取り立ててきたが、本日の事例を共有し、要素を注入していきたい。多様な学び合いがおもしろかった。
- お話をきいて、ESD カレンダーを教員のもっと身近にしていこう、いかなきゃ・・・と思いました。
- 気づきというよりは、勉強になったという印象でした。
- 今後の活動においての key word に気付かされた。
- ESD カレンダー

### 【あまりなかった】

- 国連の 10 年の時も学校が変わると思ったが、何も変化がなかった。いままでやっている内容を ESD でくくっても、一部の学校（研究校）以外ではいままで通りだろう。総合の研究校がどんどんなくなっている中、ESD の研究校があるのか？

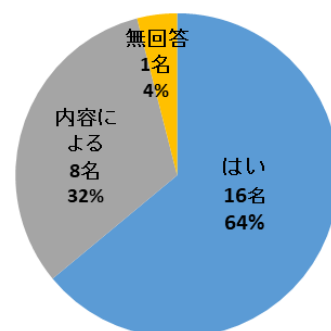
## 7. 今後 ESD 研究会を実施する際に取り上げてほしいテーマ、内容、また、中部地方 ESD 活動支援センターに対するご要望、ご意見等ございましたら、お聞かせください。

- さらに授業づくりについて学びたいと思った。
- セッションの時間に対して人の話を聞くのはとてもよかったです。一方で学生の立場だと遠慮してしまう(本当はだめなんです。すみません。)ことがあったので、グループなどでディスカッションする機会があったらいいかと思いました。
- このような研究会を県・地方の教育委員会ではなかなかできないので、活動支援センターが中心になって進めるためにこのセンターができたのかな？
- いろんな ESD の主体を「つなぐ」役割に期待しています！(今日は自分も名刺を忘れましたが)個人的には名刺交換ができるといいなあと思いました。少ないスタッフで日々忙しかれていると思いますが、頑張ってください。
- 小中高別にしてもおもしろいかもしれません。
- 小中連携した取り組みの紹介

- 本日は招いて頂いて、本当にありがとうございました。大変なお手数をおかけしました。本当に参加できて、学びが多く、うれしく思います。本校では「ESD」何だ？！と言われながらも、生徒人数が多いので ESD の効果は大きいと思います。今後も頑張ります。研究会等ありましたら参加したいです。今後もよろしくお願いします。
- 事例発表会、事例研究会。
- 中学校の現場では ESD を発展させにくい雰囲気があるような話も出ましたが、まずは気持ちのある人がやり切るしかないと思います。やったことないと思っている人(実はいろいろ実践しているはずですが・・・)のほりおこしをどうしていくのかも、大きな課題だと思います。初心者向け(教職員を対象)の研究会も大切かと思います。
- もっと広がっていくといいですね。がんばってください。続ければ、良いことが待っています。
- 今後もこのような機会を作っていただきたい。
- 学校、一般社会に分けて、プログラム開発の研修会をしてほしい。今回のテーマでもっと回数を多くできたらありがたい。
- 本日は小グループで話し合う時間もほしかったかな・・・。
- ESD について発信をもっとしてほしい。まだまだ現場には届いていないです。
- 〈取り上げて欲しいテーマ〉対話スキル／事例集、課題と現状事例集、参加者交流ワークショップ。
- 小・中・高の学び(教育課程)の連携方法・・・学年、年齢が上がるとともに学びをどう発展させていくのか。
- せっかくなので、他の先生や団体の方と交流があり、今後、何らかのつながりが生まれたのではないかと思います。もっと情報交換があるとよかったです。
- 受講するにあたり、学習指導要領という話であり、わからないことばかりだろうと思い参加したが、その通りであった。担当者ではあるが、実践している方とのレベルを感じたが、色々な活動を知る良い機会となった。
- 中部 ESD 拠点 (RCE) との役割の違いが分かった。学校教育を SD 社会に向けて変えることの重要性和厳しさを感じた。この支援センターが活躍されることを願っています。
- 参加できない会もあるので、ネット上での報告などお願いしたい。
- 個人の ESD、SDGs を大切に思う想いを組織としてどう共有していくかの話(ケース・事例)をいろいろ聞いてみたり、相談できたりできるといいです。
- 日常より NPO や地域づくりの人材と学校現場の関わりをなやんでいるが、答えが出ないのが実際です。特に学校数、人材数、その資質等々・・・
- いろんな立場の方々が参加されていたので、意見交換をもっと活発にしていくのであれば、テーブルをグループごとにするとか参加者のお互いの顔が見えるような配置にするなど工夫があってもよかったかと思います。

## 8. 今後 ESD 研究会に参加されたいですか。

|       |      |
|-------|------|
| はい    | 16 名 |
| いいえ   | 0 名  |
| 内容による | 8 名  |
| 無回答   | 1 名  |
| 計     | 25 名 |



## ■【東海地域】第2回 ESD 研究会「SDGs と企業」

日 時：平成 29 年 12 月 1 日(金) 14:00～17:00

場 所：錦パークビル 11 階会議室

参加者：29 名

SDGs とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015 年 9 月に世界の国々の合意により策定されました。経済のグローバル化が引き起こした様々な課題を解決のための、持続可能な社会を実現するための重要な指針です。産業界では、今年 11 月に日本経済団体連合会が「企業行動憲章」に SDGs の理念を取り入れるように改定したことで、SDGs の取り組みの必要性が強うたわれています。

研究会の 1 番の目的は SDGs を理解すること。そして自社の取組と SDGs の 17 の目標の関連性を見出すこと、です。主に企業を対象としましたが、参加いただいた NPO/NGO・自治体には企業が取り組みやすい環境をつくるために、また、企業の SDGs の取組の「SDGs アドバイザー」「SDGs コンサルタント」になるための情報提供を行いました。企業、商工会議所、NPO、教員、行政など様々なセクター、総勢 29 名の参加で開催しました。

住友理工(株) CSR 部長 戸成司朗氏による講義「SDGs と企業」では、「企業がなぜ SDGs に取り組むのか」から始まり、「企業がどのように SDGs を取組むことができるのか」「どのような目標を設定するのか」「社員にはどう伝えるのか」などについて話されました。また、SDGs を組織内に定着させるために住友理工(株)では、SDGs 勉強会の開催や時代に合わせたビジョンの見直しをトップダウンで行い、従業員には従業員自身で設定した身近な目標が SDGs の 17 の目標にどう関連するかを照らし合わせて「自分ごと」にできる目標を持つなどボトムアップで行い、経営層と現場の両面から取り組んでいます。「社会が持続可能でなければ、自社も持続可能にはなりません。そして、社会から支持された企業のみが生き残ります。ぜひ SDGs を通して未来を担う経営者になってほしい！」熱く語っていただきました。

次に、ユニー(株)の百瀬則子氏、井村屋(株)の堀川勉良氏から、自社の取組について紹介をしていただきました。ユニー(株)のテーマは「食品リサイクルは命をつなぐ環」です。環境の取組のトップランナーとして小売業界から唯一「エコ・ファースト企業」として認定されたユニー(株)、SDGs の 17 の目標をもとに、食品を廃棄しない「地球にやさしいお買い物」を推進し、持続可能な社会を目指しています。

営業活動から発生する廃棄物の計量・分類、地元の農業生産者と協働して再生資源化する「食品リサイクルループ活動」、メーカー・卸売り・スーパーが協力して余剰在庫を持たない適正管理、消費者に対して賞味期限・消費期限の捉え方への理解を促す「食品ロスの削減活動」、地元の繊維メーカーの未使用素材を活用し若者がデザインし障がい者が生産する「リデザインプロジェクト」など、地元を巻き込んだ様々な環境保全につながる活動をしています。さらには、お客様に配布するチラシに SDGs のマークを付けることで、SDGs の実践の見える化も行っています。百瀬氏は最後に語られます。「ユニーの経営者、従業員、関係する人々も皆、自分達の時代はおいしい水を飲んできれいな海で過ごせるかもしれない。しかし 10 年後、100 年後の子ども達にも同じようにおいしく水が飲めて、おいしい空気が吸えて、空が青い、そんな地球を残すために今やるべきことは SDGs です。色んなところに SDGs のマークがあると、全然知らなかった人も興味を持ってくれる、そこからだと思っています。」

続いて井村屋(株)からは、「もったいない、企業活動と地球温暖化防止」をテーマに紹介していただきました。井村屋(株)では、製造過程で発生する食品廃棄物をたい肥にし、肉まんの原材料となる玉ねぎ畑に利用することや、人気商品「あずきバー」のボックス商品の CO2 排出量を計算して、特に排出量が多い工程の「化粧箱のショートフラップ化」「バイオマスボイラーの導入」「新しい冷凍庫設備の導入」など、環境に配慮した多様な取り組み、改善を行っています。

す。堀川氏は「全ての活動は『エコロジカルはエコノミカル』の考え方。環境に優しいことは、経済にも優しいんです」とお話されました。また、地元の敬老会との協働活動で、使用されなかったあずきを規定外の容器に入れたマラカスや、お手玉を作り、小学生や幼稚園児との交流の場に提供するほか、災害時に手早く美味しく食べられるように開発された保存食「えいようかん」に伝言ダイヤルの表示やパッケージに点字を使用するなど細やかな気遣いをするなど「商品こそ我が命、人こそ我が宝」を信条に、全てのの人に優しい商品開発にも取り組んでいます。

また、当日参加いただいた㈱マルワの鳥原氏は、ユニー㈱のカレンダーに使用した紙であるバナナペーパーについてご紹介いただきました。バナナペーパーは日本で初めて紙業界でフェアトレード認証を取得し、SDGs の 17 の目標を全て兼ね備えた紙です。この紙のことを知ったマルワ株式会社では、「紙を媒介として商品にして販売している会社としてこれを使うしかない！」とバナナペーパーの推進を図るようになりました。これまで使っていた紙をバナナペーパーに変える、そんなちょっとしたことで SDGs を実践できることを実感していらっしゃいました。

その後、参加者が 3 つのグループに分かれて、各企業等で SDGs をどう浸透させていくか、本業や活動につなげていくかについて意見を交わしました。各グループの報告から、「認知度がまだまだ低い。企業に浸透させるためには、経営者層の理解が必須である」といった課題が提示されたほか、「自分の仕事と 17 の目標との紐づけを社員みんなが出来るようにしたい。」「世代を超えた想いをどうつなげていくか」など本質に触れる意見も出されました。

また、「井村屋㈱」の堀川氏が生産管理部長として CSR を進めていることを知り、とても心強くなった。総務部で CSR を推進する立場にいますが、総務部と CSR 推進室だけが頑張っても仕方ないと気付いた」といった意見もありました。今回の研究会を通して様々な立場の方が様々な気づきを得て、参加者一人ひとりが自分たちに出来ることを見つけ直す良い機会になったようです。

最後に三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング㈱執行役員 加藤義人氏から、「3 名のお話を伺い、信念をもって日々の行動に結びつけている姿がカッコいいと思いました。現在我々は『パラダイム・チェンジ（根本的転換）』、通念を変えることを社会に問われています。変化の為に、未来を担う子ども達への教育をじっくり進めると同時に、企業に大きなショックを与え、行動を改めさせることの両方が大切です。また、経営者が信念を持てるかどうか、SDGs を推進する人材がいるかどうか、企業が SDGs を実践するかどうかの大きな分岐点です。まずは SDGs を知り、マークを付けてみる。そこで終わらず目標を作って達成するところまで繋げることで、今日から明日への変化が生まれます。」とのコメントをいただきました。

とても力強い言葉です。今後 SDGs にどう取り組むか、私達が社会に試されているようです。

## 【東海地域】第2回 ESD 研究会「SDGs と企業」

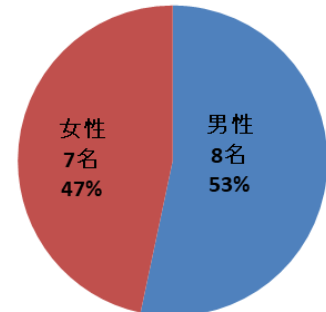
### 参加者アンケート集計結果

回収数：15 名／全参加者 19 名中

#### 1. 参加者属性

##### (1) 性別

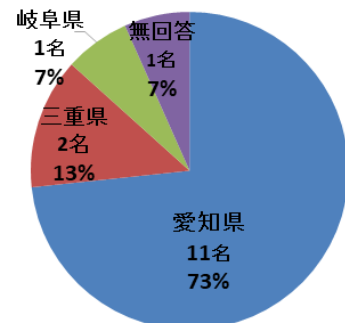
|     |      |
|-----|------|
| 男性  | 8 名  |
| 女性  | 7 名  |
| 無回答 | 0 名  |
| 計   | 15 名 |



##### (2) 住所

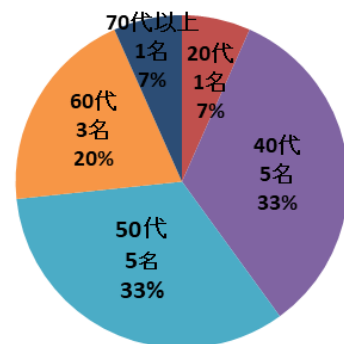
|     |      |
|-----|------|
| 愛知県 | 11 名 |
| 三重県 | 2 名  |
| 岐阜県 | 1 名  |
| 無回答 | 1 名  |
| 計   | 15 名 |

- ・愛知県名古屋 9 名/長久手市 1 名/あま市 1 名
- ・三重県四日市市 2 名
- ・岐阜県岐阜市 1 名



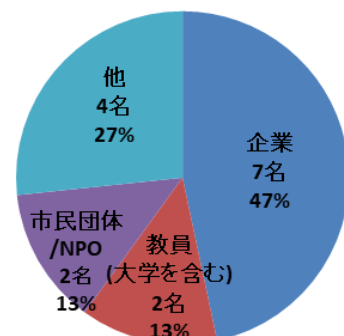
##### (3) 年代

|        |      |
|--------|------|
| 20 代   | 1 名  |
| 30 代   | 0 名  |
| 40 代   | 5 名  |
| 50 代   | 5 名  |
| 60 代   | 3 名  |
| 70 代以上 | 1 名  |
| 無回答    | 0 名  |
| 計      | 15 名 |



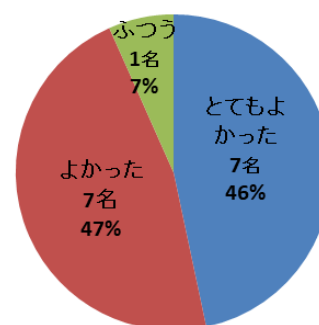
##### (4) 所属

|           |      |
|-----------|------|
| 企業        | 7 名  |
| 教員(大学を含む) | 2 名  |
| 学生(大学生)   | 0 名  |
| 市民団体/NPO  | 2 名  |
| 他         | 4 名  |
| 計         | 15 名 |



## 2. ESD 研究会(東海)「SDGs と企業」に参加されていたいかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 7 名  |
| よかった      | 7 名  |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 15 名 |



### 【とてもよかった】

- 体系的に学ぶことが出来た。
- SDGs の現状がよくわかった。
- SDGs に取り組みたいと本気で考えていらっしゃる方とお会いできて、すごく刺激になりました。
- スピーカーの方がよかった。
- SDGs に対する理解が深まった。

### 【よかった】

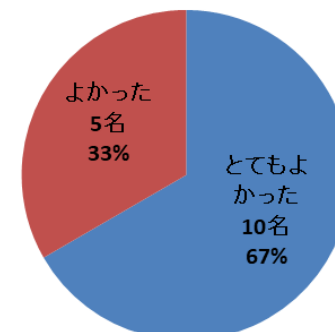
- 色々な分野の方が集まっている。
- 今回は急ぎの代理参加でして、私自身全く知識がない状態でした。聞くこと、見ることも、全てに新鮮な気持ちで望めました。
- 色々な方と知り合えた。(企業団体、教育関係)
- 企業がどのような取り組みをされているのか、取り組みができるのか理解できた。
- 全く持ち場のちがう方々の意見がきけた。
- 企業の方の話を直に聞いた。本音。

### 【ふつう】

- いろいろな話が聞けて良かったです。企業の取り組みの一端を知りました。

## 3. 講義「SDGs と企業」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 10 名 |
| よかった      | 5 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 15 名 |



### 【とてもよかった】

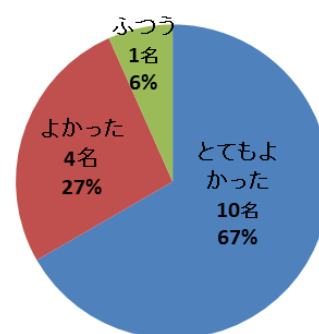
- わかりやすかったです。
- 企業の羅針盤とする、はわかりやすい表現だった。
- 同上（企業がどのような取り組みをされているのか、取り組みができるのか理解できた。）特に戸成さんのお話は社会的背景も含めてのお話で、わかりやすかった。
- どこもこの両立から外れがち。良いと思います。
- ISO9000 や 14000、26000 導入時（現職であった）より企業にとっても重要な課題であると認識した。
- 自社での参考になる。
- どんな想いで、何がきっかけで、SDGs の先進企業になったか、本気の想いをきけて良かったです。
- スピーカーの方がよかった。

### 【よかった】

- 循環型社会の形成、発展に役立つ企業を目指す当社にとって、今後の取り組みへの参考となりました。
- わかりやすいお話でした。
- 語っていらっしゃる方の信念という思いが伝わりました。
- もう少し企業からの参加者があっていいですね。

#### 4. 事例紹介はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 10 名 |
| よかった      | 4 名  |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 15 名 |



##### 【とてもよかった】

- 実践者の声は説得力がある。
- 具体的な内容がわかりやすく、自分にできることもあるなと思った。
- 住友理工の事例は、経営者団体に是非紹介を。
- 具体例があった。
- スピーカーの方がよかった。

##### 【よかった】

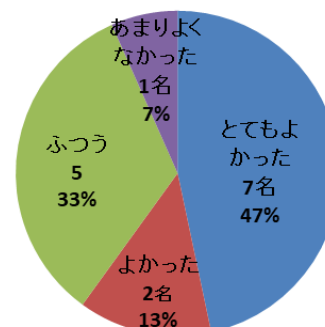
- とにかく参考になった。
- リスクの紹介がもう少しあればよかった。
- 2 との区別があまりつきませんでしたが・・・

##### 【ふつう】

- SDGs に、未来の“主役”の話がどこの企業にも入っていないから。

#### 5. セッション「SDGs が企業の羅針盤となるために」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 7 名  |
| よかった      | 2 名  |
| ふつう       | 5 名  |
| あまりよくなかった | 1 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 15 名 |



##### 【よかった】

- 立場のちがう人たちとの共通のキーワードはむずかしかったが、広めていこうという思いは同じだった。

##### 【ふつう】

- 話し合いはよかったが、時間と具体的な形への展開まではなかなか。
- 時間不足で残念。
- どうも想定内の話にかたよりがち。想定外も必要かと。
- How の部分も聞きたかった。
- 時間がなくてあまり話し合えたという実感はなく終わりました。若い方の熱い思いを聞かせていただいたのは良かったです。

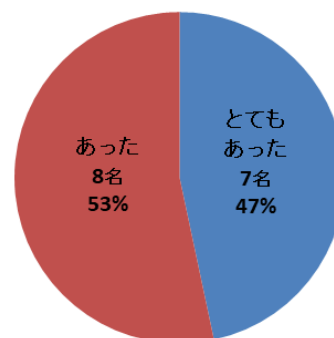
##### 【あまりよくなかった】

- 全然はなせず、何をきかされているんだと思った。企業は大変だねーって感じだった。自分の活動に結びつけることのきっかけにはなりそうだった。



## 6. ESD 研修会での気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 7 名  |
| あった     | 8 名  |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 無回答     | 0 名  |
| 計       | 15 名 |



### 【とてもあった】

- 2018 年の自分の行動目標を SDGs の 17 の目標にあわせてつくってみようと思った。
- 社内での活動の復習になった。

### 【あった】

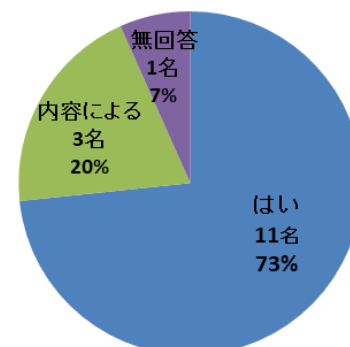
- まずは自分ができるところからはじめようと思います。
- じっくりと大きなショックは、大事なことだと感じた。
- 中部が先行してがんばってほしい。
- 若い世代の想いをいただいた。
- 業種、規模と SDGs は関係ないことを確認した。
- やっぱり一人ひとりの意識を育てることが大事ですね。教育関係者なのでそう思うのかも。

## 7. 今後 ESD 研究会を実施する際に取り上げてほしいテーマ、内容、また、中部地方 ESD 活動支援センターに対するご要望、ご意見等ございましたら、お聞かせください。

- 2030 年に目指すべき社会（目標を達成した先にある社会）を語れるとおもしろいと思います。
- まちづくり、福祉に関連する内容だとうれいいます。
- 世界は人口増、日本は減少、SDGs+人口問題は欠かせないかと。
- もう少し企業人を集めてセミナー等を開催してください。
- 参加型イベントであり、理解の推進に役立った。コメンテーターの方々も説明がわかりやすく、興味深い話がきけた。

## 8. 今後 ESD 研究会に参加されたいですか。

|       |      |
|-------|------|
| はい    | 11 名 |
| いいえ   | 0 名  |
| 内容による | 3 名  |
| 無回答   | 1 名  |
| 計     | 15 名 |



## ■【北陸地域】第 1 回 ESD 研究会「ESD を取り入れた授業づくり～新学習指導要領を踏まえて～」

日 時：平成 30 年 1 月 5 日（金）14:00～16:30

場 所：富山市立堀川小学校

参加者：52 名（教員 47 名 他 5 名）

共 催：北陸 ESD 推進コンソーシアム

北陸での主に教員を対象にした ESD 研究会。3 つの授業実践の紹介をし、金沢大学の松本謙一先生のコーディネートで、スモールグループに分かれて教員が学びあいました。

1 つ目は、金沢市立兼六小学校の田中哲也先生から「社会と子どもをつなぐ授業づくり～自分事として動き出す ESD」をテーマに 2 つの授業実践の紹介をいただきました。田中先生は以前いらした小学校で EPO 中部が実施した環境省の ESD 事業にも参画いただいたこともあり、その際地域のステークホルダーとともに作り上げた「川」をテーマにした授業、今の小学校で取り組んでいる名古屋市内の小学校との交流授業を実施し、児童の変容について語られました。いかに「子どもの～したい」という授業のカリキュラムマネジメントをするか、が教員には必要だと話されました。そして、スモールグループでのディスカッション。先生たちは自分の授業と比較しつつ、田中先生の授業について語り合います。

もう 1 つの実践は、「ESD の観点からみた主体的・対話的で深い学び」をテーマにした、富山県の舟橋村にある舟橋村立舟橋小学校、尾島良幸先生の、なんと 3 年間にわたる授業です。舟橋小学校では、学級数、児童数が少なく、原則学年の持ち上がりはないそうなのですが、尾島先生は小学 4 年生から 6 年生まで担任をされました。3 年間の取組のキーワードは、「身近な教材」「教師がゴールを決めない」、そして大切な言葉「～さんの気持ち、分かったかい？」です。それは、まさに主体的、対話的な学びです。先生は熱く語ります。

「先生は行政や地域に働きかけて自然保護活動をしようとするが、それは本当に子どもが望むことなのだろうか。それが一番大切なことなのか」と問われたこと、など。そして先生の授業は「子どもたちにゆだねる授業」へと変わっていきました。そしてこれは、持ち上がりが可能であったからできたことである、とも話されます。学びの連続性により子どもの学びが深まったことを子どもも教員も感じることができました。「みんなどうするかい？」という問いかけに、「やるのはぼくたちでしよう」と。

このあとも、スモールグループにてディスカッション。どうしたらこんな授業ができるのか、先生方の質問、意見がどんどん出されていきます。

最後に、松本先生から、教員の皆さんへのエールと、「新学習指導要領と ESD」と題したミニレクチャー。新学習指導要領の説明、そして、大切なことは「生きる力」であり、「子どもを丸ごとみること」、「子どもの立場から考えること」、そして何より、「教員が子どもの育ちを楽しむこと」を話されました。子どもが輝く、わくわくする、ドキドキする授業、それこそが ESD 授業。

教員のみなさん、参加した NPO、大学関係の方々の大きなうなづきとともに、研究会を終えることが出来ました。

# 北陸開催 ESD 研究会「ESD を取り入れた授業づくり～新学習指導要領を踏まえて～」

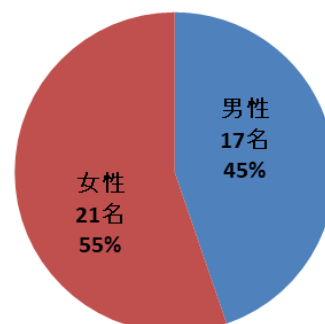
## 参加者アンケート集計結果

回収数：38 名／全参加者 45 名中

### 1. 参加者属性

#### (1) 性別

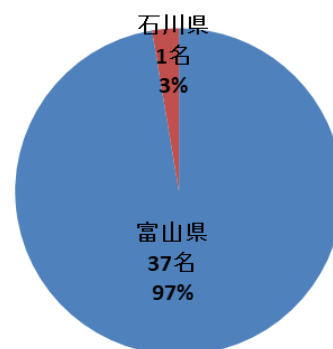
|     |      |
|-----|------|
| 男性  | 17 名 |
| 女性  | 21 名 |
| 無回答 | 0 名  |
| 計   | 38 名 |



#### (2) 住所

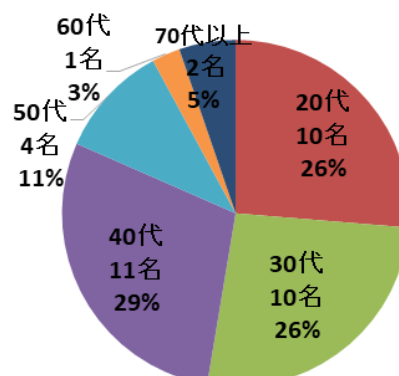
|     |      |
|-----|------|
| 富山県 | 37 名 |
| 石川県 | 1 名  |
| 無回答 | 0 名  |
| 計   | 38 名 |

・富山県富山市 19 名/南砺市 4 名/高岡市・砺波市・氷見市 各 3 名/  
射水市・小矢部市・立山町 各 1 名  
・石川県金沢市 1 名



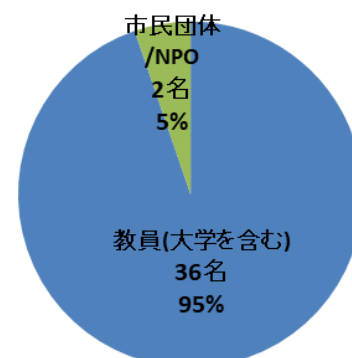
#### (3) 年代

|        |      |
|--------|------|
| 10 代   | 0 名  |
| 20 代   | 10 名 |
| 30 代   | 10 名 |
| 40 代   | 11 名 |
| 50 代   | 4 名  |
| 60 代   | 1 名  |
| 70 代以上 | 2 名  |
| 計      | 38 名 |



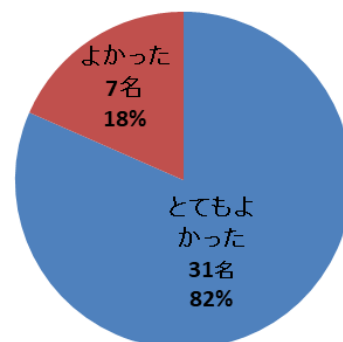
#### (4) 所属

|           |      |
|-----------|------|
| 教員(大学を含む) | 36 名 |
| 学生(大学生)   | 0 名  |
| 市民団体/NPO  | 2 名  |
| 他         | 0 名  |
| 計         | 38 名 |



## 2. ESD 研究会(北陸)「ESD を取り入れた授業づくり」に参加されていたかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 31 名 |
| よかった      | 7 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 38 名 |



### 【とてもよかった】

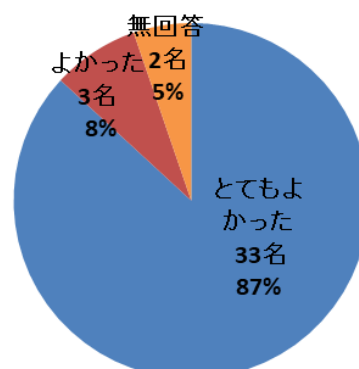
- 色々な実践と、他の学校の先生方からたくさん学ばせていただきました。
- 教員を対象としたプログラムとしてはタイプの違う事例発表が準備されていてよかった。
- 人生を豊かに歩むための学習、楽しく学ぶことが本当の学びとして生きてくるのだと感じた。
- 実践をたくさん知ることができた。それについてグループで討議できた。
- 初めて ESD の授業実践の話聞いた。とても勉強になりました。
- 先生方のすてきな授業をきけてよかった。
- 具体的な実践を生の声できけたので。
- 実践をもとに、授業づくりについて議論できたから。
- 実践をもとに、これからの単元や子どもへの支援を考えることができました。
- 実践も具体的で分かりやすく、その後のグループ討議もとてもよかった。松本先生のお話もとてもよかった。
- 実践をもとに様々な先生方と話すことができた。
- 素晴らしい実践を聞き、学ぶことができた。
- お二人の先生の実践から、自分の授業づくり、単元構想について見直すきっかけになりました。
- 二人の実践に修正を加えながら取り組んだすばらしい姿を学ぶことができて、ありがたかった。
- 他校の先生方と交流できたこと。
- 二人の実践から今後の学校の実践につなげていきたい。
- 事例をふまえて、討議をするのは分かりやすかった。
- 実際の授業を踏まえ、話が聞けて良かった。
- ESD について考える機会になってよかったです。自分でもしっかり勉強していきたいと思います。
- 子どもの姿で語り合うことができ、他の先生方の考え方が分かったことがよかった。
- 自分がまだまだ理解していない面もあり、勉強になった。

### 【よかった】

- 事例発表があったことが分かりやすかった。具体的な内容をグループの皆さんと話し合えたことがとてもよかった。

## 3. 講義「小学校の授業を教材にして」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 33 名 |
| よかった      | 3 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 2 名  |
| 計         | 38 名 |



### 【とてもよかった】

- 実践を聞くことで、その先生が大切にされていることがよく分かった。私もただ決められたことをやるのではなく、目の前の子どもの思いを大切にしながら「ここだけはゆずれない」というものをしっかりもって授業づくりをしていきたい。
- 自分も実践してみたいことがありました。
- 具体的な実践授業を通して課題を明確にして、活発に意見交換できた。
- 実践を見せていただき、取り組みの仕方、教師の関わり方、子どもの思いなど、とても参考になった。

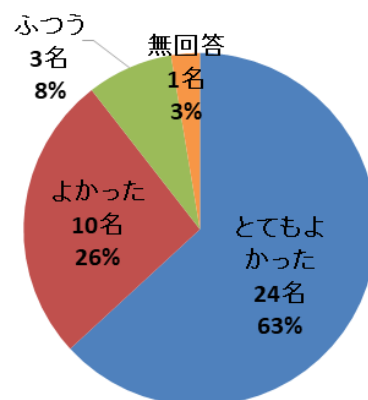
- すばらしかった。これからの学習に活かしたい。
- 授業された先生の実践が素晴らしかった。
- 教材開発の視点が広がった。
- 新しい視点や取り組みを知ることができ、新たに頑張るエネルギーをもらえました。
- 次からの自分達の実践に役立つだろうと思うから。
- 尾島先生の授業実践を聞いて感動しました。ESD の授業にかける先生の思いを感じました。見習いたいです。
- 具体的な子どもの活動や学びの姿から、学びあうことができたと思います。
- 具体的な 2 つの実践を見せていただき、勉強になりました。
- 特色ある実践発表だったので、とても参考になった。
- 2 つの例、どちらも素晴らしく勉強になりました。
- 発表の内容がとても参考になった。
- 素晴らしい実践をありがとうございました。子どもの気持ちによりそった授業ができるよう工夫したいです。
- 具体的な実践をお聞きできてよかった。身近な教材をとりあげられた例をお聞きし、自分の実践につなげられると思った。
- 同じ小学校として実践に生かしていきたい。
- ESD のどの観点を重点にしているのかが分かりやすかった。
- 県内での実践を知ることができ、とても楽しく、学べました。
- 実際に関わりのある内容で身になる。
- お二人の実践で子どもたちが生き生きしているのが良く分かりました。子どもたちにとって、身近で自分ごととして捉えることの大切さを改めて感じた。
- とてもよかったが、もっと詳しく聞きたいところもあった。
- 素晴らしい実践を聞いた。

#### 【よかった】

- やややり取りの時間が短い。

#### 4. 意見交換はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 24 名 |
| よかった      | 10 名 |
| ふつう       | 3 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 38 名 |



#### 【とてもよかった】

- 様々な立場・意見の方と話をすることで、新たな視点や考えにふれることができた。
- 様々な視点から意見をきけて勉強になりました。
- 若い先生方が積極的に意見を述べておられ、活発な意見交換ができた。参加された先生方に期待したい。
- 他の先生方の熱い思いや、様々な視点、いろいろな考えに触れることで、総合の学習に対する捉え方が広がった気がした。
- 普段お話できない方々との交流ができました。
- お二人の人柄もとてもすばらしく、実践もとても勉強になった。
- 明日からの実践につながる、お話をいただきました。ありがとうございました。
- いろいろな先生方の意見を聞くことができました。
- 教育での対話の重要性を実感できたこと。
- 先生方の課題や意識が知れてよかった。
- いろいろ話し合えたことがとてもよかった。
- いろいろな意見がきけた。ESD について話し合えることが少ないから。
- いろいろな視点を知ることができた。
- 発表よりも話し合うことがよかった。

- いろいろな視点からのご意見が聞けてよかったです。よい実践の中にも課題や考えるべき点があることに気付く事も学びと思いました。
- 先生方の鋭い視点に刺激を受けた。
- 様々な見方をされている先生方と話せて、たくさん学べた。

#### 【よかった】

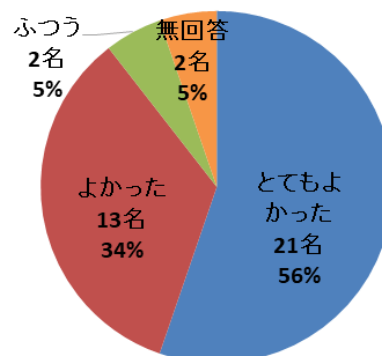
- 他校の先生と色々な話をきくことができてよかったです。
- いろいろな立場の方が関わっておられたのがよかった。子どもたちの具体的な姿をもとに話ができて、参考になることがたくさんありました。
- 少し短かったです。
- 色々な立場の方とお話できてよかったです。
- いろいろな意見を聞くことができて、時間は短かったが十分話し合えた。
- もっと詳しくききたいと思いました。しかし、ポイントをしっかりと知ることができたので、良かったです。

#### 【ふつう】

- 自分があまり勉強していないので、意見が言えなかった。

### 5. 講義「新学習指導と ESD」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 21 名 |
| よかった      | 13 名 |
| ふつう       | 2 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 2 名  |
| 計         | 38 名 |



#### 【とてもよかった】

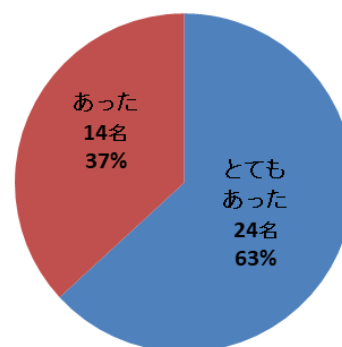
- 松本先生の思いが伝わってきました。
- 松本先生のお話がとても分かりやすかった。
- 解釈の仕方が分かった。
- 主旨を改めて確認でき、とても分かりやすかったです。
- エキスがよく分かった。
- 新学習指導要領の目指すところには、ESD の考え方に支えられたものがあることを忘れてはいけないことが、よく分かった。
- 新学習指導要領の捉え方がとても分かりやすく、教えてもらえてよかった。教育観について学べた。
- 全て生きる力につながっていることを、分かりやすく伝えていただけたこと。
- ESD との関わりを知ることができた。
- 他の教科でも知りたくなった。
- 先生の言葉を聞かせていただいて、本当に温かさを感じました。目の前の子を大事にして、そしてどういう子に育てていきたいかという思いを持ち、教育していきたいと思います。
- 大切にすべきことを改めて考えることができた。
- もう少し詳しくお聞きしたかったです。

#### 【よかった】

- 時間が許すならばもっとお話をききたかったです。
- 分かりやすかったです。
- 「生きる力」の大切さは変わらないので、しっかり子どもたちに伝えられるようにしていきたい。
- もっと伺いたかったです。
- 新学習指導要領との関連が、よく分かりませんでした。
- 短かったこと。
- 要点が分かりやすかったです。もっとお話を聞きたかったです。

## 6. ESD 研修会での気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 24 名 |
| あった     | 14 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 計       | 38 名 |



### 【とてもあった】

- 学ぶことは本来楽しいことであると改めて気付かせてもらった。
- ESD と新学習指導要領はつながっていることを学び、もっと ESD について勉強しなくてはならないと思った。
- 「子どもの笑顔が 1 番」という自分の考えの後押しをしてもらえたようで、よかったです。
- 子どもがわくわくする授業が、ESD につながると改めて気付いた。
- 子どもを信じることの大切さを改めて胸にきざみました。
- 今まであまり分からなかったが、よく分かった。
- 尾島先生のご実践、とても素晴らしかったです。しかし、こんなスーパーな先生がどこにでもいらっしゃるわけではないので、みんなが学校でできるように、どのようにしていけばよいか深く考えるきっかけとなった。
- ESD とのつながりが分かってきた。
- 先生方が頑張っていることを実感できたこと。
- 他の学校の実践は参考になった。
- 子どもを主体にする意識。
- ESD について、考えられたことが良かったです。この考え方を大切にして、今後の教育（総合など）をしていきたいと思います。この場に参加出来た事が良かったです。
- 資質・能力に振り回されないように、意識しながらも子どもを大切にしていきたい。
- 自分の授業に取り入れられるものは、取り入れていきたい。

### 【あった】

- 今後に生かしたいことがたくさんありました。
- 総合的な学習の実践のむずかしさ。
- 子ども達のやりたい、やってみたいという気持ちが大切だなと改めて思いました。
- 自分もこれから ESD について勉強を進めていきたいです。
- 先生方の授業づくりの在り方について。
- 子ども達の主体的な学びを支える教師の姿、在り方について学びました。
- 能力を育てるのではなく、人間（生きる力）を育てる。
- 先生方が元気になった。
- 尾島先生の問いかけ「～さんの考え、分かったかい」を真似しようと思いました。

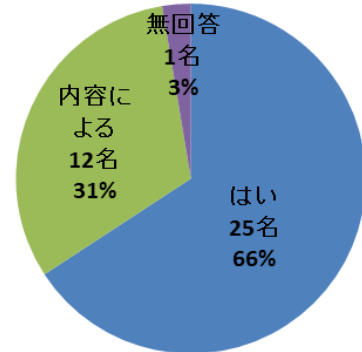
## 7. 今後 ESD 研究会を実施する際に取り上げてほしいテーマ、内容、また、中部地方 ESD 活動支援センターに対するご要望、ご意見等ございましたら、お聞かせください。

- 初めて ESD 研究会に参加しましたが、とても勉強になることや、生かしたいなと思うことがたくさんありました。ありがとうございました。
- 実践をきくことができてとてもよかったです。
- 本日はありがとうございました。
- 富山以外の人にも ESD が広まればよいなと思いました。
- 家庭を巻き込むような教材、授業づくり。じいちゃん、ばあちゃん、お父さん、お母さん、この意識をかえたい！！
- このような機会を多く作ってほしい。
- 深みのある学び方の研究。
- 本日は大変勉強になる研究会でした。ありがとうございました。

- 持続可能な・・・という点で無理せず（教員が）、楽しめる学習ができたと思っています。ぜひそのためのヒントを。
- 今日のようなもの。
- 本日は学びの場を提供いただき、ありがとうございました。

#### 8. 今後 ESD 研究会に参加されたいですか。

|       |      |
|-------|------|
| はい    | 25 名 |
| いいえ   | 0 名  |
| 内容による | 12 名 |
| 無回答   | 1 名  |
| 計     | 38 名 |





## ■【北陸地域】第2回 ESD 研究会「SDGs と企業」

日 時：平成 29 年 12 月 20 日(水) 9:30～12:30

会 場：金沢勤労者プラザ 405 研修室

参加者：25 名

中部地方 ESD 活動支援センター主催の北陸で初めての「ESD 研究会」を行いました。今回は主に企業を対象とした「SDGs と企業」がテーマです。金沢青年会議所をはじめ、北陸で活躍する企業の方々のほか、NPO や大学の教員の方に参加いただき、北陸の 2 社の企業の取り組みと SDGs の関連性、北陸で企業を対象に SDGs に取り組んでいる専門家等を招いて、熱い議論が交わされました。

まず、中部地方 ESD 活動支援企画運営会議委員でもある住友理工(株) CSR 部長 戸成司朗氏、金沢工業大学経営情報学科講師 平本督太郎氏に、SDGs 達成に向けた企業の役割や動きについてお話をいただきました。

「企業向けの SDGs 調査によると、世界のグローバル企業の 92%が SDGs を認知し、71%は既に行動を開始しています。なぜこれほどまでに企業が国連の課題に取り組んでいるのでしょうか。」戸成氏からの問題提起です。その後、SDGs に取り組む理由となる「リスク」と「機会」について、企業が正しく SDGs を理解することの重要性について、社会的ニーズから事業目標を設定する「アウトサイド・イン・アプローチ」について、等の説明がありました。その後、自社の取組として、ビジネスモデルについての議論など経営層によるトップダウンのアプローチと、社員ひとりひとりが「自分の目標」を設定し当事者として取り組むボトムアップのアプローチを並行して実践されていることが紹介されました。最後に、すべての企業の経営者に「持続可能な社会づくりへの責任」があり、SDGs の目標達成を目指した経営者になることが求められていること、そしてそのための道しるべを説かれました。

平本氏からは、現在の経済状況から、消費者が何を求めているかについて、SDGs ビジネスを実践している企業の事例紹介、持続可能な社会を担う企業のありかたについてお話をいただきました。海外、国内のデータから、消費者の SDGs 消費、エンカ消費への関心が高まっており、「高品質で費用対効果が高い商品やサービス」「顧客への提供価値が高く SDGs にも貢献できる商品やサービス」が求められ、これまでの「OR」ではなく、「AND」による複合化した SDGs マーケットの創出へと変化している、企業がその変化に対応するためには、既存の枠組みの「改善」ではなく、前提条件を変え、あるべき姿を描いてその達成のための「再構築」が必要である、との説明がありました。

その後、実践をすでにしている SDGs ビジネスアワード受賞企業のフロムファースト(株)や、ANA ホールディングス(株)の AVATAR Program の取組みが紹介されました。まずは既存の取り組みを SDGs に紐づけること、さらに「未来はどうあるべきか」を描き、自社の取組みの再構築、社会への提供価値の再認識をする。SDGs ビジネスは究極の顧客志向追求型ビジネスであり、地方の企業がこれまで追求してきたことを世界に広げることが今後必要になってくると指摘されました。

続いて、YKK(株)の村田康博氏、清川メッキ工業(株)の清川卓二氏に、自社の取組を紹介していただきました。YKK(株)では創業以来、YKK 精神「善の巡環」(他人の利益を図らずして自らの繁栄はない、という考え方)を全ての活動の根幹として、そして経営理念「更なる CORPORATE VALUE を求めて」の実践を通して、本業を通じた持続可能な社会への貢献に取り組んでいます。71 の国と地域で事業を展開し、「技術の総本山」としてグループ最大の製造・開発の中核拠点である黒部事業所では、工場内に「黒部川扇状地の森づくり」による生態系の保全や、子ども達への環境教育プログラムを実施しています。また、社宅跡地の再開発として、自然エネルギーを最大限に活用した次世代集合住宅「パッシブタウン」を整備し、21 世紀の新しいまちづくり・住まいづくりに取り組んでいます。パッ

シブタウンは、本社機能の一部を東京から移転することで黒部に異動することになった社員や家族の住まいとして、また多様な文化・宗教の外国籍社員への充実したサポートも提供しています。仕事のために住むだけでなく、「黒部に来てよかった！」と思ってもらえるように環境にも人にも優しい空間・まちを目指して活動を進めています。SDGs を新しい概念として捉えるのではなく、YKK 精神・経営理念に基づき、当社の強みを活かしながら実践している取り組みが SDGs 目標にもつながっています。SDGs との関連性については、今後、活動を整理し、SDGs のアイコンを活用した会社内外へのアプローチ方法なども進めたい、と話されました。

清川メッキ工業（株）の経営理念は「自由なる創意の結果が、大いなる未来を拓く」、めっき加工を通して安心安全で心豊かで便利な生活をつくることをミッションとしています。お客様の課題や困りごとをニーズとし、営業部をもたず「飛び込まれ営業」で事業を展開することで、日々新しい技術やサービスを開拓しています。また、めっき業界初の ISO 取得し、取得に関する情報公開や業界向けの講演会などを行うことで、業界全体の品質向上、環境改善を目指すなど、経営面、理念面において様々な“自由なる創意”に基づいた企業活動を行っています。人材育成の面においては、社員が、子ども向けのめっき教室を行い、子ども達に自身の仕事の誇りを伝えることで、社員も仕事に誇りを持つようになり、地域との交流を生み出し、地域活動の展開、質の高い人材の創出など多様な活動につなげています。このような活動を通して、「人材」ではなく企業の財産となる「人財」を育成する、という独自の教育が大きな特徴です。清川メッキ工業（株）の経営は「人財」「実業」「理念」をバランスよく組み合わせ、地域社会の中で活躍する社員、人財を生み出しています。これらの活動が ESD、SDGs につながるのでは、と清川氏は話されました。

その後のセッションでは 3 グループに分かれ、「講義、事例紹介で気付いたこと」「自社の取組とのつながり」について議論し、SDGs への理解、取組方法の検討を深めました。参加者からは、「研究会に参加するまでどうやって SDGs に取り組んだら良いか分からなかったが、講義やセッションの中で理解でき、取り組みへのハードルが下がった。今日の話をもとに SDGs を周りに伝えていきたい。」「同じ悩みをもつ企業 同士で情報共有を行い、新たなつながりを生むことができた。」「事業活動を通じて社会貢献につながっていくことをどのように社員へ浸透させたらよいかを学んだ。」などの、熱い想い、コメントがありました。

今回の研究会の学びのポイントは 3 つあります。

- ①SDGs のマークは世界の共通言語であり、まずは自社の取組にマークを付けることから始めることから始める。
- ②「地域・社員」というキーワードがどの事例においてもキーワードであった。SDGs は国際的な目標ではあるが、地域や社員に目を向けて目標をどう実現していくかを考える。
- ③不可能なことを可能にするプロセスをどう作っていくか、「OR から AND へ」「改善ではなく再構築・イノベーション」への知恵の持ち寄りが重要であり、2030 年までの挑みである。日本型・地域型でどう作っていくかが面白みでもある。

北陸地域では、金沢青年会議所など企業が既に SDGs 達成に向けた取り組みを始めており、モチベーションがあります。そのモチベーションを東海、長野の青年会議所や商工会議所、企業に伝え、学びあう相互参照の場の大切さを実感しました。「SDGs を北陸から推進していこう！」という、将来に向けた意気込みを感じた研究会でした。

## 【北陸地域】第2回 ESD 研究会「SDGsと企業」

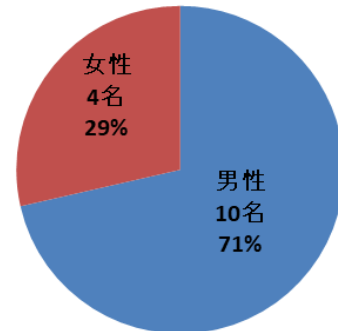
### 参加者アンケート集計結果

回収数：14名／全参加者17名中

#### 1. 参加者属性

##### (1) 性別

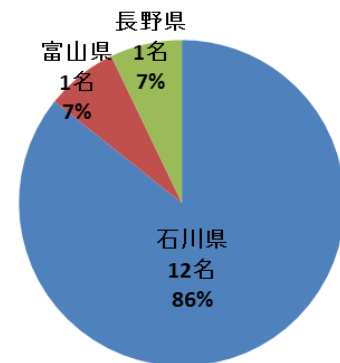
|     |     |
|-----|-----|
| 男性  | 10名 |
| 女性  | 4名  |
| 無回答 | 0名  |
| 計   | 14名 |



##### (2) 住所

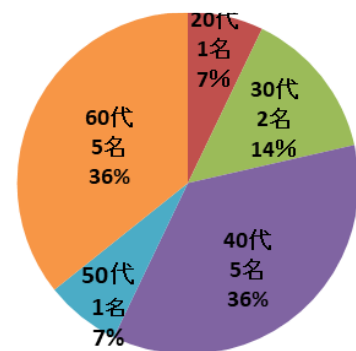
|     |     |
|-----|-----|
| 石川県 | 12名 |
| 富山県 | 1名  |
| 長野県 | 1名  |
| 無回答 | 0名  |
| 計   | 14名 |

・石川県金沢市 6名/小松市 2名/白山市 2名/野々市市 2名  
 ・富山県富山市



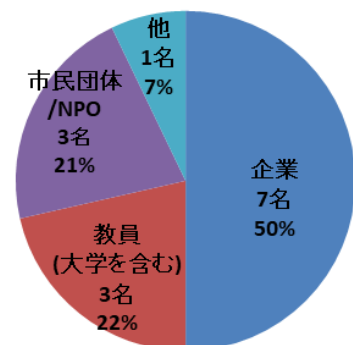
##### (3) 年代

|       |     |
|-------|-----|
| 10代   | 0名  |
| 20代   | 1名  |
| 30代   | 2名  |
| 40代   | 5名  |
| 50代   | 1名  |
| 60代   | 5名  |
| 70代以上 | 0名  |
| 計     | 14名 |



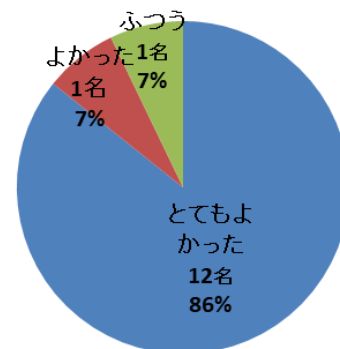
##### (4) 所属

|           |     |
|-----------|-----|
| 企業        | 7名  |
| 教員(大学を含む) | 3名  |
| 学生(大学生)   | 0名  |
| 市民団体/NPO  | 3名  |
| 他         | 1名  |
| 計         | 14名 |



## 2. ESD 研究会(東海)「SDGs と企業」に参加されていたかがでしたか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 12 名 |
| よかった      | 1 名  |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 0 名  |
| 計         | 14 名 |



### 【とてもよかった】

- SDGs に対する企業の関心、インセンティブなどが感じられたこと。SDGs の有用性を実感できた。
- 目的、狙いがとても分かりやすい。セッションの時間がとても有意義。主体的に参画できた。
- 当社が抱えている課題の解決や経営方針に沿った取り組みを行うための糸口になりそう。具体的な方法が分かってよかった。
- SDGs や CSR を学ぶよい機会になった。今後の活動が参考になる事例や人との出会いになった。
- NPO センターとしては、企業視点で SDGs を整理できた。
- 北陸に SDGs に関心の多い企業が多いことを知って、新たなつながりができた。
- SDGs と企業の関わり方を整理できた。
- 清川メッキ工業、YKK、コマニー、JC と地域の多くの企業が SDGs に取り組んでいることを知れたこと。

### 【よかった】

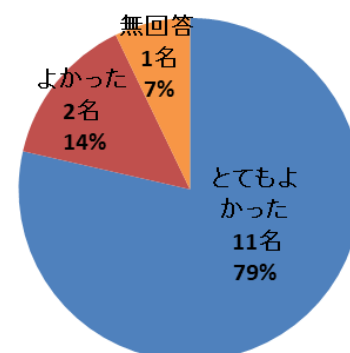
- SDGs に興味を持てたこと。帰ってから何を調べたいか。

### 【ふつう】

- 内容と時間。以前よりは改善された。

## 3. 講義「SDGs と企業」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 11 名 |
| よかった      | 2 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 14 名 |



### 【とてもよかった】

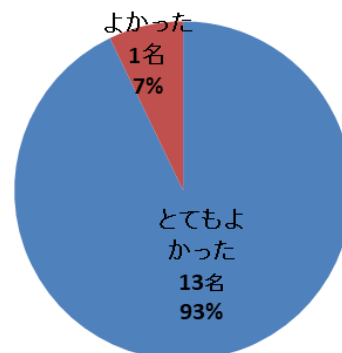
- 企業活動が地球を、世界を良くしていくことに繋がる実感を持てる内容だった。
- 2 人の講師の視点がそれぞれ経験・学識をもとに SDGs について教えていただき、興味・関心が深まり、よく入門として分かった。
- 企業が取り組む意義の再認識となりました。
- 今、自身がやっている活動や方向性などの考え方にまちがいないと再確認できた。事業とのつながりやイノベーションなど、社内でも伝えていきたいです。
- とても示唆的。
- 新たな気づきがたくさんあり、周りにも広めたいと思った。

### 【よかった】

- 特に戸成さんの話が企業につながっていた。

#### 4. 事例紹介はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 13 名 |
| よかった      | 1 名  |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 計         | 14 名 |

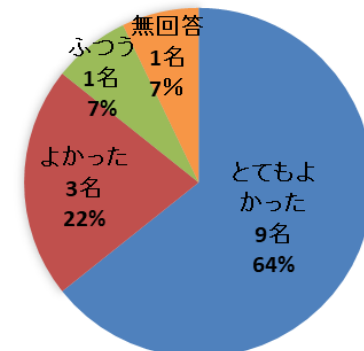


##### 【とてもよかった】

- 各地域の熱い取り組みに感動を覚え、未来への希望を持った。
- 2つの企業ともに自社の利益追求だけでなく、家訓・創業精神を大切に社会貢献し、SDGsに自然につなげていて立派であると思った。地域に貢献しているのが素晴らしい。清川はユニークであった！
- 企業の実践は取り入れることがたくさんあり、勉強になりました。
- これまでやってきたことがSDGsとつながっていたという風に、レベルは違いますが同じような経験をされているなと思いました、参考にしたいです。
- SDGsを議論せず取り組みを話した点。
- 大企業、中小企業の事例、バランスよかった。
- SDGsに対する考え方を新たに知ることができた。
- SDGsと企業の関わり方の具体的なイメージの参考になった。
- 清川メッキ工業、YKK、コマニー、JCと地域の多くの企業がSDGsに取り組んでいることを知れたこと。

#### 5. セッション「SDGsが企業の羅針盤となるために」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 9 名  |
| よかった      | 3 名  |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 14 名 |



##### 【とてもよかった】

- 様々な立場の方がおられて、良いダイアログとなった。
- 時間が足りない！もっと話したい。
- 様々な人達と深めることができた。
- 北陸の人々の環境意識の高さを知った。様々な立場からのSDGsを知ることができた。
- 地元企業の意識（SDGsに対する）を知れてよかった。

##### 【よかった】

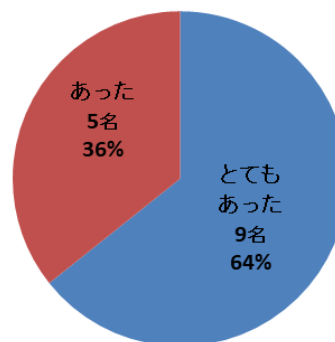
- もう少し時間があるとよかった。又はセッション内の時間配分が上手くできればよかった。
- もっといろいろお話を伺いたかったです。

##### 【ふつう】

- やはり時間が足りない。

## 6. ESD 研修会での気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 9 名  |
| あった     | 5 名  |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 計       | 14 名 |



### 【とてもあった】

- 仲間を増やすための会合の進め方（目的、まとめ、対話、時間管理）
- 事業とのつながり。
- 共通言語！→ ディスカッションの引き出し。
- 環境への取り組みは以前からやって効果のあるものが多い。その延長で目標を設定できるし、一段階二段階上の目標も実現可能性を示せるのでは。
- レポートで提出しました。

### 【あった】

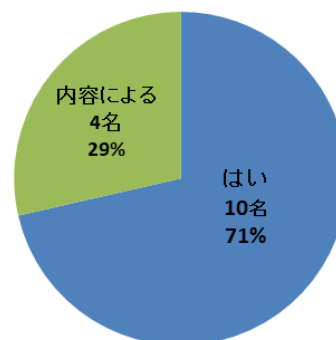
- 共通言語としての SDGs の役割。
- SDGs をテーマにした異業種交流会も開いてほしい。

## 7. 今後 ESD 研究会を実施する際に取り上げてほしいテーマ、内容、また、中部地方 ESD 活動支援センターに対するご要望、ご意見等ございましたら、お聞かせください。

- よい事例紹介は本当に参考となりました。よい出会いがありました。本日は本当にありがとうございました。
- 他社事例、苦労されている所なども知れたら。

## 8. 今後 ESD 研究会に参加されたいですか。

|       |      |
|-------|------|
| はい    | 10 名 |
| いいえ   | 0 名  |
| 内容による | 4 名  |
| 計     | 14 名 |



## ■【長野地域】第 1 回 ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」

日 時：平成 29 年 10 月 28 日(土) 14:00～17:00

場 所：信州大学教育学部 講義棟 N101 教室

参加者：26 名（長野県内の学校関係者、行政職員、NPO 等）

共 催：信州 ESD コンソーシアム

長野地域での ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」を、信州大学を会場に行いました。小中学校教員、大学生、NPO、パークレンジャー、共催である信州 ESD コンソーシアムのメンバー、スタッフ等総勢 36 名の参加でした。

文部科学省初等中等教育局教育課程課渋谷一典教科調査官の「新学習指導要領と ESD 授業づくり」の講義に始まり、山ノ内町立西小学校の実践事例紹介、後半は 6 つのグループに分かれてセッションを行いました。

渋谷先生による「学習指導要領」の説明からスタート。さらに、平成 30 年度から随時実施される「新学習指導要領」の重要ポイントが話されました。新学習指導要領と ESD との関連性については、今回の改定では前文に ESD という表現はないけれども、「持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」という記述があることが紹介されました。

その後、新学習指導要領の基本的考え方としての 3 つのポイントや、改定の方角性について重点的に話されました。社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育むためには、「社会に開かれた教育課程」の実現が必要であること、そのために、各学校における「カリキュラムマネジメント」の実現が求められていること、主体的、対話的で深い学びの視点からの学習過程の改善が必要であること、などを教員以外の方にも伝わるように説明されました。

また、総合的学習の時間は、学校が目標を定め、探究課題として取り上げ、各教科で育成する資質、能力と連動させながら、課題の解決を通して資質・能力を育成していくことに大きな価値があることを語られました。

学習指導要領を初めて読んだという参加者からは、持続可能な社会の位置づけが明示されていることや、日ごろ現場で伝えたいことが示されていると新たな学びと気づきの感想が寄せられました。

その後、山ノ内町立西小学校の須山千才教頭先生による実践授業紹介がありました。須山先生は北小学校と西小学校で ESD 取組を実践され、今年北小学校と西小学校が統合されたことで両校職員が各学校の ESD 取組を重ねて合同のカリキュラム（ESD カレンダー）を作り出したことを紹介されました。その際には模造紙と付箋で ESD カレンダーを作成しており、教員の意見を重ね関連性を確認しながら作成し、次の年にはそれをもとに新たに教員同士が改善しながら作っていく、という話もありました。また、防災教育に力をいれており、地域に伝えられて来た民衆の知恵を学び、伝承されている先人の知恵にこそ地域の防災の視点が含まれていることを伝える授業の実践が行われていました。婚礼の日に雪崩により亡くなってしまった花嫁の合唱組曲が会場に流れ、子々孫々に伝えたいと願う先人の思いが子どもたちの歌とともに会場を包みました。その他にも、統合して使われなくなった北小学校の利用について子ども議会から提言をし、一般質問として通告したというユニークな取り組みも紹介されました。

後半のセッションでは、二人の講師の話から、気づいたこと、感想、コメント等の自己紹介を含めて、意見交換をしました。その後各グループで共有。「評価についてどのように考えたらよいか」「ESD のカリキュラムにこだわりすぎてパッケージ化していかないか」といった問題意識や、「外部の方に単発の出前講師とそとして頼りすぎている」「教員以外の方からはどうやったら学校の教育に関われるのか」などお互いの接点をどう見つけ、どう連携できるのかについて意見がありました。

長野県の教育関係者の方から、「長野県は ESD という言葉は使っていなかったけれど多様な地域学習が各地域で実践され、信州型コミュニティスクールという長野県ならではの施策がある。今までの実践をベースに地域と学校の連携をより強めるか、活かしていくかが大切である」という意見がありました。

新学習指導要領と ESD 授業づくり…。ESD という言葉が使われていない、ESD の認知度が低すぎるという指摘もありましたが、今回の研究会を受けて、ESD の概念や手法を踏まえた授業づくりがじわじわと展開されていく、そんな意気込みを感じることが出来ました。



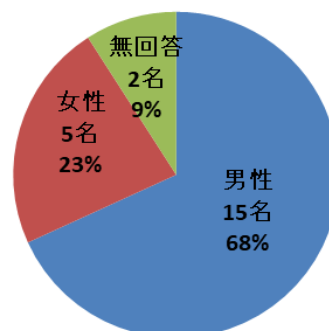
**長野開催 ESD 研究会「新学習指導要領と ESD 授業づくり」  
参加者アンケート集計結果**

回収数：22 名／全参加者 26 名中

**1. 参加者属性**

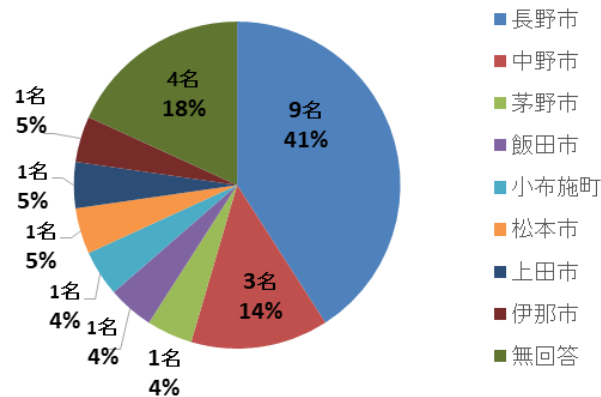
**(1) 性別**

|     |      |
|-----|------|
| 男性  | 15 名 |
| 女性  | 5 名  |
| 無回答 | 2 名  |
| 計   | 22 名 |



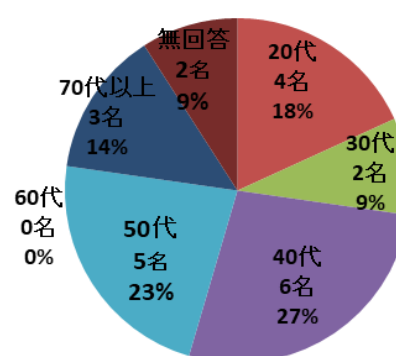
**(2) 住所（長野県内）**

|      |      |
|------|------|
| 長野市  | 9 名  |
| 中野市  | 3 名  |
| 茅野市  | 1 名  |
| 飯田市  | 1 名  |
| 小布施町 | 1 名  |
| 松本市  | 1 名  |
| 上田市  | 1 名  |
| 伊那市  | 1 名  |
| 無回答  | 4 名  |
| 計    | 22 名 |



**(3) 年代**

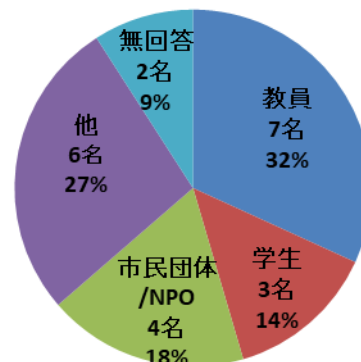
|        |      |
|--------|------|
| 10 代   | 0 名  |
| 20 代   | 4 名  |
| 30 代   | 2 名  |
| 40 代   | 6 名  |
| 50 代   | 5 名  |
| 60 代   | 0 名  |
| 70 代以上 | 3 名  |
| 無回答    | 2 名  |
| 計      | 22 名 |



#### (4) 所属

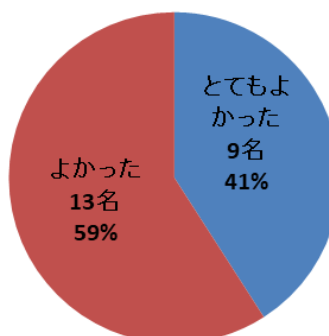
|           |     |
|-----------|-----|
| 教員(大学を含む) | 7名  |
| 学生(大学生)   | 3名  |
| 市民団体/NPO  | 4名  |
| 他         | 6名  |
| 無回答       | 2名  |
| 計         | 22名 |

○他：県市温暖化推進員／環境団体／  
長野市教委／行政／自然ガイド



## 2. ESD 研究会(長野)「新学習指導要領と ESD 授業づくり」に参加されていたかがでしたか。

|           |     |
|-----------|-----|
| とてもよかった   | 9名  |
| よかった      | 13名 |
| ふつう       | 0名  |
| あまりよくなかった | 0名  |
| よくなかった    | 0名  |
| 計         | 22名 |



#### 【とてもよかった】

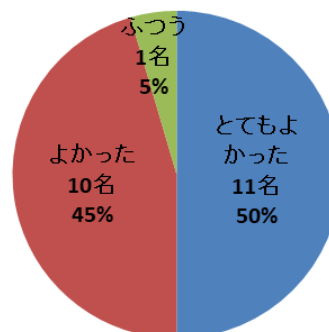
- 渡辺先生にお誘いいただいて良かったです。
- いくつか話を聞いてきた中で、今日は学習指導要領について、しっかり話を聞いた。
- いろいろな視点で考えることができ、有意義でした。また、いろいろな立場の方の話をきくことができ、いろいろ考えさせられました。
- それぞれの立場で本音をおききすることができました。
- 様々な立場の方と交流できるのはありがたい。
- 学習指導要領と ESD の関連がよくわかった。

#### 【よかった】

- 具体的実践例が示され、参考になった。
- 今まで読んでことがなかったので、新しい知識が吸収できました。特に持続可能な社会の位置づけが明示されていて安心した。
- 今までばくぜんと新学習指導要領は ESD の理念そのものだと思っていましたが、今日それは確信になりました。
- 全てが初めてでとても興味深かったです。
- ESD をとらえるにあたって、いろいろな視点にふれる事ができました。
- 熱意のある方と話せて良かったです。
- 色んな立場の人の意見が聞けた。自分がやろうとしていることの相手側の考えを知ることができた。

## 3. 講義「新学習指導要領と ESD 授業」はいかがでしたでしょうか。

|           |     |
|-----------|-----|
| とてもよかった   | 11名 |
| よかった      | 10名 |
| ふつう       | 1名  |
| あまりよくなかった | 0名  |
| よくなかった    | 0名  |
| 計         | 22名 |



#### 【とてもよかった】

- やっぱり学校の先生は忙しいと思いました！！いろいろと。
- 分かりやすくよかった。

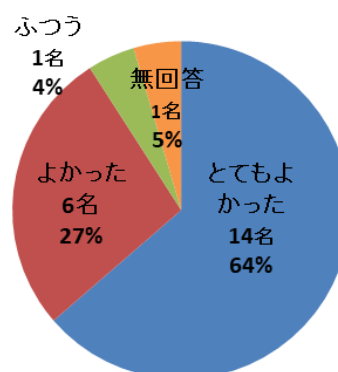
- 新学習指導要領の解説を ESD の視点をからめておはないただき、しっかり理解できました。総合的な学習の時間に ESD の視点をもちこむことで、より深まりのある学習になると思いました。
- 新学習指導要領の変更点を要領よく知る事ができた。（説明するときの参考になる）
- 経緯から要点がつかめました。
- 現在準備している教育課程と ESD のかかわりが「これでよい」と自信をもてたので。
- ESD について、教育とどのようにむすびつけていけばよいかが分かりやすかった。
- 学習指導要領の作成に携わっている方から、直接説明していただくという貴重な機会だったからです。

#### 【よかった】

- ESD の基本理念を理解出来た。
- 色んな関連付けを意識しながら総合的な学習を進めることが、ESD 教育の重要なポイントになることが理解出来た。
- 新学習指導要領との関係。目指す方向がよくわかりました。
- 総合的な学習の時間と ESD の関係性がより明確になりました。
- 子ども達が知識を概念的に学ぶことで、一般化できるようになると感じたから。

#### 4. 事例紹介はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 14 名 |
| よかった      | 6 名  |
| ふつう       | 1 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 1 名  |
| 計         | 22 名 |



#### 【とてもよかった】

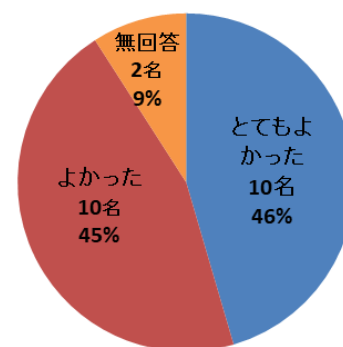
- 最後のアンサーでの話、よかったです。言っている事、いった事についての反省が必要だと思いました。
- 山ノ内での実践がよくわかった。
- ユネスコスクールでのとりくみを具体的に示していただき、これまで漠然としていたユネスコスクールについてイメージをもつことができました。総合的な学習を目標や教科のつながりを明確にしてとりくまれていることがわかりました。
- カリキュラムユーザーからカリキュラメーカーへ。
- 民話と ESD の関係がおもしろかったです。
- 先生方の努力や工夫がよくわかりました。
- 以前伺いましたので、より深く理解できました。
- 現場でもっともほしい情報がたっぷりあったので！
- 他校の実践から刺激をいただきました。
- 先生のお力が多分大きいと思いますが、先生方皆（多くの方）が先生のようになれたらと思います。
- ESD を取り入れた学校や子どもの様子が少しは分かってよかったです。
- けしきがきれいだった！

#### 【よかった】

- 上欄記入。（ESD の基本理念を理解出来た。）
- 身近な環境が ESD の教材として上手に活用されている様子が分かり、興味深かった。

## 5. 意見交換「今後授業づくりに大切なこと」はいかがでしたでしょうか。

|           |      |
|-----------|------|
| とてもよかった   | 10 名 |
| よかった      | 10 名 |
| ふつう       | 0 名  |
| あまりよくなかった | 0 名  |
| よくなかった    | 0 名  |
| 無回答       | 2 名  |
| 計         | 22 名 |



### 【とてもよかった】

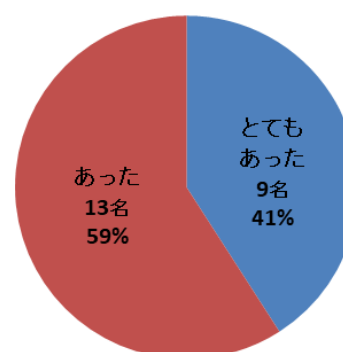
- 立場の違いから、よりよい意見を聞くことができた。
- 各立場の考え方の違いが良く分かってよかった。
- 各グループの発表の場では多くの考え方を聞くことができ、とても参考になりました。学校関係者と地域や様々な立場の人々が語り合う場は、もっと必要だと思いました。
- 色々な立場の方のお話が聞けた。
- 立場をこえて大切にしたいこと、悩んでいることをきけて、新しい視点をいただきました。
- 普段かかわることのない方々と話し合えたからです。

### 【よかった】

- 様々な立場の方の意見が聞けて良かった。
- いろいろな立場の方のお話をお聞きすることができました。ESD を進める上での子どもの育ちと関わらせるヒントになりました。
- 時間が少ない中で、よく議論できました。
- 専門家からの考えが聞けた。

## 6. ESD 研修会での気づき、得るものはありましたか。

|         |      |
|---------|------|
| とてもあった  | 9 名  |
| あった     | 13 名 |
| どちらでもない | 0 名  |
| あまりなかった | 0 名  |
| なかった    | 0 名  |
| 計       | 22 名 |



### 【とてもあった】

- 2 と同じです。（やっぱり学校の先生は忙しいと思いました！！いろいろと。）
- 学習指導要領を改めて学ぶことができた。
- ESD にかかわる市民団体やとりくみをされている方が多くいらっしゃることを知ることができました。こういった方々の力をいかに学校教育に取り入れるかがポイントだと思いました。
- 新たな課題が見つかりました。
- 大事なことは意識と理念。ESD の視点を通してより充実した学習にしたいと思いました。
- 話し合いがとても有意義でした。
- やりたいという気持ちやゴールを明確にして共有することで人を動かせるということを改めて感じた。

### 【あった】

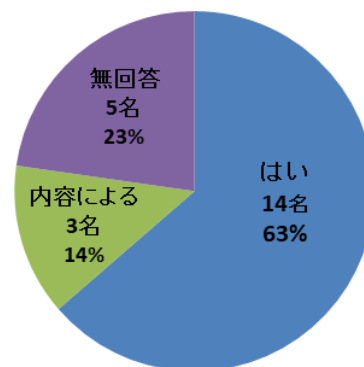
- 県教委の方の意見が聞けて良かった。
- 関連性を意識することがキーワードか。
- 自分が自然の現場で伝えたい事が、学習指導要領に通じているという事実を感じました。
- ESD について、更に考えるきっかけの会になりました。
- お互いのニーズを一致、話すことが必要なことを知れた。

**7. 今後 ESD 研究会を実施する際に取り上げてほしいテーマ、内容、また、中部地方 ESD 活動支援センターに対するご要望、ご意見等ございましたら、お聞かせください。**

- ユネスコ活動に高校生をとり込む手立て？
- どういう内容での ESD 活動をなされているのかは分かりませんが、小学校への対応は、学校でなくまた違う方法で学校等に認めてもらい協力していただける方向でも、多々ある事もありますので！渋谷先生感謝です。ありがとうございました！！
- 地域、企業との連携を。
- 学校と NPO や地域をつなぐような立場や、そのための方法等を広めていただけるとありがたいと思いました。
- 地域で学校、NPO など関係者の交流会があるとよい。
- 教学指導課からこの研修の案内がありました。教員としては、このような案内があると参加しやすいです。できるだけ早いタイミングで案内していただけるとうれしいです。
- このような機会を与えていただけてありがとうございました。
- 今日のような会を南信でもしていただければありがたいです。
- 参加者同士の議論を今後も大切にしてほしいです。

**8. 今後 ESD 研究会に参加されたいですか。**

|       |      |
|-------|------|
| はい    | 14 名 |
| いいえ   | 0 名  |
| 内容による | 3 名  |
| 無回答   | 5 名  |
| 計     | 22 名 |



## 電子媒体収録資料

### <参考資料>

#### 資料 1：業務日報

資料 1-1：4 月

資料 1-2：5 月

資料 1-3：6 月

資料 1-4：7 月

資料 1-5：8 月

資料 1-6：9 月

資料 1-7：10 月

資料 1-8：11 月

資料 1-9：12 月

資料 1-10：1 月

資料 1-11：2 月

資料 1-12：3 月

#### 資料 2：相談対応票

#### 資料 3：議事録/報告書

資料 3-1：第 1 回企画運営会議議事録

資料 3-2：第 2 回企画運営会議議事録

#### 資料 4：地域拠点登録状況

#### 資料 5：パンフレット等

資料 5-1：中部地方 ESD 活動支援センターパンフレット

資料 5-2：事業案内チラシ

資料 5-3：ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 2017 チラシ

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料〔A ランク〕のみを用いて作成しています。